



お客様用

AV一体型ナビゲーション 取扱説明書

品番

CN-FZ 1087

CN-FZ 886 / CN-FZ 786 W

CN-HZ 885 / CN-HZ 785 W

このたびは、純正用品 AV一体型ナビゲーションをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつもお手元において、正しい取扱方法により、長くご愛用くださるようお願い申し上げます。



※代表としてCN-FZ 886を記載しています。

事故防止のため運転中は絶対に操作しないでください。

本機の故障、誤動作または不具合によりメモリーに記録できなかったデータ、消失したデータ、メモリー内の保存データについては補償できません。

■ 主要機能相違点

●：対応 △：別売品にて対応 ー：非対応

機能		品番	CN-FZ1087	CN-HZ885
			CN-FZ886	CN-HZ785W
			CN-FZ786W	
ナビゲーション機能			●	●*1
オーディオ機能	TV		●	●
	FM・AM・交通情報		●	●
	DVD/CD		●	●
	BLUETOOTH® Audio		●	●
	MEMORY MUSIC		●	●
	SD		●	●
	USB		●	●
	iPod		●	●
	レコーダーリンク		●	—
オーディオチューン		●	●	
スマートフォン連携	BLUETOOTH接続		●	●
	Wi-Fi®接続		●	●
	ハンズフリー		●	●
	NaviCon®		●	●
	CarAV remote S		●	●
	音声認識(目的地検索)		●	—
無料地図更新*2	スマートフォンでのダウンロード更新		●	—
	パソコンでのダウンロード更新		●	●
外部機器接続	HDMI®入力*3		△	—
	HDMI出力(後席用のモニター)*3		△	—
	VTR出力(後席用のモニター)*4		—	△
	車載カメラ*5		△	△
	ETC車載器*6 / ETC2.0車載器*6		△	△
	ドライブレコーダー*7		△	△

別売品や必要なケーブル類などについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

*1 下記の機能差分があります。詳しくは、P.41、49、56をご覧ください。

- ・安心運転サポート機能の、一時停止・制限速度・指定方向外禁止・高速レーン減少・速度超過の情報は案内されません。
- ・ゾーン30走行中は、ゾーン30案内・ゾーン30速度超過警告が案内されます。
- ・ハイウェイモードでは、高速レーン情報が表示されません。

*2 詳しくは、P.150をご覧ください。「SDカードの送付」を選択した場合は、全地図更新1回のみとなります。

*3 別売のHDMI接続ケーブルなどが必要です。

*4 別売のVTR出力ケーブルなどが必要です。

*5 別売のバックアイカメラ/セレクトビューバックアイカメラ/全方位モニター(メーカーオプション)

*6 別売のETC車載器通信ケーブルなどが必要です。

*7 ナビ接続タイプのドライブレコーダーは接続できません。

お知らせ

- 本書は複数の機種に対して共用で説明しています。機種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合があります。
- 製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 画面やイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

HD画質・快適操作

表現力が向上し鮮明で見やすく・わかりやすくなった地図と、操作レスポンスの高速化で、使いやすくなりました。地図やメニュー画面のスクロールはスムーズになり、ルート探索のスピードは早くなって、快適にご利用いただけます。

ヘッドアップディスプレイ対応

ナビゲーションのルートの情報を、車両のヘッドアップディスプレイに表示させることができます。

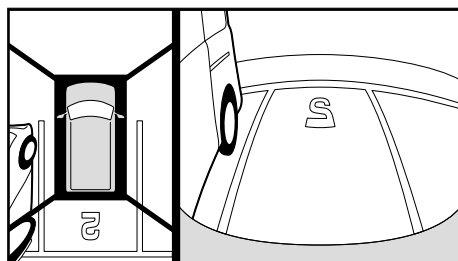
※ヘッドアップディスプレイ装備車の場合



全方位モニター対応

全方位モニターの映像を、本機のディスプレイに表示できます。

※全方位モニター用カメラ装備車の場合



高速道路 逆走注意アラーム・逆走検知警告

SA/PAに駐車して車のエンジンを切ったあと再度エンジンをかけ発進させると、逆走しないよう事前に注意を促します。

また、万一高速道路を逆走していると検知したときは、逆走のおそれがある旨を表示と音声で警告します。



ハイレゾ音源対応

SDカードやUSBメモリーに保存したハイレゾ音源 (FLAC形式、WAV形式) を車内でも高音質で再生し、お楽しみいただけます。

※ハイレゾ品質で音楽を聴くにはプレーヤーからスピーカーまで全てハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

もくじ

安全上の注意

安全上のご注意	6
---------	---

はじめに

はじめに	11
ご使用前に知っておいていただきたいこと	12
各部のなまえとはたらき	16
タッチパネルの操作について	18
メニューの使いかた	20
トップメニューを編集する	23
基本操作・準備(確認・調整)	24
取り付け・配線の確認	29
初期設定をする	31
スマートフォンを本機と接続する	32
セキュリティに関する設定をする	36

ナビゲーション

ナビゲーション	38
地図の紹介	40
地図画面の表示内容について	44
地図の操作	50
探索・案内・地図・VICSをアレンジする(ナビチューン)	56
行き先までのルートを作るには	58
行き先を探す	60
検索した施設を目的地・経由地に設定する	66
全ルート図から確認・設定する	67
ルートを編集する	68
ルート探索について	70
ルート案内について	72
地点を登録する(登録地)	76
VICS情報を見る	79

オーディオ

オーディオ	86
オーディオの基本操作	88
テレビを見る	90
ラジオを聞く	98
交通情報を聞く	99
ディスクを再生する	100
DVD-Video・DVD-VRを再生する	101
CDを再生する	104
SDカードに音楽CDを録音する	107
本機で録音した音楽データを再生する(MEMORY MUSIC)	109
SDカード・USBメモリーを再生する	114
BLUETOOTH Audioを再生する	118
iPod を再生する	120
自宅のレコーダーのコンテンツを車内で見える(レコーダーリンク)	124
音質・音場を調整する(オーディオチューン)	130
映像を調整する	137
現在地画面にオーディオの映像を表示する	138

ハンズフリー

ハンズフリー・スマホ連携	139
ハンズフリーで通話する	140
NaviCon®を利用する	144
スマートフォンをリモコンとして使う(CarAV remote S)	145

スマホ連携

その他の機能

別売機器

設定

困ったとき

必要なとき

その他

146

車両メンテナンスの通知を設定する.....	148
本機の情報を確認する.....	149
無料地図更新について(ダウンロード更新).....	150
本機のデータを更新する.....	152
ETC車載器/ETC2.0車載器と接続して使う.....	156
カメラと組み合わせる.....	158
ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる.....	159
HDMI入力映像を見る.....	168
後席用のモニターで本機の映像を見る.....	169
ヘッドアップディスプレイ連携.....	170
利用に応じた設定に変える.....	171
故障かな!?と思ったら.....	176
文字入力のかた.....	194
ディスクについて.....	196
DVD言語コード一覧表.....	199
SDカード・USBメモリーについて.....	200
データ作成時の留意点.....	201
無線通信について.....	206
テレビ・ラジオの受信について.....	208
ナビゲーションシステムとは.....	209
VICSについて.....	212
地図ソフトについて.....	214
ジャンル一覧.....	219
地図上に表示される主なマーク.....	221
さくいん.....	222
ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて.....	227
商標・ライセンスなど.....	228
仕様.....	230
保証とアフターサービス.....	232
ステアリングオーディオスイッチの操作について.....	234

本書の読みかた

- 製品の品番は、パナソニック品番(末尾を一部省略)で表記しています。
- 本書では、CN-FZ886を例に説明しています。
品番ごとに仕様が異なる場合は、下記のアイコンで区分しています。
CN-FZ1087 **CN-FZ886** **CN-FZ786W** **CN-HZ885** **CN-HZ785W**
- 本書では、操作スイッチを下記のように描き分けています。
例) 案内スタート **決定**: タッチキー(画面上のスイッチ)
AUDIO MENU MAP: ハードキー(本体のボタンスイッチ、ステアリングオーディオスイッチ)
- 本書では特にことわりの無い限り、iPod / iPhone を「iPod」と表記しています。
- 本書では特にことわりの無い限り、Android™ スマートフォン / iPhone を「スマートフォン」と表記しています。
- 本書では特にことわりの無い限り、SD規格に準拠したメモリーカードを「SDカード」と表記しています。ただし、
-microSDカードと記載している場合は、microSDXCカード/microSDHCカード/microSDカードを指します。
-miniSDカードと記載している場合は、miniSDカードを指します。
- 本書では別売のオプション品を、下記のように区分しています。
・別売: 純正のオプション品
・市販: 市販(純正品以外)のオプション品

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき



警告



本機はDC 12 V ⊖アース車専用です

DC 24 V 車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする

作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す

外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する

被覆が無い部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

アースコードを車両側のアース部分に確実にねじ止めする

アースコードが確実にねじ止めされていないと、火災や感電、故障の原因となります。

サイドブレーキコードを正しく配線する

安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す

ステアリング・セレクトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付けや配線をするとき



警告

**作業後は、車の電装品*の作動確認をする**

正常に作動しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

* ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど



視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない
交通事故やけがの原因となります。

* ステアリング・セレクトレバー・ブレーキペダル付近など

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない

カメラ装置などの作動を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。
車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの作動を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが正常に作動しなくなったり、作動時に機器や部品が飛ばされ、死亡事故につながる原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

* ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

**分解や改造をしない**

分解禁止

- 交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
- コードの被覆を切って他の機器の電源をとるのは、絶対におやめください。
- アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

取り付けや配線をするとき

注意



必ず、付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

しっかり確実に取り付け

走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。
取り付ける場所の水気や汚れ(ほこりや油など)は、取り除いてください。
取り付けの状態(接着やねじのゆるみなど)を、ときどき点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。



本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

ご使用になるとき

警告



ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う

交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

スピーカーは、本機の仕様に適合したものを*を使用する

火災や発煙、発火、故障の原因となります。

*最大入力が50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ω~8 Ω

外部機器*は、運転やエアバッグの作動などに支障がないように使用する

ご使用の機器および接続するケーブルが、運転やエアバッグの作動を妨げたり、同乗者に危険をおよぼさないよう、適切に取り扱ってください。(配線の処理や機器の固定など)交通事故の原因になることがあります。

*本機に接続する iPod などの音楽プレーヤー、USBメモリー、スマートフォン、ビデオカメラなど

医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

ご使用になるとき



警告



ナビ連動ドライブレコーダー(別売品)は、本体の温度を確認してからmicroSDカードを抜き差しする

高温環境での放置(直射日光が長時間あたっていた場合)や連続使用した場合などは、高温になりやけどをするおそれがあります。その場合、温度が低下するまで使用を控えるようにしてください。



運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない

必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない

エンジンをかけたまま、換気の悪い場所(周囲が囲まれた車庫や屋内など)で長時間使用しないでください。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異常(異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど)が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。

SDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。

万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない

特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。

水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。



雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない

落雷による感電のおそれがあります。

接触禁止

ご使用になるとき

注意



本機を車載用以外には、使用しない

発煙や発火、感電、けがの原因となります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

けがをするおそれがあります。

特に、ディスプレイの開閉の際にご注意ください。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因となります。

可動部に負荷を与えない

破損して、けがをするおそれがあります。

開いたディスプレイの上に物を置かない

液晶ディスプレイ部の破損や飲み物がこぼれることにより、発煙や発火、感電、故障の原因となります。

はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいこと.....	12
ご使用上の注意事項など.....	12
免責事項について.....	14
著作権について.....	14
各部のなまえとはたらき.....	16
タッチパネルの操作について.....	18
メニューの使いかた.....	20
トップメニューを表示する.....	20
各種情報を見る・設定をする.....	21
全機能一覧から機能を選ぶ.....	22
トップメニューを編集する.....	23
トップメニューに表示させるショートカットを選ぶ.....	23
ショートカットの配置を変更する(トップメニューカスタマイズ).....	23
基本操作・準備(確認・調整).....	24
電源を入れる.....	24
自転車位置を確認する.....	25
GPS情報を確認する.....	25
音量を調整する.....	26
車両を後退させるときにオーディオの音量を下げる.....	27
オーディオの音声を一時的に消音する(ミュート).....	27
画面を一時的に消す.....	27
ディスプレイの角度を調整する(TILT).....	28
自転車位置を変更する.....	28
取り付け・配線の確認.....	29
車両信号情報を確認する.....	29
拡張ユニット情報を確認する.....	30
初期設定をする.....	31
自宅を登録する.....	31
スマートフォンを本機と接続する.....	32
スマートフォンを本機にBLUETOOTH機器登録する.....	32
BLUETOOTH接続する機器で使用する機能を変更する.....	33
BLUETOOTH機器登録を消去する.....	33
携帯電話未接続案内の設定をする.....	33
本機のBLUETOOTH機能のOFF/ONを切り替える.....	33
スマートフォンを本機にWi-Fiネットワーク登録する.....	34
Wi-Fi接続する機器を変更する.....	35
Wi-Fiネットワーク登録を消去する.....	35
本機のWi-Fi機能のOFF/ONを切り替える.....	35
セキュリティに関する設定をする.....	36
セキュリティコードを設定する.....	36
本機を起動時にセキュリティコード入力画面が表示されたら.....	37
セキュリティコードの設定を解除する.....	37
盗難多発地点案内の設定をする.....	37

ご使用前に知っておいていただきたいこと

ご使用上の注意事項など

走行中の操作制限・視聴制限について

- 安全のため、走行中は一部の操作ができませんようになっています。また、走行中は映像(TV、DVDなどの動画)を見ることができませんようになっています。操作および映像を視聴するときは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。

車のエンジン停止中／アイドリング中のご使用について

- エンジンを止めたまま使用し続けると、車のバッテリーが消耗します。必ずエンジンをかけてご使用ください。なお、アイドリングが禁止されている地域もありますので、地域の条例等に従ってください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所(周囲が囲まれた車庫など)で長時間使用しないでください。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

本機に接続する外部機器* について

- 接続する機器の説明書もよくお読みください。
- ご使用の機器および接続するケーブルが、運転やエアバッグの作動を妨げたり、同乗者に危険をおよぼさないよう、適切に取り扱ってください。(配線の処理や機器の固定など)
- 温度が高くなる場所(直射日光や暖房機器の温風があたり続けるところなど)に放置しないでください。

* iPodなどの音楽プレーヤー、USBメモリー、スマートフォン、ビデオカメラなど

液晶パネルについて

- 先端が尖ったものや硬いもの(ペン、ピン、爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。また、たたいたり、強く押さないでください。傷や破損、誤動作の原因となります。
- 車から離れるとき(本機を使用しないとき)は、本機に直射日光が当たらないように、車のサンシェードなどをご使用ください。
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したことがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正常に動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 高温になると、画面の明るさを自動調整したり、本機の起動を停止する場合があります。
- 液晶パネルの画素は、99.99%の精度で管理されていますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 液晶保護シートを使用すると、視認性や操作性が損なわれる場合があります。(暗くなる、タッチパネルの反応が悪くなるなど)

本体・液晶パネルのお手入れ

- お手入れは、必ず車のエンジンを切った状態 (ACC OFF) で行ってください。
- 本体の汚れは、きれいな柔らかい布で、軽く乾拭きしてください。

液晶パネルのお手入れの際には、次のことをお守りください。

- 表面の汚れなどは、乾いたきれいな柔らかい布で、軽く拭いてください。
- 次のものを使用しないでください。
 - ・ 汚れや砂、硬いゴミがついた布
 - ・ 濡れた布 (ウェットティッシュ含む)
 - ・ 硬い布
 - ・ 液晶パネル以外を拭いた布
 - ・ ティッシュペーパー
 - ・ 研磨剤
 - ・ 洗剤 (ガラス用クリーナー含む)
 - ・ シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤、酸性やアルカリ性の溶剤
- 液晶パネルを強くこすらないでください。爪を立てたり、布の角や折り目でこすらないでください。

車から本機やバッテリーを取り外した場合は

- オーディオに関する一部の設定などがお買い上げ時の状態に戻ります。(P.175)
- セキュリティコードを設定している場合、次回起動時にセキュリティコードの入力が必要になります。(P.37)
- 本機を別の車に載せかえた場合や、タイヤを交換またはローテーションした場合は、「センサー学習値初期化」を行ってください。(P.29)

万一、故障や異常が起きたら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。

- 故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

本機を廃棄 / 譲渡するときは

- 本機に記録された情報 (登録地、走行軌跡などの履歴、電話番号などの個人情報やお客様が録音した楽曲など) を必ず消去し、出荷時の状態に戻してください。(P.175)
- 廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

その他

- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。また、法令により許された場合を除き、本機を日本国外に持ち出してはいけません。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

免責事項について

- 本機は、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではありません、また、本機のソフト（収録されている地図データや安全支援機能など）が完全・正確であることを、保証するものではありません。
- 本機は各種規格に基いた製品仕様になっておりますが、接続する機器やソフト/アプリなどによっては、期待どおりに動作しない場合があります。
- 各種アプリが提供するサービスは、予告なく変更・終了される場合があります。
- 本機に接続する機器については、すべての動作を保証するものではありません。
- 車の運転は、必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、それらを優先してください。交通事故や交通違反の罰則などに対して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 火災や地震または気象による自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の使用中にメディアや接続している機器のデータが変化・消失した場合の補償はできません。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- 本機に記録された個人情報（登録地、走行軌跡などの履歴、電話番号など）は、お客様の責任において管理（消去など）してください。当社は一切の責任を負いかねます。
- 番組表などの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合により、これらの情報が消失した場合、復元できません。また、その内容の補償はできません。
- 次の場合、補償はできません。
大切な情報（登録地など）は、万一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記録されていた情報が変化・消失した場合
 - ・本機の地図データ更新で、道路や地形に変化のあった地域に関連するルートや地点のデータが消失した場合
 - ・本機のソフトウェアをバージョンアップする際に、記録されていた情報が変化・消失した場合

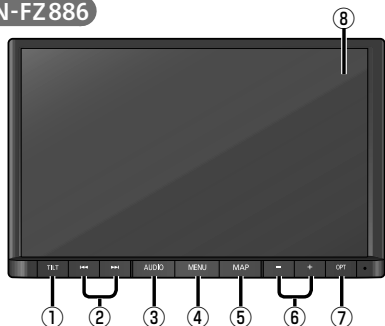
著作権について

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- お客さまが録音・録画したものは、個人として楽しむ場合を除き、著作権法上権利者に無断で使用できません。また、営利目的または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

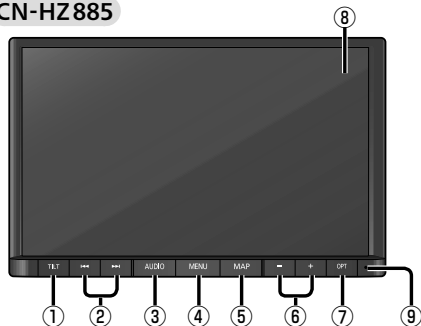
各部のなまえとはたらき

■ ディスプレイ開

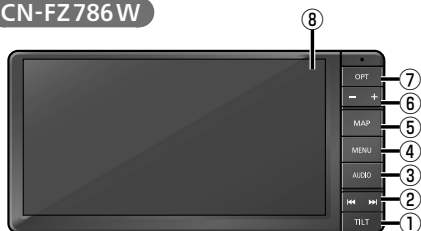
CN-FZ886



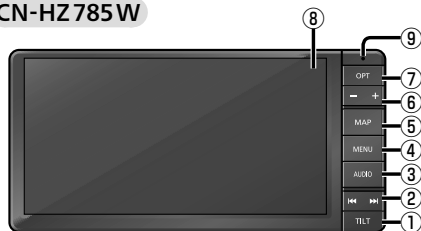
CN-HZ885



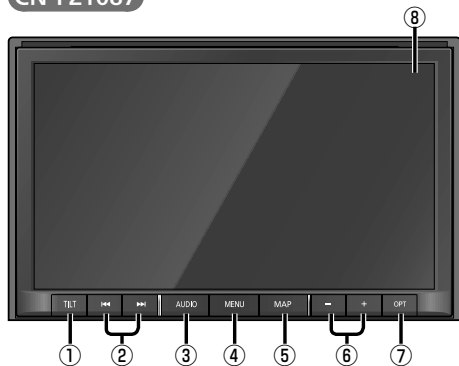
CN-FZ786 W



CN-HZ785 W

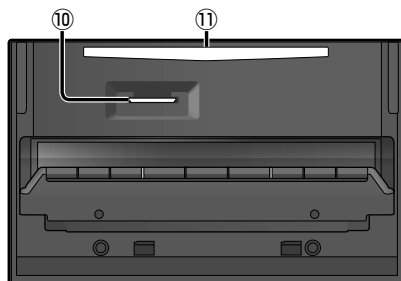


CN-FZ1087



■ ディスプレイ開

- CN-FZ886を例に説明しています。



①	チルト TILT	<ul style="list-style-type: none"> ● OPEN/EJECT 画面を表示 / 消去する ● ディスプレイを閉じる
②		<ul style="list-style-type: none"> ● 曲・チャプター・ファイルの頭出し ● 早送り・早戻し(押し続ける)
	レコーダーリンク *1	● コンテンツの頭出し
	FM AM	<ul style="list-style-type: none"> ● 選局する ● シーク選局(約0.5秒以上押す)
	TV	● 選局する
③	オーディオ AUDIO	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオ画面に切り替える ● オーディオメニューを表示する ● オーディオ OFF/ON を切り替える(約2秒以上押す)
④	メニュー MENU	<ul style="list-style-type: none"> ● トップメニューを表示する ● 音声認識*1を起動する(約0.5秒以上押す)
⑤	マップ MAP	<ul style="list-style-type: none"> ● 自車位置(現在地)を表示する ● 画面調整(画質調整)画面を表示する(約2秒以上押す)
⑥	音量ボタン(- +)	● オーディオ/ハンズフリーの音量調整
⑦	オプション OPT	セレクトビューバックアイカメラ、または全方位モニター接続時 ● セレクトビューバックアイカメラ、または全方位モニターの映像を表示する
		セレクトビューバックアイカメラ、および全方位モニター非接続時 オプションスイッチの設定に応じて、下記のいずれかの操作ができます。(P.174) <ul style="list-style-type: none"> ● オーディオの音声を一時的に消音する ● オーディオを切り替える ● 前回発信した番号に電話をかける ● 自宅までのルートを探索する
⑧	画面(表示部)、タッチパネル	● タッチ操作時に使用する
⑨	内蔵マイク*2	● ハンズフリー通話時に使用する
⑩	SDカード挿入口	● 市販のSDカードを挿入する
⑪	ディスク挿入口	● DVD、CDを挿入する

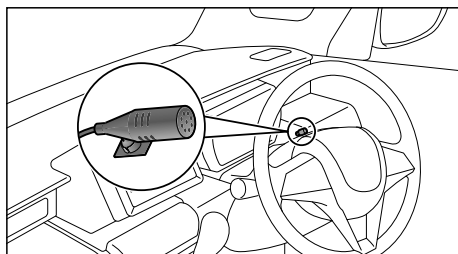
*1 **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

*2 **CN-HZ885** **CN-HZ785W** のみ (CN-FZ886/CN-FZ786Wは使用しません。)

■ 外付けマイクについて

CN-FZ1087 **CN-FZ886** **CN-FZ786W**

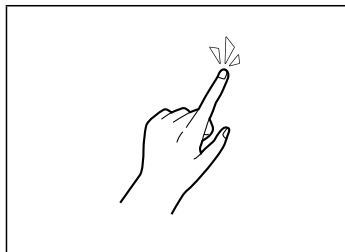
車内に外付けマイクが設置されています。ハンズフリー通話・音声認識の際は、外付けマイクに向かって発声してください。



タッチパネルの操作について

本機のタッチパネルは、必ず指で触れて操作してください。
先端が尖ったものや硬いもの（ペン、ピン、爪の先など）で操作したり、たたく、強く押すなどして液晶パネルに負担がかかると、傷や破損、および誤動作の原因となります。

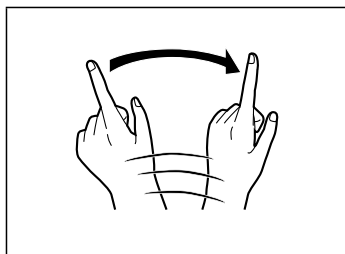
本機のタッチパネルの操作のしかたは、下記のとおりです。



■ タッチ

指で画面に軽く触れる。

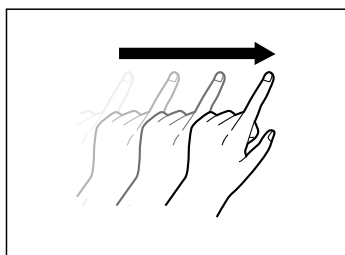
- 本書で「○○を選ぶ」と記載している場合は、タッチで項目を選んでください。
- 本書で「○秒以上タッチする」「タッチし続ける」と記載している場合は、長くタッチしてください。



■ フリック

指で画面をはらう。

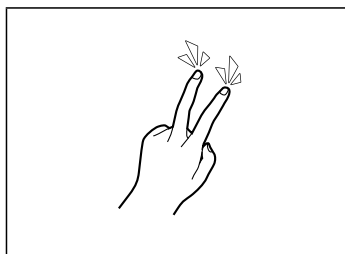
- メニュー画面をフリックした方向に切り替える。
- リストの項目をフリックした方向に移動させる。
- 地図画面をフリックした方向にスクロールする。



■ ドラッグ

指で画面をタッチしたまま、なぞる。

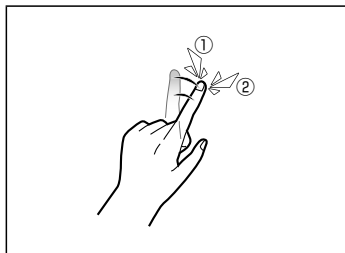
- メニュー画面をドラッグした方向に切り替える。
- リストの項目をドラッグした方向に移動させる。
- 地図画面をドラッグした方向にスクロールする。
- スライダーをドラッグして、イコライザーなどを調整する。



■ 2点タッチ (同時に2か所をタッチ)

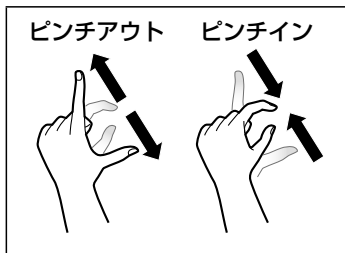
同時に2か所をタッチする。

- 地図の縮尺を「広域」に切り替える。

**■ ダブルタップ(連続して2回タッチ)**

同じ場所を連続して2回タッチする。

- 地図の縮尺を「詳細」に切り替える。
- DVD-Videoのトップメニューまたはタイトルメニューを表示中に動画操作画面を表示する。

**■ ピンチ**

2本の指で、間隔を広げる/狭めるようになぞる。

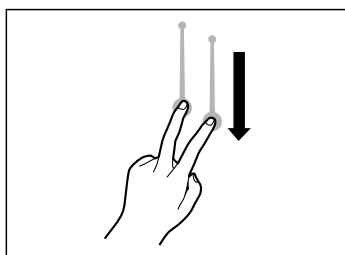
● ピンチアウト(広げる)

地図の縮尺を「詳細」に切り替える。

- ・ 指の間をぴったりつけずに、指1本分くらい間隔をあけてください。

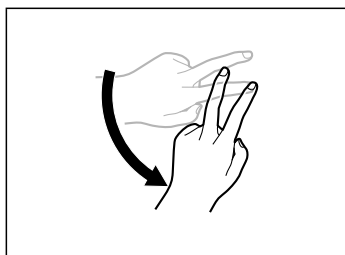
● ピンチイン(狭める)

地図の縮尺を「広域」に切り替える。

**■ 2点ドラッグ(上下のみ)**

2点タッチしたまま、上下にドラッグする。

- 地図の傾きを調整する。

**■ 回転ドラッグ**

2本の指で円弧を描くようにドラッグする。

- 地図モード画面で、地図を回転させる。

メニューの使いかた

トップメニューを表示する

MENU を押す

- トップメニューを表示します。

■ トップメニュー



- All Apps(全機能一覧) 22

- Audio ON/OFF 89
- ハンズフリー 142
- 情報・設定 21
- ルート 67

■ ショートカット

全機能一覧(P.22)から、よく使う項目をショートカットとして登録できます。(P.23)

- 画面が複数ある場合は、 を選ぶか、ショートカット周辺を左右にフリックまたはドラッグすると、左右の画面に切り替わります。(タッチパネルの操作について→P.18)
- お買い上げ時は、下記の機能がショートカットに登録されています。



- | | | |
|-----------------------------|----------------------------------|---------------------|
| ● HDMI *1*2 168 | ● BLUETOOTH Audio... 118 | ● 住所 62 |
| ● USB *3 115 | ● TV 90 | ● ジャンル 62 |
| ● AM 98 | ● FM 98 | ● マップコード 62 |
| ● MEMORY MUSIC *4 109 | ● DISC *5 (DVD/CD) 101~106 | ● ドライブレコーダー ... 162 |
| ● レコーダーリンク*2 ... 124 | ● 名称 60 | ● 登録地 61 |
| ● iPod 122 | ● 電話番号 60 | ● 周辺施設 63 |
| ● 交通情報 99 | ● 履歴 61 | ● 音声認識 *2 64 |
| ● SD *3 115 | ● 自宅 61 | |

* 1 機器が接続されていなくても表示されます。選ぶとHDMIに切り替わり、黒い画面が表示されます。

* 2 **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

* 3 パソコンなどで保存したデータ(音楽/動画)の再生

* 4 本機でSDカードに録音した音楽データの再生

* 5 挿入されたディスクによって、表示が変わります。

各種情報を見る・設定をする

トップメニュー(P.20)から、
情報・設定を選ぶ

- 情報・設定メニューを表示します。

■ 情報・設定メニュー*1



■ ナビ情報・設定メニュー*1



- チューン 56~57
- ナビ設定 171~173
- 渋滞情報 83
- ETC 情報 157
- GPS 情報 25

■ スマートフォン接続設定メニュー*1



- BLUETOOTH 設定 32
- Wi-Fi 設定 34

■ オーディオ情報・設定メニュー*1



- オーディオチューン 130
- オーディオ出力 89
- リバース時のオーディオ音量ダウン ... 27

■ システム情報・設定メニュー*1



- 操作音 174
- 時計表示 174
- 案内音声設定 174
- 音量設定 26
- 画質調整 137
- 画面 OFF 27
- トップメニューカスタマイズ 23
- セキュリティ設定 36
- メンテナンス通知設定 148
- ドライブレコーダー設定 164
- オプションスイッチ設定 174
- ダイレクトボタン設定 174
- 休憩案内 174
- バージョン情報 149
- 車両信号情報 29
- 拡張ユニット情報 30
- ソフトウェア・地図 更新 153
- Gracenote データベース更新 155
- 初期化 175
- 端末情報 149
- 取付店ダイヤグ
 使用しません (取付店が設定します)

* 1 を選ぶと、トップメニューに戻ります。

全機能一覧から機能を選ぶ

1 トップメニュー(P.20)から、

☰ All Appsを選ぶ

- All Apps(全機能一覧)を表示します。

2 All Apps(全機能一覧)から、 項目(機能)を選ぶ

- 選んだ項目の画面に切り替わります。

※ 以降、All Appsを「全機能一覧」と表記して説明します。

■ All Apps(全機能一覧)



全機能一覧から選択できる項目

■ スマートフォン連携

- ハンズフリー..... 142

■ 目的地

- 音声認識*¹..... 64
- 周辺施設..... 63
- 自宅..... 61
- ジャンル..... 62
- 住所..... 62
- 電話番号..... 60
- 登録地..... 61
- マップコード..... 62
- 名称..... 60
- 履歴..... 61

■ Audio(オーディオ)

- AM..... 98
- BLUETOOTH Audio..... 118
- DISC *² (DVD/CD) 101~106
- FM..... 98
- HDMI *¹ *³ 168
- iPod..... 122
- MEMORY MUSIC..... 109
- SD..... 115
- TV 90
- USB..... 115
- 交通情報..... 99
- レコーダーリンク*¹ 124

■ システム連携

- ドライブレコーダー..... 162

■ 情報・設定

- オーディオ情報・設定 21
- システム情報・設定 21
- スマートフォン接続設定 21
- ナビ情報・設定 21

* 1 **CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786 W** のみ

* 2 挿入されたディスクによって、表示が変わります。

* 3 機器が接続されていなくても表示されます。選ぶとHDMIに切り替わり、黒い画面が表示されます。

トップメニューを編集する

全機能一覧(P.22)の項目から、お好みの項目をショートカットとしてトップメニューに表示できます。(1画面あたり最大8項目、7画面まで)

トップメニューに表示させるショートカットを選ぶ

全機能一覧(P.22)から、
トップメニューに表示させたい項目の
「メニューに表示」チェックボックスを
ONにする

- タッチするごとにON/OFFが切り替わります。
- チェックした項目が、トップメニューにショートカットとして表示されます。



ショートカットの配置を変更する(トップメニューカスタマイズ)

1 システム情報・設定メニュー(P.21)から、**トップメニューカスタマイズ**を選ぶ

- トップメニューカスタマイズ画面が表示されます。
- トップメニュー(P.20)でショートカットを約1秒以上タッチしても、表示できます。

2 配置を変更したい項目をドラッグして、移動する

- ドラッグした位置に項目を移動します。
- ドラッグした位置に他の項目がある場合は、自動的にドラッグした項目を避けて再配置されます。
- すでに8項目すべて配置されている画面には、他の画面から項目を移動できません。
不要な項目を他の画面に移動させるか削除してから移動してください。
- この操作を繰り返し、ショートカットの配置をしてください。

配置変更のしかた

■ 画面内を移動する

選択した項目が、ドラッグした位置に移動されます。



■ 他の画面に移動する

画面の左端/右端までドラッグすると、左となり/右となりの画面に移動します。



■ ショートカットを削除する

画面の右端までドラッグすると、選択した項目がショートカットから削除されます。



3 **決定**を選ぶ

- トップメニューカスタマイズを完了します。

お買い上げ時の設定に戻すには

トップメニューカスタマイズ画面から、**初期化** ▶ **はい**を選ぶ

基本操作・準備(確認・調整)

電源を入れる

1 車のエンジンをかける(ACCをONにする)

- 本機の電源が入り、ボタン照明が点灯します。
- セキュリティコード入力画面が表示されたら→P.37
- 使用環境により起動時のオープニング画面表示が遅れる(黒い画面が表示される)ことがありますが、故障ではありません。

2 警告画面の注意事項を確認して、**OK**を選ぶ

- 現在地画面(自車位置)が表示されます。
- オーディオ画面が表示されたときは、**MAP**を押すとナビゲーション画面(現在地)に切り替わります。
- 約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。
- ETC車載器/ETC2.0車載器を接続すると、ETCカードの状態などをお知らせします。
- スマートフォンを本機に接続しているときは、スマートフォンとの接続確認のメッセージが表示される場合があります。
- 車両のメンテナンス通知を設定している場合は、メンテナンスが必要な時期になると通知されます。(P.148)

電源を切るには

車のエンジンを止める(ACCをOFFにする)

- 本機の電源が切れます。
- ETC車載器/ETC2.0車載器を接続している場合は、カード抜き忘れ案内されます。(P.173)

自転車位置を確認する

初めて起動したときなどに、自転車位置と異なる地図が表示される場合がありますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自転車位置付近の地図（現在地画面）が表示されます。

1 GPSを受信していることを確認する

- GPSを受信すると、現在時刻が表示されます。未受信の場合は、--:--と表示されます。
- 走行すると受信や現在地測位に時間がかかるため、受信できるまで走行せずにお待ちください。

2 見晴らしの良い道路をしばらく（60分以上）走行して、GPS衛星からの信号を受信させる

- 地図画面上の自転車マークの位置と実際の自転車位置との誤差が補正されます。
- 現在地の測位が完了すると、方位マークの色が赤から白に変わります。



お知らせ

- しばらく経過しても自転車位置が表示されないときは、GPS情報（下記）から受信状態を確認してください。

GPS 情報を確認する

1 ナビ情報・設定メニュー(P.21)から、GPS情報を選ぶ

2 GPS情報を確認する

- GPS/QZSS*1:
各測位システムの受信状態を表示
 - ・緑: 測位に使用中
 - ・青: 受信中
- 緯度: 現在位置の緯度を表示
- 経度: 現在位置の経度を表示
- 年 月 日: 現在の日付を表示
- 現在時刻: 現在時刻を表示

* 1 本機は、準天頂衛星システム「みちびき」に対応しています。(P.209)



音量を調整する

本体ボタンで

調整したい音声が出力された状態で、**- +**を押して調整する

- 出力中の音声の音量が調整されます。
- 調整中はヘッダーに音量が表示されます。

お知らせ

- オーディオまたはハンズフリーの音声とナビ案内が同時に出力されているときは、ナビ案内音が調整されます。
- オーディオの音量は、ソースごと（個別）に記憶されます。
- ナビ案内音の音量が「0」のときは、本体ボタンで音量を調整できません。
- ナビ案内音声に関する設定は→P.174

システム情報・設定メニューから

1 システム情報・設定メニュー(P.21)から、**音量設定**を選ぶ

2 **- +**で、各項目の音量を調整する

- 調整範囲[太字: お買い上げ時の設定]
 - ・ナビ案内音: 0 ~ **5** ~ 11
 - ・音声認識音*1: 1 ~ **6** ~ 11
 - ・ハンズフリー着信音: 0 ~ **20** ~ 40
 - ・ハンズフリー受話音: 0 ~ **20** ~ 40
 - ・ハンズフリー送話音: 1 ~ **4** ~ 7
- スライダーをドラッグしても、音量を調整できます。



お知らせ

- 音声認識音*1とハンズフリー送話音の音量は、「0」には設定できません。

*1 **CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W** のみ

■ お買い上げ時の設定に戻すには

初期値 ▶ はいを選ぶ

車両を後退させるときにオーディオの音量を下げる

周囲の音や車両からの警告音、注意喚起音などが聞こえやすくなります。

オーディオ情報・設定メニュー(P.21)から、
リバース時のオーディオ音量ダウン**ON**を選ぶ

- セレクトレバーをR(リバース)に入れると、オーディオの音量が下がります。

お知らせ



- ナビ案内音、音声認識音^{*1}、ハンズフリーの音声の音量は上がりません。
- OFF**を選ぶと、セレクトレバーをR(リバース)に入れてもオーディオの音量は上がりません。

*1 **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

オーディオの音声を一時的に消音する(ミュート)

ステアリングオーディオスイッチで

ステアリングオーディオスイッチに該当のボタンがある場合のみ、操作ができます。

ステアリングオーディオスイッチの  または  ^{*1} を押す

- 再度押すと、解除されます。


本体ボタンで

オプションスイッチの設定が「消音」で、セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない場合のみ、操作ができます。(P.174)

OPT を押す

- 再度押すと、解除されます。

お知らせ

- ミュート中は、ヘッダーに  と表示されます。
- ナビ案内音、音声認識音^{*2}、ハンズフリーの音声などはミュートされません。
- オーディオをOFFするには→P.89

*1 ハンズフリー着信中/通話中に押すと、電話に出る/電話を切る操作となります。(P.140、141)

*2 **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

画面を一時的に消す

システム情報・設定メニュー(P.21)から、**画面OFF**を選ぶ

画面を再表示するには

AUDIO **MENU** **MAP** **TILT** のいずれかを押す、または画面をタッチする

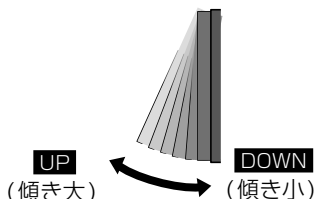
ディスプレイの角度を調整する (TILT)

1 TILTを押す

2 角度を調整する (5段階)



- **UP**: 傾きが大きくなる
- **DOWN**: 傾きが小さくなる



3 TILTを押す

お願い

- 周辺に物を置くなど、動きを妨げないでください。
- 手で動かすなど、無理な力を加えないでください。
- 可動部周辺に異物が挟まらないようにしてください。

お知らせ

- 車のエンジンを切ると、全閉状態になります。
- 次回エンジンをかけたとき、今回調整した角度まで開きます。
- より見やすくするには、画面の明るさを調整してください。(P.137)
- 車両の振動や衝撃などによって、調整した角度から傾きが変わってしまう(閉まる)場合があります。

自転車位置を変更する

通常はこの操作は必要ありません。

1 ナビ情報・設定メニュー(P.21)から、**ナビ設定** ▶ **表示設定**を選ぶ

2 **自転車位置修正**を選ぶ

3 位置を調整し、**決定**を選ぶ

- 縮尺を詳細側にしておくと、より正確に自転車位置を修正できます。



4 **戻る** / **進む** で自転車マークを進行方向に合わせ、**決定**を選ぶ

- セットした位置に自転車位置が変更されます。



お知らせ

- 実際の自転車位置とは異なる場所に自転車位置を移動させても、GPS衛星からの信号を受信すると、実際の自転車位置の地図に切り替わります。

取り付け・配線の確認

車両信号情報を確認する

1 システム情報・設定メニュー(P.21)から、**車両信号情報**を選ぶ

2 車両信号情報を確認する



項目	確認内容
パーキングブレーキ信号	パーキングブレーキをかけると「ON」に、解除すると「OFF」に変わりますか？
リバース信号	セレクトレバーをリバース(R)に入れると「ON」、解除すると「OFF」に変わりますか？
イルミネーション信号 ^{*1}	車のスモールランプ(車幅等)を点灯させると「ON」、消灯させると「OFF」に変わりますか？
車速パルス	走行後、数字が変わりますか？
+B電圧	バッテリーの電圧が表示されます。12V(11V~16V)になっていますか？
センサー学習レベル	走行後、数字や表示が変わりますか？ ● 距離: 「0」(レベル低)~「4」(レベル高) ● 回転: 「未補正」▶「補正中」▶「補正完」 ● 3D: 「補正中」▶「補正完」
センサー学習値初期化	センサー学習値初期化 ▶ はい ▶ はい : センサー学習レベルを初期化する

* 1 車種やグレードによっては、表示が車両のスイッチに連動しない場合があります。

お知らせ

- 次のようなコースでは、補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
 - ・渋滞・停車を頻繁に繰り返す
 - ・右左折が極端に少ない
 - ・右左折が多い
 - ・GPS信号を受信しにくい
- 次の場合にも「センサー学習値初期化」をしてください。
 - ・別の車に本機を載せた
 - ・タイヤを交換した
 - ・タイヤをローテーションした
- 「車速信号が検出できません」と表示された場合は、車速信号コードの接続を確認してください。
- 車種によっては、速度を上げると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。
- 正常な状態にならない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

拡張ユニット情報を確認する

1 システム情報・設定メニュー(P.21)から、**拡張ユニット情報**を選ぶ

2 拡張ユニット情報を確認する



項目	確認内容
iPod* ¹	iPod を接続すると、「接続済み」表示に変わりますか？
USB* ¹	USBメモリーを接続すると、「接続済み」表示に変わりますか？
ETC車載器	ETC車載器を接続している場合、「接続済み」表示になっていますか？
ETC2.0車載器	ETC2.0車載器を接続している場合、「接続済み」表示になっていますか？
ドライブレコーダー	ナビ連動ドライブレコーダーを接続している場合、「接続済み」表示になっていますか？

* 1 同時には接続できません。なお、iPod を接続時は、iPod とUSBが「接続済み」表示になります。

お知らせ

- 正しい表示に変わらない場合は、**更新**を選ぶと表示中の情報が更新されます。

初期設定をする

自宅を登録する

1 自宅が登録されていない状態で、 トップメニュー(P.20)または全機能一覧(P.22)から、**自宅 ▶ はい**を選ぶ

- 自宅設定メニューが表示されます。

2 自宅の場所を検索する

- 検索方法は「行き先を探す」と同じです。(P.60~65)
 - **現在地付近**：現在地付近の地図を表示^{*1}
 - **出発地付近**：出発地付近の地図を表示^{*2}
 - **目的地付近**：目的地付近の地図を表示^{*2}
 - **地図**：最後に表示していた地図を表示
- *1 ルート未設定時のみ
*2 ルート案内中のみ



3 **設定 ▶ 保存**を選ぶ

- カーソルの地点が、自宅として登録されます。
- 引き続き、自宅へのルートが探索されます。
- 自宅を登録すると、地図上に自宅のアイコン(🏠)が表示されます。

お知らせ

- 自宅の編集・消去は、登録地リストから行ってください。(P.77)

スマートフォンを本機と接続する

スマートフォンを本機に BLUETOOTH 機器登録する

スマートフォンを本機に BLUETOOTH 機器登録すると、下記の機能を利用できます。

※ 対応スマートフォンは、Web サイトでご確認ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

※ スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

- BLUETOOTH Audio 再生 → P. 118
- レコーダーリンク*1 → P. 124
- ハンズフリー通話 → P. 140
- スマートフォン連携機能
 - ・ NaviCon® → P. 144
 - ・ CarAV remote S → P. 145

お知らせ

- 一度接続すると、次回からは自動的に接続されます。登録済みの別の機器を接続する場合は、「BLUETOOTH 接続する機器で使用する機能を変更する」を行ってください。(P. 33)
- スマートフォンは、最大5台まで BLUETOOTH 機器登録できますが、接続できるのは電話、オーディオで各1台です。

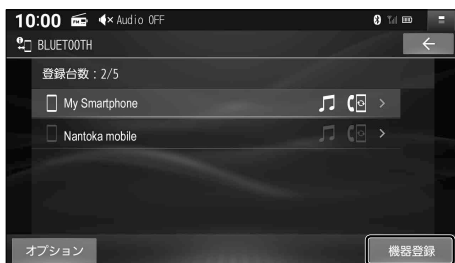
1 スマートフォン接続設定メニュー(P. 21)から、**BLUETOOTH 設定**を選ぶ

- 本機の BLUETOOTH 機能が「OFF」になっている場合は、「ON」にしてください。(P. 33)

2 **機器登録**を選ぶ

- 本機が BLUETOOTH 接続待機状態になります。
- すでに5台登録されているときは登録できません。
メッセージが表示された場合は、**はい**を選んで登録済みの機器を消去してください。(P. 33)

■ BLUETOOTH 設定画面



3 スマートフォンを操作して機器登録する

- ① BLUETOOTH を ON に設定する
- ② 周辺の BLUETOOTH 機器を検索する
- ③ 検索結果から本機のデバイス名 (CAR MULTIMEDIA) を選び、機器登録する

4 使用する機能を選び、**決定**を選ぶ

- スマートフォンが BLUETOOTH 機器登録され、選んだ機能で本機と接続されます。
※ BLUETOOTH 接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は削除されません。)
- 再度選ぶと、接続が解除されます。
- スマートフォン連携機能、レコーダーリンク*1を使用する場合は「電話」を選んでハンズフリー接続してください。
- ハンズフリー接続をした場合は、スマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送されます。*2
携帯電話データの自動同期 → P. 143



BLUETOOTH Audio 接続
(BLUETOOTH Audio 再生を使用する)

ハンズフリー接続
(ハンズフリー通話、スマートフォン連携機能、
レコーダーリンク*1を使用する)

*1 **CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786 W** のみ

*2 機器や電波の状況によっては、ハンズフリー接続後の電話帳と発着信履歴の転送に時間がかかる場合があります。

BLUETOOTH 接続する機器で使用する機能を変更する

1 BLUETOOTH設定画面 (P.32) から、変更したい機器を選ぶ

2 使用する機能を選び、**決定**を選ぶ

- 設定した内容で本機と BLUETOOTH 接続されます。
※ 接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は削除されません。)
- 再度選ぶと、接続が解除されます。
- ハンズフリー接続する機器を変更した場合、前の機器の電話帳と発着信履歴は消去され、新しく接続したスマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送(上書き)されます。^{*2}
携帯電話データの自動同期→P.143

■ 機能選択画面



BLUETOOTH Audio 接続
(BLUETOOTH Audio 再生を使用する)

ハンズフリー接続
(ハンズフリー通話、スマートフォン連携機能、レコーダーリンク^{*1}を使用する)

* 1 **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

* 2 機器や電波の状況によっては、ハンズフリー接続後の電話帳と発着信履歴の転送に時間がかかる場合があります。

BLUETOOTH 機器登録を消去する

削除したい機器の機能選択画面(上記)から、**消去** ▶ **はい**を選ぶ

- 選んだ機器の登録が消去されます。

携帯電話未接続案内の設定をする

1 BLUETOOTH設定画面 (P.32) から、**オプション**を選ぶ

2 携帯電話未接続案内の **ON/OFF** を選ぶ

- 「ON」に設定すると、本機の起動時にスマートフォンが BLUETOOTH 接続されていないときに案内されます。

■ オプション画面



本機の BLUETOOTH 機能の OFF/ON を切り替える

オプション画面(上記)から、BLUETOOTHの**OFF**を選ぶ

- BLUETOOTH機能がOFFになります。
- **ON**を選ぶと、BLUETOOTH機能がONになります。

スマートフォンを本機と接続する

スマートフォンを本機に Wi-Fi ネットワーク登録する

スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録すると、下記の機能を利用できます。

※ テザリングのご利用には事前のお申し込みが必要となり、利用料金は有料の場合があります。(キャリアや契約状況によって異なります)

※ スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

- 音声認識での目的地検索(行き先設定)*¹→P.64
- タイトル情報の更新(音楽CD、MEMORY MUSIC)→P.105、112
- レコーダーリンク*¹→P.124
- ソフトウェア・地図データの更新*¹→P.152

* 1 **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

1 スマートフォンを操作して、Wi-Fi テザリング (AP モード) の設定をする

- ① Wi-Fi テザリング (AP モード) を ON にする
- ② Wi-Fi テザリング設定から、ネットワーク名 (SSID) とパスワードを確認する

2 スマートフォン接続設定メニュー(P.21) から、Wi-Fi 設定を選ぶ

- 周辺のWi-Fi機器を検索し、検索結果がリストで表示されます。

3 リストから、接続する機器を選ぶ

- 手順1で確認したネットワーク名 (SSID) を選択してください。

4 パスワードを選ぶ

5 パスワードを入力し、 を選ぶ

- 手順1で確認したパスワードを入力してください。
- 文字入力のしかた→P.194

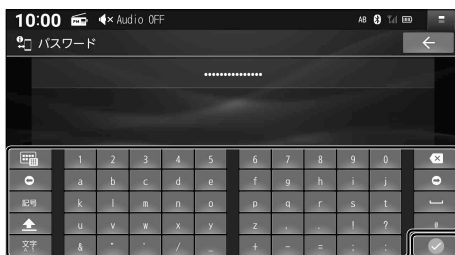
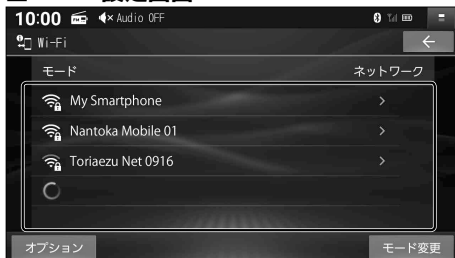
6 接続を選ぶ

- スマートフォンがWi-Fiネットワーク登録され、Wi-Fi接続されます。
※ Wi-Fi接続中の機器がある場合は、そちらの接続が解除されます。(登録は削除されません。)

お知らせ

- 使用するスマートフォンが対応しているセキュリティ方式によっては、本機とWi-Fi接続できない場合があります。(本機が対応するセキュリティ方式→P.207)

Wi-Fi 設定画面



: パスワードの文字を表示



Wi-Fi 接続する機器を変更する

Wi-Fi設定画面 (P.34) から、接続したい機器を選ぶ

- 選んだ機器が本機とWi-Fi接続されます。
※ Wi-Fi接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は削除されません。)

Wi-Fi ネットワーク登録を消去する

1 Wi-Fi設定画面 (P.34) から、**オプション**を選ぶ

2 **登録ネットワーク一覧**を選ぶ

- **新規ネットワーク登録**：
スマートフォンを本機にWi-Fiネットワーク登録できます。

■ Wi-Fiオプション画面



3 消去したい登録ネットワークを選ぶ

■ 登録ネットワーク一覧



4 **消去**を選ぶ

- 選んだ機器のWi-Fiネットワーク登録が消去されます。



本機の Wi-Fi 機能の OFF/ON を切り替える

1 Wi-Fi設定画面 (P.34) から、**モード変更**を選ぶ

2 **OFF**を選ぶ

- Wi-Fi機能がOFFになり、接続が解除されます。
- **ネットワーク** を選ぶと、Wi-Fi機能がONになります。

セキュリティに関する設定をする

万一盗難にあった場合でも、セキュリティコードを設定していれば、盗難後の使用や個人情報の漏洩を防ぐことができます。

セキュリティコードを忘れた場合、本機を使用できなくなりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
セキュリティコード解除に生じる費用は、お客様のご負担になります。

セキュリティコードを設定する

設定したセキュリティコードは、忘れないようにメモしておいてください。

1 システム情報・設定メニュー(P.21)から、**セキュリティ設定**を選ぶ

2 セキュリティ設定 **ON** を選ぶ

■ セキュリティ設定画面



3 (初めて設定する場合のみ)

下記の操作を行い、初期パスワードを解除する

- ① **OK** を選ぶ
- ② 初期パスワード「9876」を入力し、**決定** を選ぶ
- ③ **はい** を選ぶ

4 **OK** を選ぶ

5 任意のセキュリティコードを入力し、**決定** を選ぶ

- : 1文字削除
- 文字種: 数字・A~Fの大文字
- 文字数: 4文字~12文字

※第三者から推測されやすい文字列
(例: 生年月日、0000のような同じ文字の繰り返し、わかりやすい並びの文字など)を避けて設定してください。



6 **はい** を選ぶ


- セキュリティコードが設定されます。

本機を起動時にセキュリティコード入力画面が表示されたら

セキュリティコードが設定された状態で、バッテリーコードが外されたあとに本機を起動すると、セキュリティコード入力画面(下記)が表示されます。

設定したセキュリティコードを入力し、

決定を選ぶ

- ロックが解除されます。
- : 1文字削除
- 文字種: 数字・A~Fの大文字
- 文字数: 4文字~12文字



お知らせ

- ロックを解除しないまま使用を続けると、本機を起動するたびにセキュリティコード入力画面が表示されます。

セキュリティコードの設定を解除する

他人に譲渡する場合などは、セキュリティコードの設定を解除してください。

1 セキュリティ設定画面(P.36)から、セキュリティ設定**OFF**を選ぶ

2 設定したセキュリティコードを入力し、**決定**を選ぶ

- セキュリティコードの設定が解除されます。

盗難多発地点案内の設定をする

盗難多発地点のアイコンを地図上に表示し、注意を促します。

セキュリティ設定画面(P.36)から、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	内容
盗難多発地点 表示案内	「 O N 」: 盗難多発地点を地図に表示する 「 O F F 」: 盗難多発地点を地図に表示しない
市街地図での盗難多発地点表示案内	● 「盗難多発地点 表示案内」が「 ON 」の場合のみ設定できます。 「 O N 」: 盗難多発地点を市街地図に表示する 「 O F F 」: 盗難多発地点を市街地図に表示しない

ナビゲーション

地図の紹介	40
市街地図	40
広域地図	40
標高地図	40
ETCレーン案内	41
ハイウェイモード	41
案内拡大図	42
地図画面の表示内容について	44
現在地画面	44
地図モード画面	45
ランチャー	46
地点メニュー	46
案内ルート	47
走行軌跡	47
ヘッダー	48
安心運転サポート情報	49
地図の操作	50
地図をスクロールする	50
地図の縮尺を切り替える	51
地図の向き(ノースアップ/ヘディングアップ)を切り替える	52
地図の傾きを調整する	52
地図を回転させる	53
現在地画面の右側に地図を表示させる	53
SA・PAの情報を表示する	53
地図にランドマークを表示させる	54
拡大図・案内図表示を切り替える	55
探索・案内・地図・VICSをアレンジする(ナビチューン)	56
ルート探索をアレンジする	56
ルート案内をアレンジする	56
地図表示をアレンジする	57
VICS案内をアレンジする	57
行き先までのルートを作るには	58
ルート案内を中止する	59
ルートを消去する	59
行き先を探す	60
施設の名称で探す	60
電話番号で探す	60
検索履歴から探す	61
自宅へ帰る	61
登録地から探す	61
住所で探す	62
ジャンルから探す	62
マップコードで探す	62
周辺の施設を探す	63
音声認識で目的地を検索する	64
いろいろな音声認識(例)	65
認識率を良くするために	65
検索した施設を目的地・経由地に設定する	66

全ルート図から確認・設定する	67
手動で全ルート図を表示させる.....	67
デモ走行でルートを確認する.....	67
ルートを編集する	68
経由地を追加・消去する.....	68
目的地を追加・消去する.....	68
経由地・目的地の順番を並べ替える.....	69
区間ごとの探索条件を変更する.....	69
ルート探索について	70
探索条件について.....	70
ルート学習について.....	70
細街路探索について.....	70
曜日時間規制探索について.....	71
VICS考慮について.....	71
スマートIC、ETC専用料金所を通るルートについて.....	71
ルート案内について	72
音声案内について.....	72
次の交差点などの音声案内を聞く.....	73
ルート案内中の曜日時間規制探索.....	73
ルート案内中のVICS自動再探索(スイテルート案内).....	73
ルートから外れたときの自動再探索.....	73
新しいルートと前のルートを比較する(新旧ルート比較).....	74
探索条件を変更してもう一度ルートを探索する.....	74
走行中の道路を誤って認識したとき(道路切替).....	74
逆走注意アラーム・逆走検知警告.....	75
地点を登録する(登録地)	76
登録地について.....	76
登録地リストを表示する.....	76
地点を登録する.....	76
登録地リストから目的地・経由地を設定する.....	76
登録地を消去する.....	77
登録地の情報を見る.....	77
登録地を編集する.....	78
VICS情報を見る	79
VICSについて.....	79
文字表示型のVICS情報(レベル1).....	79
図形表示型のVICS情報(レベル2).....	79
地図表示型のVICS情報(レベル3).....	80
ETC2.0サービスによるVICS情報.....	82
VICS情報を確認する.....	83
VICS情報マークの内容を確認する.....	83
緊急情報(特別警報)を受信すると.....	84

地図の紹介

市街地図



5 m～25 m 縮尺では、建物の形まで詳細に表示した地図が表示されます。



- 地図を傾けると (P.52)、建物が立体的に表示されます。
- 有名施設の立体表示 (ポリゴンランドマーク) は、50 m～200 m 縮尺でも表示されます。

広域地図



50 m～2.5 km 縮尺では、道路を線で表した、シンプルな地図が表示されます。

- 道幅が 5.5 m 以上の道路を走行中は、細街路は表示されません。
- 走行中に地図を動かすと、細街路は表示されません。

標高地図



5 km～100 km 縮尺では、衛星写真のようなリアルな地図が表示されます。

ETC レーン案内



ルート案内中に料金所手前でレーン拡大図を表示

- 約 1 km 手前から
- ETC 車載器 / ETC 2.0 車載器を接続して
いなくても、案内は表示されます。
- 表示する / しないの設定 → P. 172

※ 表示は実際のレーン運用と異なる場合があります。
必ず、実際の状況に従って運転してください。

ハイウェイモード



SA・PAの施設情報が表示されます。

SA・PA・IC・JCT・料金所の名称、自車からの距離、高速レーン情報^{*1}、SA・PAの施設をわかりやすく表示

- 都市高速道路 (首都高速道路、阪神高速道路など)、都市間高速道路 (東名高速道路、東北自動車道など) 一部の有料道路を走行すると自動的に表示されます。
- ▲ ▼ : スクロール
- 現在区間 : 現在の区間に戻る
- SA/PA : 次のSA・PAを表示
- SA・PAを選ぶと、詳細な情報が表示されます。(P. 53)
- ルート案内をしていない場合、分岐点 (JCTで路線名が変わる箇所など) より先のICやSA・PAなどの施設が表示されないことがあります。
- ルート案内をしていない場合、高速レーン情報は表示されません。
- 表示する / しないの設定 → P. 172

* 1 **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W**
のみ

地図の紹介

案内拡大図

- ルート案内中に自動的に表示されます。
- 直進でも表示される場合があります。
- 案内地点までに通過交差点がある場合、直前の通過交差点の情報が表示されます。
- 案内地点までに通過分岐点がある場合、直前の通過分岐点の情報が表示されます。
- 案内地点の先にさらに案内地点がある場合、次の案内地点の情報が表示されます。
- 案内拡大図を表示する/しないの設定→P. 172
- 地図データの整備上、拡大図や看板などは表示されない場合があります。

交差点拡大図



交差点までの距離、交差点名称、曲がる方向を表示

- 約300 m手前から

側道拡大図



側道のある分岐点で表示

- 約300 m手前から。

リアル 3D 拡大図



複雑な交差点では、リアルなビル表示とともに、交差点までの距離、曲がる方向を表示

- 約300 m手前から。

高速入口拡大図



都市高速の入口付近で表示

- 約 300 m 手前から

高速分岐拡大図



■ 分岐案内

高速道路の分岐点までの距離、分岐方向を表示

- 約 1 km 手前から
- 高速道路や主要有料道路を走行中に表示されます。



■ ジャンクション案内

ジャンクションまでの距離、方面案内、分岐方向を表示

- 約 1 km 手前から
- 高速道路や主要有料道路を走行中に表示されます。



■ SA・PA 入口案内

SA・PA までの距離と進入方向を表示

- 約 1 km 手前から
- SA・PA を経由地または目的地に設定した状態で、高速道路や主要有料道路を走行すると表示されます。
- 拡大図の「ETC 出口」の表示は、スマート IC のある SA/PA をあらわします。

地図画面の表示内容について

現在地画面

MAP を押すと、現在地画面が表示されます。



- ① **方位マーク**
地図の向きが表示されます。
タッチすることにより向きが切り替わります。
 - : ノースアップ (北が上)
 - : ヘディングアップ (進行方向が上)現在の測位の状態が、方位マークの色で表示されます。
 - (白) : 測位完了
 - (赤) : 測位未完了 (測位計算中)
- ② **VICSタイムスタンプ**
VICS情報の提供された時刻が表示されます。(P.80)
タッチすると、近くの渋滞や交通規制などのVICS情報が案内されます。(前方約10 km以内)
- ③ **到着時刻 / 残距離表示**
ルート案内中に、目的地または次の経由地までの距離と、到着する予想時刻が表示されます。
経由地がある場合、タッチすることにより表示が目的地/次の経由地に切り替わります。
- ④ **ランチャー**
ランチャーを表示します。(P.46)
- ⑤ **縮尺表示**
現在の縮尺を表示します。
 (広域) (詳細) で、地図の縮尺を切り替えられます。(P.51)
- ⑥ **ヘッダー**
ステータスバー表示 / タッチキー表示を切り替えられます。(P.48)
- ⑦ **分岐交差点情報表示**
ルート上の右左折する交差点について、名称、交差点までの距離、通るべき車線を案内します。
- ⑧ **通過交差点情報表示**
直進する交差点について、通るべき車線を最大で2つ目まで案内します。
 - (緑) : 1つ目の通過交差点
 - (橙) : 2つ目の通過交差点
- ⑨ **方面看板表示**
一般道を走行中に、交差点の方面看板が表示されます。
ルート案内中は、進むべき方向の矢印も表示されます。
 - 表示する / しないの設定 → P.172
- ⑩ **案内図切替タッチキー**
拡大図・案内図の表示 / 切替 / 消去に使用します。(P.55)
- ⑪ **ゾーン30^{*1}**
生活道路の安全な通行を確保するため、自動車の走行速度を30 km/hに規制した区域(ゾーン30)が薄い緑色で表示されます。
 - 表示する / しないの設定 → P.56

*1 警察庁より提供される交通規制情報に基づき作成しています。ゾーン30エリア内でも制限速度が30 km/hではない道路が含まれる場合もありますので、常に実際の道路状況や交通規制標識・表示などを優先して走行してください。
- ⑫ **ランドマーク**
目印となる施設などが地図上にマークで表示されます。(P.221)
 - 表示させるランドマークの選択 → P.54
- ⑬ **道路名称**
現在の道路名称が表示されます。
- ⑭ **自転車マーク**
自転車位置と進行方向を表示します。
 - 色と大きさを変更できます。(P.57)

地図モード画面

現在地画面から地図をスクロール (P.50) すると、地図モード画面になります。



- ① **カーソル**
地図の中心を表します。
- ② **施設名称**
カーソルの地点に施設名の情報がある場合に
表示されます。(詳細地図のみ)
 - トップメニュー (P.20) または全機能
一覧 (P.22) から検索した施設に施設
名称の情報がある場合は、詳細地図以外
の縮尺でも施設名称が表示されます。
- ③ **← (戻る)**
1つ前の画面に戻ります。
- ④ **現在地方向直線**
現在地の方向が直線で表示されます。
- ⑤ **設定**
地点メニューを表示します。(P.46)
- ⑥ **地点名称**
カーソルの位置の住所が表示されます。
- ⑦ **マップコード (P.211)**
カーソルの位置のマップコードが表示さ
れます。

お知らせ

- 地図モード画面で、地図の向き・縮尺・傾きを切り替えても、現在地画面に戻すと、元の設定に戻ります。

地図画面の表示内容について

ランチャー

現在地画面 (P.44) で **☰** を選ぶと、ランチャーが表示されます。
地図表示・地点検索・地点登録・ルート探索・ルート案内に関する設定ができます。



- 表示されていない項目は、**<** **>** をタッチするか、左右にフリック/ドラッグすると表示されます。

お知らせ

- 拡大図表示中は、**☰** タッチキーは表示されません。拡大図を非表示にしてから (P.55) 操作してください。

地点メニュー

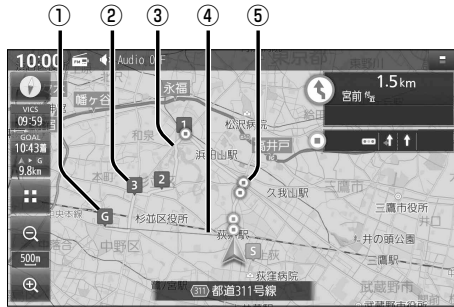
地図モード画面 (P.45) で **設定** を選ぶと、地点メニューが表示されます。
目的地・経由地・登録地などを設定したり、ランドマーク表示中の施設の詳細情報を見ることができます。



- TUNE(チューン)..... P.56
- ルート消去..... P.59
- 案内スタート/案内ストップ..... P.59
- ルート編集..... P.68
- 再探索..... P.74
- 道路切替..... P.74
- 周辺施設..... P.63
- 右画面表示..... P.53、138
- 地点登録..... P.76
- ランドマーク表示/ランドマーク非表示.... P.54
- ランドマーク設定..... P.54

- ここに行く..... P.66
- 立寄る..... P.66
- 地点登録..... P.76
- 地点編集..... P.78
- 周辺検索..... P.63
- 閉じる: 地点メニューを終了します。

案内ルート



- ① 目的地マーク
目的地 (P.66) に設定した地点に表示されます。
- ② 経路地マーク
経路地 (P.66) に設定した地点に表示されます。
- ③ 案内ルート
目的地までの案内ルートが表示されます。
● 高速道路や有料道路は青色、一般道路は水色、細街路はピンク色で表示されます。
- ④ 目的地方向直線
現在地から見た目的地の方向が、直線で表示されます。
● 到着時刻 / 残距離を表示している目的地 (経路地) までの方向が表示されます。
● 表示する / しないの設定 → P.171
- ⑤ 案内ポイントマーク (青)・通過ポイントマーク (緑・橙)
ルート上の分岐する交差点、通過する交差点にそれぞれ表示されます。

走行軌跡

自転車が走行した軌跡を記録し、地図上に青い▲で表示します。(約50 mおきに、約1 000 kmまで)



- 走行軌跡が表示される間隔は、地図の縮尺によって異なります。
- 約1 000 kmを超えると、古い軌跡から消去されます。
- 表示する / しないの設定 → P.171
- 走行軌跡が記録されるのは、走行軌跡表示が「ON」に設定されているときのみです。
- 走行軌跡表示を「OFF」に設定すると、走行軌跡を非表示にして、記録を停止しますが、走行軌跡の記録そのものは消去されません。再度「ON」に設定すると、続きから走行軌跡の記録を開始します。
- デモ走行中は軌跡の記録を行いません。
- 走行軌跡の記録を消去するには → P.171

地図画面の表示内容について

ヘッダー

ステータスバー表示



① 現在時刻

GPSで受信した現在時刻が表示されます。(未受信の場合は--:--と表示されます。)

● 表示する/しないの設定→P.174

② オーディオ状態表示

選択中のオーディオソース、再生中のオーディオ情報が表示されます。

③ 録音状態・外部機器状態表示

ETC車載器/ETC2.0車載器、ドライブレコーダー、USB機器、スマートフォンなど、本機と接続された機器の状態が表示されます。

● ETC状態表示

- : 有効なETCカードが挿入済
- : ETCカード有効期限切れ
- : 利用不能(ETCカード未挿入など)

● ドライブレコーダー状態表示

- : 自動録画中
- : 手動録画中
- : 録画停止中

● データ更新状態

- : 更新データあり(準備完了)
- : SDカードの更新データを検知、更新準備中(矢印が点滅)
- : 更新準備中断、更新データ不備

● 車両メンテナンス通知の情報あり

● スマートフォンの電池残量(6段階)

● スマートフォンの電波状態(6段階)

● Wi-Fiの接続状態(5段階)

● BLUETOOTH接続あり

● USBメモリーまたはiPodとの接続あり

● CD録音中

● 「スマートフォンアプリ(ナビアップS)との接続」が「ON」の状態*1

*1 **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

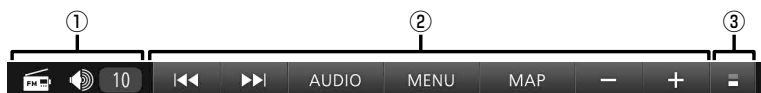
お知らせ

- 表示しきれないアイコンがある場合、 が表示されます。下方向へフリックまたはドラッグすると、現在の状態が一覧表示されます。
- が表示された項目は、タッチすると、各機能の設定画面などが表示されます。

④ 表示切替

タッチキー表示に切り替えます。

タッチキー表示



① オーディオ状態表示

選択中のオーディオソース、オーディオ音量が表示されます。

② 操作タッチキー

本体ボタンと同じ操作ができます。

③ 表示切替

ステータスバー表示に切り替えます。

安心運転サポート情報

運転中の状況に応じて表示と音声で注意を促し、運転をサポートします。

- 標識拡大表示や各案内は、ON(する)/OFF(しない)の設定ができます。(P.56)
- 必ず実際の道路状況や交通規制標識・標示などに従って運転してください。



道路上に表示



現在地名に割り込み表示



標識拡大表示

案内内容について

- 音声案内の「太字の下線」部は、走行するルートによって案内が異なります。
- 「★」印の情報は、**CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ案内されます。

状況	表示	音声
一般道で一時的停止が必要な地点に近づくとき ★(一時停止案内)* ¹		この先、一時停止です。
高速道路で注意の必要な合流地点に近づくとき (合流案内)		この先、 左から の合流車両に注意してください。
踏切付近では (踏切案内)* ¹ * ²		この先、踏切です。
制限速度が変わるとき ★(制限速度案内)* ¹		なし
ゾーン30のエリアに進入したときは* ¹ (ゾーン30案内)		なし
一般道の指定方向外進行禁止の交差点では ★(指定方向外禁止案内)* ¹ * ³ * ⁴		なし
レーンが減少する高速道路では ★(高速レーン減少案内)* ¹		この先、 左車線 が減少します。
一般道の専用レーンに近づくとき (専用レーン案内)* ¹ * ⁵	表示なし	表示なし この先、 左折専用車線 に注意してください。
急なカーブに近づくとき (カーブ案内)* ⁶		この先、カーブです。
一般道の事故多発地点に近づくとき (事故多発地点案内)* ¹		この先、事故多発地点です。 注意してください。
制限速度を超過して走行しているときは ★(速度超過警告)* ¹ * ⁷		速度超過です。
ゾーン30走行中に制限速度を超過したときは (ゾーン30速度超過警告)* ¹ * ⁷		速度超過です。

- * 1 情報のある区間・地点のみ
- * 2 踏切手前の道路の形状や走行する経路によっては、案内されない場合があります。
- * 3 時間規制や車種規制がある標識は、規制対象時間、規制対象車種に該当したときのみ案内されます。また、複雑な形状の標識は案内されません。
- * 4 ルート案内中は表示されません。

- * 5 一般道の、左折専用車線/右折専用車線
- * 6 カーブが連続する道路の場合は「この先カーブが連続します」と案内されます。また、カーブの形状や走行する速度によっては、案内されない場合があります。
- * 7 制限速度を超過していても、案内されない場合があります。

お知らせ

- 複数の安心運転サポート情報がある地点では、情報のいずれかが1つが案内されます。
- 隣接する並行な道路があるときや高架下/立体交差などを走行する際に自車位置を誤認して、案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。
- 車両に「標識認識機能」がある場合、本機の案内と車両側に表示される情報が異なる場合があります。
- 地図データの整備状況や走行中の状況などにより案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。

地図の操作

地図をスクロールする

■ 地図画面をタッチする



- タッチした地点が画面の中心になります。

■ スクロールしたい方向にフリックする



- フリックした方向にスクロールします。

■ スクロールしたい方向にドラッグする



- 指の動きに合わせてスクロールします。

お知らせ

- 走行中は、フリック/ドラッグによるスクロールはできません。また走行中、市街地図が表示されている場合は、タッチによるスクロールもできません。
- フリック/ドラッグでスクロール中は、画面上で他の操作はできません。
- 指の動きより遅れてスクロールする場合があります。

地図の縮尺を切り替える

広域縮尺に切り替える

🔍 (広域) を選ぶ



- タッチし続けると、ズームアウトのイメージで縮尺が切り替わります。

2点タッチする



ピンチインする



お知らせ

- 走行中は、ピンチ操作で縮尺を切り替えることはできません。
- ピンチ操作での縮尺切替中は、画面上で他の操作はできません。
- 地図モード画面で地図の縮尺を切り替えても、現在地画面に戻ると、元の設定に戻ります。

詳細縮尺に切り替える

🔍 (詳細) を選ぶ



- タッチし続けると、ズームインのイメージで縮尺が切り替わります。

ダブルタップする



ピンチアウトする



地図の操作

地図の向き（ノースアップ / ヘディングアップ）を切り替える

方位マーク (P. 44) にタッチする

●ヘディングアップ（進行方向が上）



●ノースアップ（北が上）



お知らせ

●地図モード画面で、地図の向きを切り替えても、現在地画面に戻ると、元の設定に戻ります。

地図の傾きを調整する

上方向に2点ドラッグする



●傾きが大きくなります。

下方向に2点ドラッグする



●傾きが小さくなります。

●傾きを最も小さくすると、真上からの視点になります。

お知らせ

●走行中は、傾きを調整できません。

●傾きの調整中は、画面上で他の操作はできません。

●地図モード画面で、地図の傾きを調整しても、現在地画面に戻ると、元の設定に戻ります。

地図を回転させる

回転させたい方向に回転ドラッグする

- 指の動きに合わせて回転します。



お知らせ

- 走行中は地図を回転できません。
- 地図モード画面で、地図を回転させても、現在地画面に戻ると、元の設定に戻ります。

現在地画面の右側に地図を表示させる

ランチャー(P.46)から、
右画面表示 ▶ 地図を選ぶ



- 画面の右側に地図が表示されます。

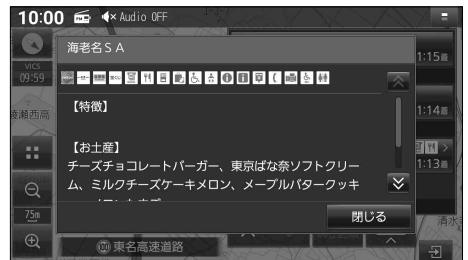
右側の地図を消去するには

ランチャー(P.46)を表示させ、
右画面表示 ▶ OFFを選ぶ

- 右側の地図が消去されます。

SA・PAの情報を表示する

ハイウェイモード(P.41)から、
SA・PAを選ぶ



- SA・PAの情報が表示されます。
- 閉じる を選ぶと消去されます。

地図にランドマークを表示させる

表示させるランドマークを選ぶ

最大300件選択できます

1 ランチャー(P.46)から、**ランドマーク設定**を選ぶ

- ナビ設定(P.171)からランドマーク設定画面を表示させることもできます。

2 表示させたいランドマークの チェックボックスをONにする

- タッチするごとにON/OFFが切り替わります。
- 右側に**>**が表示された項目は、項目をタッチすると、さらに詳細な内容を選べます。
- 全解除**：すべての選択を解除する

■ ランドマーク設定画面



ランドマークを表示する

ランドマーク設定画面(上記)から、**ランドマーク表示ON**を選ぶ

- ランドマークが表示されます。[お買い上げ時の設定: ON]

■ ランドマークを非表示にするには

ランドマーク設定画面(上記)から、**ランドマーク表示OFF**を選ぶ

- ランドマークが非表示になります。

お知らせ

- ランチャー(P.46)から**ランドマーク表示** / **ランドマーク非表示** を選んでも、表示・非表示を切り替えられます。

拡大図・案内図表示を切り替える

1 現在地画面 (P.44) から、

■ を選ぶ

- 表示できる拡大図・案内図が無い場合は、タッチキーは表示されません。

2 切り替えたい拡大図・案内図を選ぶ

- 選んだ拡大図・案内図に切り替わります。



拡大図・案内図を消去するには

拡大図・案内図を、右にフリックする

- 拡大図・案内図が消去されます。
- ■ を選んで、拡大図・案内図を消去することもできます。



■ 表示できる拡大図・案内図が1つだけのときは

- ■ / ■ を選ぶと、表示/非表示が切り替わります。
- フリック操作で拡大図・案内図を消去することもできます。



探索・案内・地図・VICSをアレンジする(ナビチューン)

ルート探索をアレンジする

1 ランチャー(P.46)から**TUNE**またはナビ情報・設定メニュー(P.21)から**チューン**を選ぶ

2 **ルート**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]



- **有料道路優先***¹ [低～中～高]
少しでも節約するか、割高でも有料道路を利用するかの度合い
- **道幅優先***² [狭～中～広]
できるだけ距離優先*³にするか、多少遠回りでも車線の多い道を優先するかの度合い
- **渋滞回避** [低～中～高]
VICSの渋滞情報を考慮する度合い
- **ルート学習** (P.70) [OFF / ON / アクティブ]
学習した道を探索に反映させる度合い*⁴
・**アクティブ**を選ぶと、ONよりも学習しやすく、ルート探索に反映されやすくなります。
- **VICS考慮** (P.71)
[ON(考慮する)/OFF(しない)]
- **季節規制考慮**
[ON(考慮する)/OFF(しない)]
- **スマートインター考慮** (P.71)
[ON(考慮する)/OFF(しない)]

- * 1 探索条件が「有料優先」または「一般優先」のときは考慮されません。(P.70)
- * 2 探索条件が「距離優先」(P.70)のときは考慮されません。
- * 3 狭い道や未舗装の道を案内する場合があります。
- * 4 必ず学習した内容でルート探索することを保証するものではありません。

ルート案内をアレンジする

1 ランチャー(P.46)から**TUNE**またはナビ情報・設定メニュー(P.21)から**チューン**を選ぶ

2 **ガイダンス**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]



- **分岐案内頻度** [低 / 中 / 高]
IC・JCT・交差点・料金所・目的地付近などの案内の頻度

安心運転サポート情報 (P.49) の設定

[★]印は**CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786 W**のみ

- **標識拡大表示** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- ★ **一時停止案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **合流案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **踏切案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- ★ **制限速度案内***¹ [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **ゾーン30案内***² [ON(案内する)/OFF(しない)]
- ★ **指定方向外禁止案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- ★ **レーン案内***³ [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **専用レーン案内***² [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **カーブ案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **事故多発地点案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- ★ **有料道速度超過警告** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- ★ **一般道速度超過警告***⁴ [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **ゾーン30速度超過警告***² [ON(案内する)/OFF(しない)]

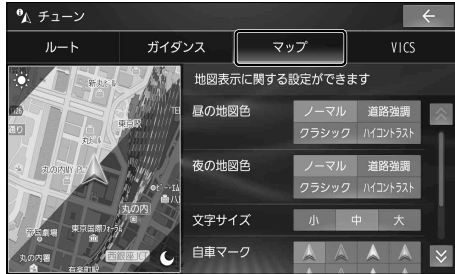
- * 1 ゾーン30案内を含みます。
- * 2 **CN-HZ885 CN-HZ785W**のみ
- * 3 高速レーン減少案内、専用レーン案内
- * 4 ゾーン30速度超過警告を含みます。

地図表示をアレンジする

1 ランチャー(P.46)から**TUNE**またはナビ情報・設定メニュー(P.21)から**チューン**を選ぶ

2 **マップ**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]



- **昼の地図色/夜の地図色**
 - **ノーマル**: 標準的な地図
 - **道路強調**: 道路を見やすく強調した地図
 - **クラシック**: 従来のように道路を色分けした地図*1
 - **ハイコントラスト**: 夕暮れや夜間などの暗い車内でも見やすいようにコントラストを高くした地図
- **文字サイズ**[小/中/大]
地図の文字サイズ
- **自転車マーク**
 - 色: 青/赤/黄/緑
 - 大きさ: 大/小
- **昼夜切替**
 - **時刻連動**: 日の出/日の入時刻に連動
 - **ライト連動**: ライトの点灯/消灯に連動
 - **昼画面**: 常に昼画面を表示
 - **夜画面**: 常に夜画面を表示

*1 道路の色分け(昼画面の場合)
〈 〉内がクラシックの色分けです。
緑系〈青系〉: 高速道路、有料道路
茶系〈赤系〉: 国道
茶系〈緑系〉: 主要地方道、県道
灰系〈灰系〉: 一般道、細街路(道幅5.5m未満)
青(破線): フェリー航路

VICS 案内をアレンジする

1 ランチャー(P.46)から**TUNE**またはナビ情報・設定メニュー(P.21)から**チューン**を選ぶ

2 **VICS**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]



- **VICS 有料道情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS 一般道情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS 駐車場情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS 規制マーク表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS 範囲表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS 渋滞・混雑情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS 渋滞なし情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS 統計情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]

行き先までのルートを作るには

1 行き先を探す

1 検索方法を選ぶ

■ トップメニュー(P.20)



■ 全機能一覧(P.22)



- 名称..... P.60
- 電話番号..... P.60
- 履歴..... P.61
- 自宅..... P.61
- 登録地..... P.61
- 住所..... P.62
- ジャンル..... P.62
- マップコード..... P.62
- 周辺施設..... P.63
- 音声認識*1..... P.64

*1 **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W**
のみ

2 場所や施設を検索する

検索方法によって、表示される画面や
選択できるタッチキーは異なります。

- 50音順で並んだリストに表示されます。
 - ・行(あ→か→さ→た→な...)ごとにリストを切り替えます。
 - ・同じタッチキーを連続して選ぶと、段(あ→い→う→え→お)を切り替えます。



- 上下にリストをスクロールします。
- リストをフリック/ドラッグしてもスクロールできます。(必ず、リストの内側をフリック/ドラッグしてください。)

リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

■ 検索結果画面



- 選んだ施設に出入り口や駐車場などの地点情報がある場合、さらに詳細な地点のリストが表示されます。
- **施設詳細**：検索した施設に詳細情報がある場合に表示されます。選ぶと、施設の詳細情報が表示されます。

2 行き先に設定する

1 地点メニュー(P.46)から ここに行くを選ぶ



- ルート探索を開始します。
- **施設詳細**：検索した施設に詳細情報がある場合に表示されます。選ぶと、施設の詳細情報が表示されます。

2 全ルート図から、 案内スタートを選ぶ

走行距離・所要時間・料金

ルート上の高速出入口 探索条件 (P.70)



- 案内を開始します。
- 車を発進させても案内を開始します。
- 全ルート図でタッチキーを操作すると、車を発進させても案内は開始しません。

お知らせ

- ランチャー(P.46)からも、ルート案内中止/再開、ルート消去ができます。

ルート案内を中止する

1 トップメニュー(P.20)から ルートを選ぶ

2 全ルート図から案内ストップを選ぶ



ルート案内を中止し、ルート表示が消去されます。
(ルートそのものは消去されません。)

ルート案内を再開するには

ルート案内中止中に、
全ルート図から案内スタートを選ぶ



ルート案内が再開されます。

ルートを消去する

全ルート図からルート消去 ▶ はいを選ぶ

ルートそのものが消去されます。

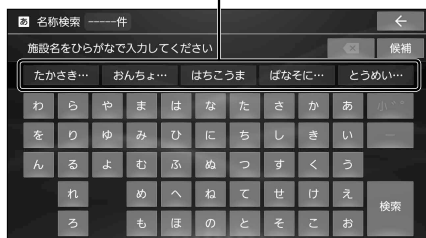
行き先を探す

施設の名称で探す

1 トップメニュー(P.20)または全機能一覧(P.22)から**名称**を選ぶ

2 名称を入力し、**検索**を選ぶ

- 入力履歴から、候補を5件まで表示



- **X**: 1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。
- **候補**: 入力履歴をリストで表示
 - ・リストから候補を選ぶと、その内容が入力欄に入力されます。
 - ・**全候補初期化** ▶ **はい** を選ぶと、すべての入力履歴が消去されます。
- 候補が10,000件を超える場合、メッセージが表示されます。**OK** を選ぶと、現在地から近い順に候補が10,000件まで表示されます。
- 文字入力のしかた→P.194

3 リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

- **←**: 入力した名称を修正

施設を絞り込むには

■ 地域で絞り込むには

- ① **絞り込み** ▶ **地域** を選ぶ
- ② 都道府県 ▶ 市区町村を選ぶ
 - **全国**: 地域絞り込みを解除

■ ジャンルで絞り込むには

- ① **絞り込み** ▶ **ジャンル** を選ぶ
- ② 絞り込むジャンルを選ぶ
 - **全ジャンル**: ジャンル絞り込みを解除

地図が表示されます。(P.66)

お知らせ

- 施設名の一部や略称では検索できない場合があります。

電話番号で探す

1 トップメニュー(P.20)または全機能一覧(P.22)から**電話番号**を選ぶ

2 電話番号を市外局番から入力し、**検索**を選ぶ

- **X**: 1文字削除
- 該当する施設が複数ある場合は、リストから選んでください。

地図が表示されます。(P.66)

お知らせ

- 電話番号から個人宅を検索できません。
- 電話番号が一部しかわからない場合は、検索できません。

検索履歴から探す

- 1 トップメニュー(P.20)または全機能一覧(P.22)から**履歴**を選ぶ
 - 以前、目的地・経由地に設定した地点が、新しい順に100件まで表示されます。
- 2 リストから履歴を選び、**決定**を選ぶ



地図が表示されます。(P.66)

お知らせ

- 履歴は100件まで自動的に保存され、100件を超えると古いものから自動的に削除されます。

検索履歴を手動で消去するには

- 1 リスト(上記)から **消去** を選ぶ
- 2 消去したい履歴を選び、**消去 ▶ はい** を選ぶ



- 選んだ履歴が消去されます。
- 全選択**: すべての履歴が選択されます。

自宅へ帰る

準備

- 自宅を登録してください。(P.31)

- 1 トップメニュー(P.20)または全機能一覧(P.22)から**自宅**を選ぶ

現在地から自宅までのルートが探索され、全ルート図が表示されます。(P.67)

お知らせ

- セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない状態で、オプションスイッチが「自宅」に設定されている場合は、**OPT** を押しても、現在地から自宅までのルートを探索できません。(P.174)

登録地から探す

準備

- 地点を登録してください。(P.76)

- 1 トップメニュー(P.20)または全機能一覧(P.22)から**登録地**を選ぶ
- 2 リストから登録地を選び、**決定**を選ぶ

- 登録順(昇順)**: 登録された順に昇順で表示
- 登録順(降順)**: 登録された順に降順で表示

地図が表示されます。(P.66)

行き先を探す


住所で探す

1 トップメニュー(P.20)または
全機能一覧(P.22)から**住所**を選ぶ

2 都道府県▶市区町村▶町名▶丁目
を選ぶ

- 市区町村を選んだあと、大字・小字を選ぶ場合があります。
- 住所が部分的にしかわからないときは、**代表地点**を選ぶと、その地域の代表地点地図を表示します。

3 番地・号を入力し、**検索**を選ぶ

- 番地・号は、「-」で区切ってください。
-  : 1文字削除
- リストからも、番地・号を選べます。

地図が表示されます。(P.66)

お知らせ


- 郡名では検索できません。

ジャンルから探す

ジャンルから施設を検索できます。(最大100件)
ジャンル一覧→P.219

1 トップメニュー(P.20)または
全機能一覧(P.22)から
ジャンルを選ぶ

2 ジャンル▶中分類▶小分類を選ぶ

- リストにが表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。

3 検索範囲の中心を選ぶ

- **現在地周辺**: 地図の中心周辺の施設
 - **目的地周辺**: 目的地周辺の施設*¹
 - **ルート沿い**: ルート沿いの施設*¹*²
 - **都道府県**: 選んだ地域の施設*³
- *¹ ルート案内中のみ
*² 現在地からルート沿いに左右約100m、
進行方向に約10km以内を検索
ただし、高速道路上にルートがあるときにSA/PA
を検索すると、左右400m以内を検索
*³ 都道府県・市区町村を選択してください。

4 リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

- 選んだ施設に出入り口や駐車場などの
地点情報がある場合、さらに詳細な地点
のリストが表示されます。

地図が表示されます。(P.66)

マップコードで探す

マップコードについてはP.211をご覧ください。

1 トップメニュー(P.20)または
全機能一覧(P.22)から
マップコードを選ぶ

2 マップコードを入力し、を選ぶ

地図が表示されます。(P.66)

お知らせ

- 本機は高分解能マップコードにも対応して
います。(マップコードHR)

周辺の施設を探す

現在地周辺、目的地周辺、ルート沿いの施設や、地図の中心地点周辺の施設を検索できます。
(最大100件)
ジャンル一覧→P.219

現在地周辺 / ルート沿い / 目的地周辺の施設を探す

1 トップメニュー(P.20)または
全機能一覧(P.22)から
周辺施設を選ぶ

2 検索範囲の中心を選ぶ

- **現在地周辺**：地図の中心周辺の施設
 - **ルート沿い**：ルート沿いの施設*1*2
 - **目的地周辺**：目的地周辺の施設*1
- *1 ルート案内中のみ
*2 現在地からルート沿いに左右約100m、
進行方向に約10km以内を検索
ただし、高速道路上にルートがあるときにSA/PA
を検索すると、左右400m以内を検索

3 ジャンル▶中分類▶小分類を選び、
検索を選ぶ

- リストに▶が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。
- チェックボックスのある中分類・小分類は、複数の項目を選ぶことができます。



- **全選択**：すべての項目を選択する
- **全解除**：すべての項目を解除する

4 リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

地図が表示されます。(P.66)

お知らせ

- ランチャー(P.46)から**周辺施設**を選ぶと、現在地の周辺で検索できます。

地図の中心地点周辺の施設を探す

1 地図をスクロールして、
検索範囲の中心にカーソルを合わせ
設定を選ぶ

- 地点メニュー(P.46)が表示されます。

2 地点メニュー(P.46)から
周辺検索を選ぶ

3 ジャンル▶中分類▶小分類を選び、
検索を選ぶ

- リストに▶が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。
- チェックボックスのある中分類・小分類は、複数の項目を選ぶことができます。



- **全選択**：すべての項目を選択する
- **全解除**：すべての項目を解除する

4 リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

地図が表示されます。(P.66)

行き先を探す

音声認識で目的地を検索する

CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W のみ

音声で入力された施設などをクラウド上のデータベースから検索し、行き先を設定できます。

準備

- スマートフォンを本機にWi-Fiネットワーク登録してください。(P.34)
- スマートフォンと本機をWi-Fi接続してください。(P.34~35)

1 トップメニュー(P.20)または全機能一覧(P.22)から**音声認識**を選ぶ
もしくは**MENU**を約0.5秒以上押す

2 施設や住所などを発声し、行き先を検索する

- 効果音が鳴ってから発声してください。

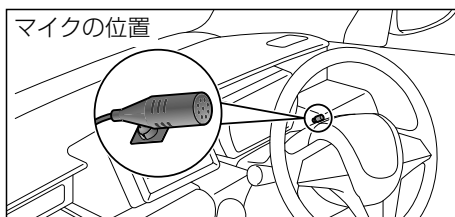
🗣️ こんにちは。
行きたいところをお話ください。

🗣️ **近くのカソリンスタンド**

🗣️ この付近のカソリンスタンドをお調べします。

- 検索結果画面が表示されます。

凡例: 🗣️ 本機の音声案内
🗣️ 発話者の音声入力



3 検索結果画面から、施設を選ぶ

🗣️ 20件のカソリンスタンドが見つかりました。近い順に
1. ○○石油××SS
2. △△石油××SS
3. □□石油××SS です。
番号か名称で選んでください。

🗣️ **3番*1**

🗣️ □□石油××SSを目的地に設定しますか？

🗣️ はい、一般優先で

🗣️ 一般優先でルート探索します。
お気をつけて。

検索結果画面では、下記の操作ができます。

■ **施設の詳細情報を聞く**

🗣️ **3番の詳細情報**

- 施設名称・住所・情報が案内されます。
- 番号で選択してください。(詳細情報を聞く施設は、名称では選択できません。)

■ **次の候補に切り替える**

🗣️ **次のページ**

- 次の候補を3件表示します。

■ **選択した施設に電話する**

🗣️ **電話をかける**

- 選んだ施設に電話をかけます。
(ハンズフリー接続時のみ)

■ **タッチで操作する**

リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

- タッチ操作すると音声認識は終了します。
以降の操作はタッチで行ってください。

現在地から行き先までのルートが探索され、
全ルート図が表示されます。(P.67)

* 1 「□□石油××SS」と、名称でも選択できます。

いろいろな音声認識（例）

■ 周辺の施設を検索する

新横浜駅周辺のファミレス

■ 住所から検索する

神奈川県横浜市都筑区池辺町
4261

■ 施設の名称から検索する

パナソニックセンター東京

■ 自宅を検索する

自宅に帰る

- 本機に登録した自宅を検索できます。

■ ルート沿いの施設を検索する

ルート沿いのコンビニ

■ 条件を詳細に設定する

横浜で駐車場のあるイタリアン
を経由地に、一般道優先で

■ 検索をやりなおす

やりなおし

- 番号の選択をやりなおすときは、番号を言いなおしてください。

お知らせ

- ステアリングオーディオスイッチの  または  (音声認識) を押しても検索をやりなおせます。

認識率を良くするために

適正な音量で、はっきりと発声してください。

- 発声の音量によって、音声認識アイコンが下記のように変化します。

-  : 声が非常に大きい
-  : 声が大きい
-  : 適正な音量
-  : 声が小さい

- 車の窓を閉めてください。
(周囲の雑音による誤認識を防ぐため)
- 同乗者に会話を控えてもらってください。
(同乗者の声による誤認識を防ぐため)

検索した施設を目的地・経由地に設定する

1 地点を検索する

- 検索した地点の地図が表示されます。(検索のしかた→P.60～65)

■ 目的地に設定する場合

2 **ここに行く**を選ぶ

- カーソルの地点を目的地に設定してルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。
- ルートが設定されている場合、前のルートは削除されます。



■ 経由地に設定する場合

立寄るを選ぶ

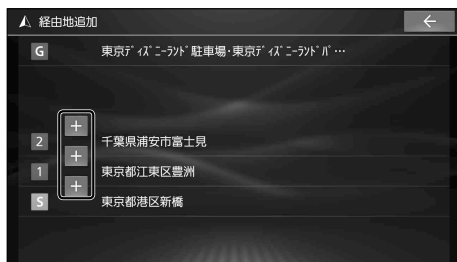
- カーソルの地点が経由地に設定されます。
- ルートが設定されていない状態では、経由地に設定できません。
- 経由地が5つ設定されているときは、それ以上経由地を追加できません。

3 (**立寄る**を選んだ場合のみ)

経由地を追加する区間の

+を選ぶ

- 選んだ区間に経由地を追加してルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。
- 経由地・目的地の順番を入れ替えるには→P.69



4 (手順2で**ここに行く**を選んだ場合のみ)

全ルート図から、探索条件を選ぶ

- 5つの探索条件から選べます。(探索条件について→P.70)

5 **案内スタート**を選ぶ

- ルート案内を開始します。
- 走行を始めても、ルート案内を開始します。
- 全ルート図を表示後、他の画面を表示すると、ルート案内を開始します。
- 全ルート図のその他の操作は→P.67～69



お知らせ

- 経由地・目的地の近くに有料道路がある場合は、有料道路上に経由地・目的地を設定するかを確認するメッセージが表示されます。
- チェーン規制などの規制情報がある場合は、全ルート図表示時に、規制をお知らせするメッセージが表示されます。

全ルート図から確認・設定する

手動で全ルート図を表示させる

ルート案内中に、手動で全ルート図を表示させることができます。

トップメニュー(P.20)から
ルートを選ぶ

- 全ルート図が表示されます。

■ 全ルート図



お知らせ

- 上記の方法では探索条件を選べません。ルート編集画面から設定してください。(P.68)

デモ走行でルートを確認する

探索したルートを実際に走行させ、実際に走行する前にルートを確認できます。

全ルート図から、**デモ走行**を選ぶ

- デモ走行を開始します。
- **1倍速**：デモ走行の走行速度を変更する
選ぶごとに下記のように速度が変化します。
1倍速 → 2倍速 → 4倍速 → 1/2倍速
- **II**：デモ走行を一時停止する
- **▶**：デモ走行に戻る

■ デモ走行中の画面



お知らせ

- 走行速度が2倍速または4倍速のときは、ルート音声案内されません。

デモ走行を終了するには

デモ走行中に、**デモ走行中止**を選ぶ

- デモ走行を終了します。
- **AUDIO** **MENU** **MAP** **TILT** を押してもデモ走行を中止します。

ルートを編集する

1 ランチャー(P.46)または全ルート図(P.67)から**ルート編集**を選ぶ

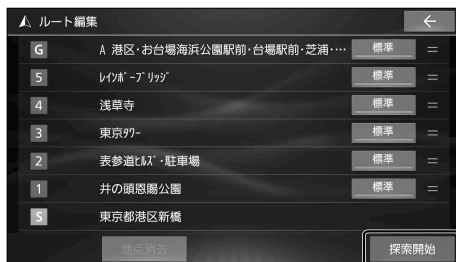
2 ルートを編集する(P.68~69)

- ルート編集画面から編集できる内容
 - ・ 経由地・目的地の追加・削除
 - ・ 経由地・目的地の順番の並び替え
 - ・ 各区間の探索条件の変更

3 **探索開始**を選ぶ

- 編集した条件でルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。(P.67)

■ ルート編集画面



経由地を追加・消去する

経由地を追加する

1 ルート編集画面から、
経由地を追加したい区間の
+を選ぶ

2 経由地にしたい場所を検索する
(P.60~65)

- **出発地付近**: 出発地付近の地図を表示
- **目的地付近**: 目的地付近の地図を表示
- **地図**: 最後に表示していた地図を表示

3 **立寄る**を選ぶ

- 検索した地点が経由地として追加されます。

経由地を消去する

1 ルート編集画面から、
消去したい経由地を選ぶ

2 **地点消去** ▶ **はい**を選ぶ

- 選択した経由地が消去されます。

目的地を追加・消去する

目的地を追加する

1 ルート編集画面から、
目的地追加を選ぶ

2 目的地にしたい場所を検索する
(P.60~65)

- **出発地付近**: 出発地付近の地図を表示
- **目的地付近**: 目的地付近の地図を表示
- **地図**: 最後に表示していた地図を表示

3 **ここに行く**を選ぶ

- 検索した地点が目的地として追加されます。
- 前の目的地は、目的地の直前の経由地になります。

目的地を消去する

1 ルート編集画面から、目的地を選ぶ

2 **地点消去** ▶ **はい**を選ぶ

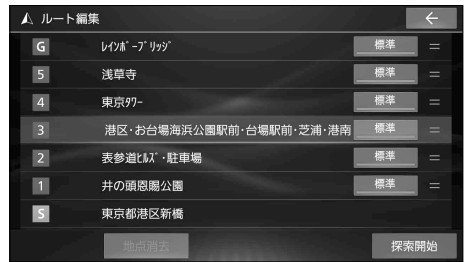
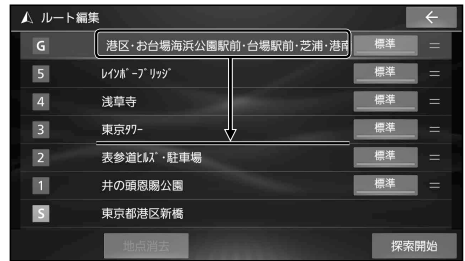
- 目的地が消去されます。
- 消去した目的地の直前の経由地が、新しい目的地になります。

お知らせ

- 目的地を消去できるのは、ルートに経由地がある場合のみです。

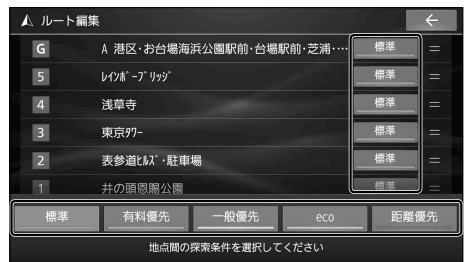
経由地・目的地の順番を並べ替える

- 1 ルート編集画面から、
並べ替えたい経由地・目的地を
タッチし続ける
- 2 「ピッ」という音が鳴ったら、
経由地・目的地をドラッグして、
順番を並べ替える
 - 希望の順番になるまで、ドラッグ操作を
繰り返して並べ替えてください。



区間ごとの探索条件を変更する

- 1 ルート編集画面から
変更したい区間の探索条件を選ぶ
- 2 探索条件を選ぶ
 - 選んだ探索条件に切り替わります。
 - 探索条件について→P. 70



ルート探索について

探索条件について

下記の5つの探索条件からルートを選択できます。

探索条件は、全ルート図 (P. 67)、ルート編集画面 (P. 68) から変更できます。

- **標準**：高速道路・有料道路/一般道路の使用を自動で判断したルート (通常は「標準」で探索します。)
- **有料優先**：高速道路・有料道路を優先して通るルート
- **一般優先**：一般道路を優先して通るルート
- **e c o**：燃料消費量と有料道路料金をトータルで節約するルート
- **距離優先**：距離が短くなるルート

お知らせ

- 「一般優先」で探索しても、有料道路を含むルートを探査する場合があります。
- 「eco」で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、燃料消費量が多くなる場合があります。
- 「eco」で探索されるルートの算出には、パナソニック独自の技術を使用しています。

ルート学習について

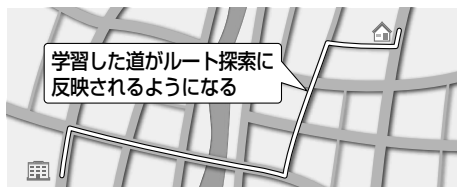
ルート案内中に同じ道で自動再探索が何度か起きると、実際に走行した道を学習してルート探索に反映されるようになります。(「距離優先」での探索を除く)

- 学習した道を探査に反映させる度合いの設定ができます。(P. 56)
- ルート学習のデータは、以下の場合に消去されます。
 - ・「ルート学習結果の初期化」を行ったとき (P. 171)
 - ・地図更新を行ったとき

■ 意図しないルートが探索されるときは

効率の良い道よりも、学習した道を優先してルート探索されている場合があります。

- 通りたい道を何度か通ると学習し、その道を優先して通るルートが探索されるようになります。
- 「ルート学習結果の初期化」(P. 171)を行うと、効率の良い道を優先して通るルートが探索されるようになります。

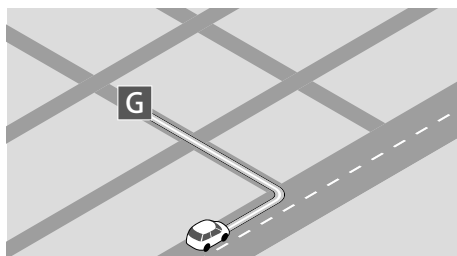


細街路探索について

出発地・経由地・目的地周辺は、道幅3 m以上5.5 m未満の細い道路も含めてルートを探査します。

走行できない道路、または交通規制により通行を禁止している道路も含めたルートを探査する場合があります。必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

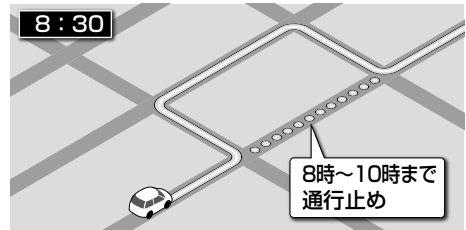
- 細街路上のルートは、一般道のルートとは異なる色で表示されます。



曜日時間規制探索について

月・曜日・時間による規制を考慮したルートを探します。

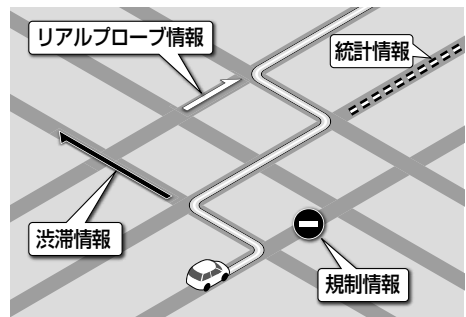
規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。



VICS 考慮について

FM VICSの渋滞/規制情報を基に、渋滞/規制を避けたルートを探します。

- ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞/規制情報も考慮して、渋滞/規制の場所を避けたルートを探します。
- 現在地から遠く離れた場所の渋滞/規制の情報は、考慮されない場合があります。
- 渋滞/規制情報を基にVICS考慮する/しないの設定ができます。
(VICS考慮→P.56)

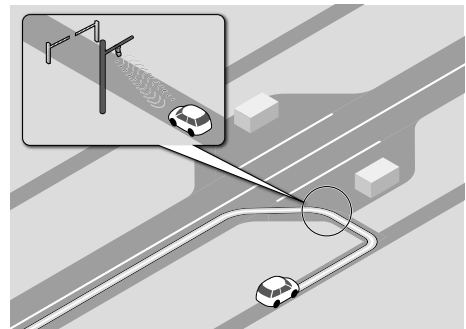


スマートIC、ETC 専用料金所を通るルートについて

スマートIC、ETC専用料金所の利用を考慮したルートを探します。その際、通行できる時間帯や入口/出口の情報は考慮されますが、通行できる車種の情報は考慮されません。

また、ETC車載器/ETC2.0車載器を装着していない車両や、ETCカードを挿入していない場合でも、スマートIC、ETC専用料金所を通るルートが探索される場合があります。必ず、実際のスマートIC、ETC専用料金所の状況に従って通行してください。

- スマートIC、ETC専用料金所を考慮する/しないの設定ができます。
(スマートインター考慮→P.56)



お願い

- スマートICおよびETC専用料金所は、ETC専用のインターチェンジや料金所です。ETC車載器/ETC2.0車載器を装着していない車両の場合は、スマートインター考慮を「OFF(しない)」に設定してください。

ルート案内について

音声案内について

音声案内の「**太字の下線**」部は、走行するルートによって案内が異なります。

一般道路走行中の音声案内

■ 交差点に近づくと

◀ およそ **300 m**先、**大手町**を**左方向**です。

● 細街路でも交差点で音声分岐案内されます。

◀ まもなく**大手町**を**左方向**です。

◀ **左方向**です。

■ 側道では

◀ まもなく**左方向**、側道です。

◀ **左方向**、側道です。

■ レーンのある道路では

◀ この先、**左折専用車線**に注意してください。

● レーン案内する/しないの設定→P.56

高速道路・有料道路走行中の音声案内

■ 料金所付近では

◀ この先、料金所です。

■ 分岐地点に近づくと

◀ およそ **1 km**先、**左方向**、**外苑出口**です。

◀ まもなく、**左方向**、**外苑出口**です

前方が渋滞していたら（VICS 案内）

渋滞や交通規制などのVICS情報が案内されます。（前方約10km以内）

● ルート案内中：ルート上の情報

● ルート未設定：自車の進行方向の情報

◀ およそ、**3 km**先、渋滞しています。

● VICS案内する/しないの設定→P.172

長時間の運転中は（休憩案内）

本機を起動してから2時間おきに音声で休憩を促します。

◀ そろそろ休憩しませんか。

● 休憩案内する/しないの設定→P.174

経由地・目的地の音声案内

■ 経由地付近では

◀ 経由地付近です。

■ 目的地付近では

◀ 目的地に到着しました。
ルートガイドを終了します。

次の交差点などの音声案内を聞く

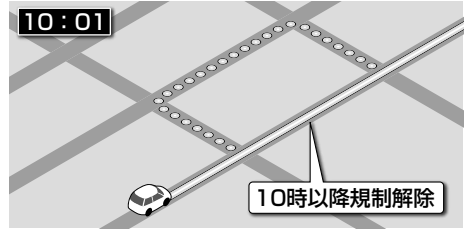
ルート案内中に、現在地画面 (P.44) で MAP を押す

- 次の分岐交差点などが案内されます。

ルート案内中の曜日時間規制探索

ルート上の現在地周辺の月・曜日・時間による規制を常に確認し、それを考慮したルートに変更されます。

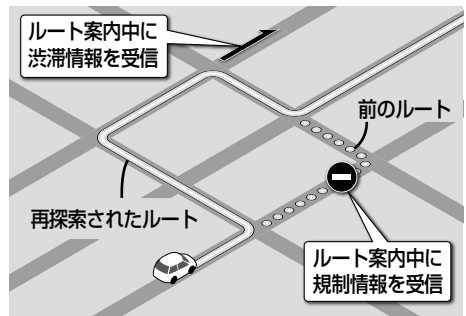
規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。



ルート案内中の VICS 自動再探索 (スイテルート案内)

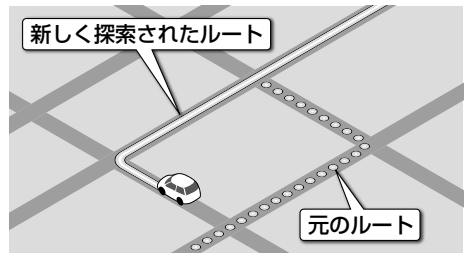
FM VICSの渋滞/規制情報 (P.81) を受信すると、渋滞/規制を考慮したルートに変更されます。

- ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞/規制情報も考慮して、渋滞/規制を避けたルートを探します。
- 実際の道路状況によっては、早く着くとは限りません。
- 渋滞/規制情報を基にVICS考慮する/しないの設定ができます。
(VICS考慮→P.56)



ルートから外れたときの自動再探索

ルートを外れても、自動的に再探索します。



ルート案内について

新しいルートと前のルートと比較する（新旧ルート比較）

VICS自動再探索が行われた場合は、変更後のルートと変更前のルートを約8秒間表示します。（新旧ルート比較）

表示中に、「**新ルートで案内**」/**元ルートで案内**」でどちらのルートを案内させるかを選んでください。表示が消えるまで何も操作しないと、新旧ルート自動選択（P.171）で設定されたルートで案内を開始します。

- 新旧ルート比較をしない場合があります。
 - ・ 変更前のルートを通行できないとき（通行止め、規制など）
 - ・ 現在地から約30 kmより先のルートが変更されたとき
- 新旧ルート比較画面を表示する/しないの設定→P.171

距離・所要時間の元ルートからの比較、および次の分岐までの距離が表示されます。



探索条件を変更してもう一度ルートを探索する

1 ランチャー（P.46）から

再探索を選ぶ

2 再探索条件を選ぶ

- 選んだ条件で再探索します。
- 経由地がある場合は、次の経由地までのルートが再探索されます。
- 探索条件について→P.70

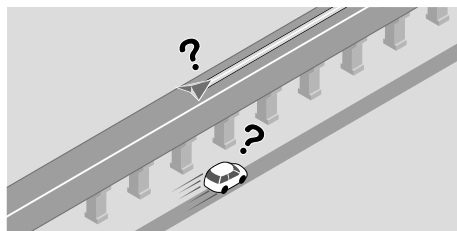


走行中の道路を誤って認識したとき（道路切替）

高速道路と一般道路が隣接しているときは、道路を誤認することがあります。

例：実際は高速道路を走行中なのに自車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など

そのような場合に、下記の操作を行い、手動で地図のマッチングを切り替えて、正しい道路に修正します。



ランチャー（P.46）から**道路切替**を選ぶ

- そのまましばらく走行すると、道路（高速道路/一般道路）を切り替えて再探索されます。
- 道路切替は、隣接する並行な道路を対象としています。一般道路同士の切り替えはできません。

逆走注意アラーム・逆走検知警告

SA/PA に駐車したときは

駐車して車のエンジンを切ったあとに、再びエンジンをかけて発進させると、逆走しないよう事前に注意を促します。

- 逆走注意アラームの設定→P. 172

お知らせ

- SA/PAによっては、案内されない場合があります。



高速道路や料金所などで逆走を検知すると

IC/JCTなどの合流部、SA/PAの入口・出口、高速道路の出口部などで逆走を検知すると、逆走のおそれがある旨を警告案内します。

- 逆走してしまった場合は、安全な場所（路側帯など）に停車し、路側帯に設置された非常電話などから、道路を管轄する管制センターなどに指示をあおいでください。
- 逆走注意アラームの設定に連動して、警告をする/しないの設定が切り替わります。（P. 172）
- 詳しくは、P. 210をご覧ください。



- 「ここでは案内しない」をチェックすると、次回からその地点での逆走検知警告は案内されなくなります。

逆走検知警告を消去するには

解除を選ぶ

お知らせ

- 逆走検知警告は、都市高速・都市間高速道路などで案内されます。
- SA/PAによっては、案内されない場合があります。
- すべての場所、すべての場合での逆走検知を保证するものではありません。
- 「出荷状態に戻す」(P. 175)の操作を行うと、「ここでは案内しない」の設定もお買い上げ時の状態に戻ります。

地点を登録する(登録地)

登録地について

登録地は、最大900件まで登録できます。(自宅を含む)

- 登録された地点は、マークで表示されます。

登録地リストを表示する

登録地のリストから、登録地の地点の表示、編集、新規登録、削除ができます。

- 1 ナビ情報・設定メニュー(P.21)から
ナビ設定を選ぶ

- 2 ナビ設定メニューから
登録地を選ぶ

- 登録地リストが表示されます。

■ 登録地リスト



地点を登録する

カーソルの地点を登録する

- 1 地図モード画面から、
登録したい場所にカーソルを合わせ、
設定を選ぶ

- 2 地点メニュー(P.46)から
地点登録を選ぶ

- カーソルの位置(地点)が登録されます。

現在地を登録する

現在地画面を表示させ、
ランチャー(P.46)から

地点登録を選ぶ

- 現在地が登録されます。

登録地リストから地点を登録する

- 1 登録地リスト(上記)から**新規登録**を選ぶ

- 2 地点を検索する

- 検索方法は「行き先を探す」と同じです。(P.60~65)
- 現在地付近**: 現在地付近の地図を表示*1
- 出発地付近**: 出発地付近の地図を表示*2
- 目的地付近**: 目的地付近の地図を表示*2
- 地図**: 最後に表示していた地図を表示

*1 ルート未設定時のみ

*2 ルート案内中のみ



- 3 登録したい場所にカーソルを合わせ、
設定を選ぶ

- 4 **保存**を選ぶ

- 地点が登録されます。

登録地リストから目的地・経由地を設定する

- 1 登録地リスト(上記)から目的地・経由地に設定したい登録地を選択して、**決定**を選ぶ
 - 地図が表示されます。

- 登録地リスト(上記)のまたはが点灯している場合は、消灯させてから操作してください。

- 2 検索した施設を、目的地・経由地に設定する(P.66)

登録地を消去する

登録地リストから消去する

1 登録地リスト(P.76)から **☐** を選ぶ

- **☐** が点灯します。

2 消去したい登録地のチェックボックスをONにして、**消去 ▶ はい** を選ぶ

- タッチするごとにON/OFFが切り替わります。
- 選択した登録地が消去されます。
- **全選択** : すべての登録地を選択する



地点編集画面から消去する

1 消去したい登録地の地点編集画面を表示させる(下記)

2 地点編集画面から **消去 ▶ はい** を選ぶ

- 登録地が消去されます。

登録地の情報を見る

地点メニューから情報を見る

1 登録地にカーソルを合わせ、**設定** を選ぶ

2 地点メニュー(P.46)から **地点編集** を選ぶ

■ 地点編集画面



- 登録地の情報は編集できます。(P.78)

情報・設定メニューから情報を見る

1 登録地リスト(P.76)から **🔍** を選ぶ

- **🔍** が点灯します。

2 リストから登録地を選び、**編集** を選ぶ

■ 地点編集画面



- 登録地の情報は編集できます。(P.78)

地点を登録する（登録地）

登録地を編集する

各項目を編集し（下記）、**保存**を選ぶ

- 必ず、**保存**を選んで編集内容を保存してください。

名称を編集する

1 地点編集画面（P.77）から
「名称」の欄を選ぶ

2 地点を編集し、**✓**を選ぶ

- 全角64文字（半角128文字）まで
- 文字入力のしかた→P.194

位置を変更する

1 地点編集画面（P.77）から
「位置」の欄を選ぶ

2 地図をスクロールさせて
位置を変更し、**決定**を選ぶ

マークを変更する

1 地点編集画面（P.77）から
「マーク」の欄を選ぶ

2 リストからマークを選び、
決定を選ぶ

電話番号を変更する

1 地点編集画面（P.77）から
「TEL」の欄を選ぶ

2 電話番号を入力し、**✓**を選ぶ

■ **電話をかける**（ハンズフリー接続中のみ）

地点編集画面から**発信**を選ぶ

- 登録地の電話番号に電話をかけます。
- 通話中の操作について（P.141）

アラームを設定する

設定した方向から、設定した距離まで近づくと、アラームでお知らせします。

■アラームの音を設定する

[お買い上げ時の設定：OFF（鳴らさない）]

1 地点編集画面（P.77）から
「アラーム 音」の欄を選ぶ

2 **アラーム1**～**アラーム9**から
アラームを選び、**決定**を選ぶ

- アラームを選ぶと、選んだアラームの音が出力されます。
- OFF**を選ぶと、アラーム音がOFFに設定されます。

■アラームを鳴らす距離を設定する

[お買い上げ時の設定：50 m]

1 地点編集画面（P.77）から
「アラーム 案内距離」の欄を選ぶ

2 **50 m**/**100 m**/**300 m**/**500 m**
から距離を選ぶ

■アラームを鳴らす方向を設定する

[お買い上げ時の設定：OFF（全方向）]

1 地点編集画面（P.77）から
「アラーム 進入角度」の欄を選ぶ

2 **↻**/**↺**で進入角度を選び、
決定を選ぶ



- 進入角度が設定された状態で「アラーム 進入角度」の欄を選ぶと、「OFF（全方向）」になります。

VICS 情報を見る

VICS について

渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。

- 本機では、FM VICS(FM多重放送)を受信できます。
 - ・選局した放送局からの電波が弱い場合は、FM-VICSを受信できません。
- ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0サービス(電波ビーコン5.8 GHz)からVICS情報を受信できます。

※ 本機は光ビーコンに非対応です。また、ビーコン受信機の接続もできません。

お知らせ

- 渋滞情報に関する設定は→P.173
- 新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
- GPS信号で現在時刻の情報を受信していないときは、VICS情報を受信できません。
- 提供されるVICS情報は、あくまでも参考です。最新情報でない場合があります。
- 提供された情報と異なる場合は、実際の交通規制や道路状況に従ってください。

文字表示型の VICS 情報 (レベル 1)

■ FM 多重放送を受信すると

受信しても、自動的に表示されません。

- 受信した情報を手動で見るには→P.83



図形表示型の VICS 情報 (レベル 2)

■ FM 多重放送を受信すると

受信しても、自動的に表示されません。

- 受信した情報を手動で見るには→P.83



VICS 情報を見る

地図表示型の VICS 情報 (レベル3)

渋滞、規制、駐車場、SA・PA情報(レベル3)を受信すると、自動的に表示されます。



VICS タイムスタンプ



情報が提供された時刻が表示されます。

- 受信した時刻ではありません。
- VICS タイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制のある地点(直近)のVICS情報が案内されます。
 - ・ルート案内中: ルート上の情報
 - ・ルート未設定: 自車の進行方向の情報

お知らせ

- 遠方の渋滞情報は案内されません。

ハイウェイモード時は

- 渋滞・混雑区間: 道路を色分けして表示
 - ・赤: 渋滞
 - ・橙: 混雑
 - ・緑: 渋滞なし



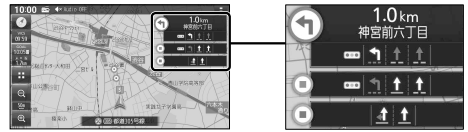
- 規制情報: 区間ごとにマークを表示

車線ごとの渋滞情報表示

色分けして地図上に表示されます。
(該当の情報が配信されているエリアのみ)
配信エリアについてはVICSセンターのWebサイト
(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

色	車線ごとの渋滞情報	渋滞度
赤	---	渋滞
橙	--	混雑
緑	—	渋滞なし

表示例



VICS 範囲表示

気象・災害情報を受信すると、対象となる範囲が薄い黄色で表示されます。



お知らせ

- 表示中の地図全体に気象・災害情報がある場合は、地図画面全体が薄い黄色で表示されます。

渋滞情報

色分けして地図上に表示されます。
(該当の情報が配信されているエリアのみ)
配信エリアについてはVICSセンターのWebサイト
(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

色	リアルタイム情報		統計情報	渋滞度
	渋滞情報	リアルプローブ情報		
赤			=====	渋滞
橙			=====	混雑
緑			=====	渋滞なし
灰			=====	不明

- 表示のしかたを設定できます。(P.57)
- **渋滞情報(リアルタイム情報)**
道路に設置の車両感知器などで収集した現在の情報
- **リアルプローブ情報(リアルタイム情報)**
タクシーなどから収集した現在の情報
- **統計プローブ情報(統計情報)**
タクシーなどから収集した情報のデータを統計処理し、渋滞を予測した情報

※ プローブ情報とは走行している車から直接収集される「位置」と「時刻」のデータ(走行履歴)です。

駐車場マーク・SA/PA マーク

色	一般駐車場	SA	PA	状態
青				空車
橙				混雑
赤				満車
黒				不明
赤				閉鎖

- 表示する/しないを設定できます。(P.57)

VICS 情報マーク (例)

地図上の事象・規制マークが表示されます。

マーク	内容	マーク	内容
	事故		チェーン規制
	故障車		凍結
	路上障害		速度規制
	工事		徐行
	作業		進入禁止
	片側交互通行		通行止め
	対面通行		大型通行止め
	車線規制		雨
	入口制限		雪
	入口閉鎖		災害速報
	行事等		気象警戒警報
	火災		特別警報

- マークの内容を確認できます。(P.83)
- 表示する/しないを設定できます。(P.57)

VICS 情報を見る

ETC2.0 サービスによる VICS 情報

地図画面に、自動的に一定時間(約7秒~15秒間) 割込み表示されます。音声情報がある場合は、音声情報も再生されます。

● 優先情報

下記の情報が提供されます。

- ・安全運転支援情報
- ・新緊急メッセージ情報*¹
- ・注意警戒情報*²

● 一般情報

下記の情報が提供されます。

- ・センタ・ネットワーク障害通知情報
- ・多目的情報
- ・広域文字情報
- ・長文読み上げ情報
- ・電子標識情報

お知らせ

- ETC2.0 車載器が必要です。
- 表示中の画面(拡大図表示など)によって、割込み表示や音声情報再生を中断したり、表示しない場合があります。
- ETC2.0の一般情報を割込み表示する/しない*³の設定→P.173





* 1 災害発生時は停車や避難等の行動指示のための情報も提供されます。

* 2 気象急変箇所、路面凍結多発箇所などの注意喚起を文字や画像、音声情報などでお知らせします。

* 3 割込み表示する/しないの設定にかかわらず、優先情報は割込み表示されます。

割込み画面(例)



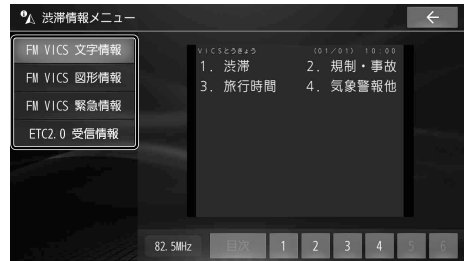
- : 音声情報の停止
- : 音声情報の再生
- : 次のページに切替
- : 割込み画面消去

VICS 情報を確認する

1 ナビ情報・設定メニュー(P.21)から 渋滞情報を選ぶ

2 渋滞情報メニューから 見たい情報を選ぶ

- 選んだ情報が表示されます。



- 1～6: 選んだページを表示*1
- ▽ / ▲: ページ切替
- 目次: もくじを表示*1
- 概要: 緊急情報の概要を表示
- 詳細: 緊急情報の詳細情報を表示
- ▶: ETC2.0の音声情報の再生
- ■: ETC2.0の音声情報の停止

* 1 FM VICS文字情報、FM VICS図形情報のみ

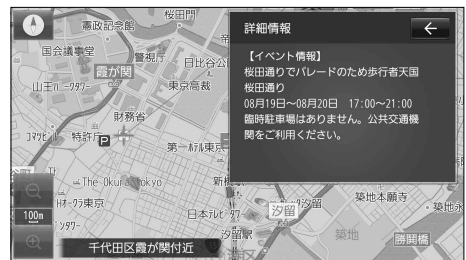
VICS 情報マークの内容を確認する

1 VICS 情報マークをタッチする

- 情報が表示されます。

2 詳細を選ぶ

- 詳細情報が表示されます。
- 詳細情報が無い場合は、**詳細**は表示されません。



VICS 情報を見る

緊急情報（特別警報）を受信すると

地図画面を表示中に緊急情報を受信すると、ただちに表示されます。

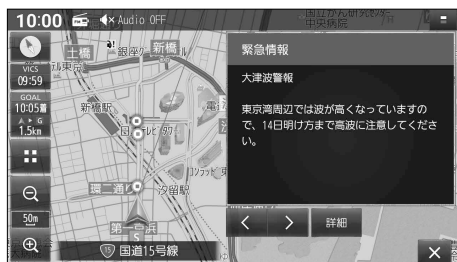
✕ を選ぶと、緊急情報画面が消去され、地図画面に戻ります。



再度情報を表示するには

地図画面で 緊急情報 受信中 を選ぶ

● 緊急情報画面が表示されます。



- : 行を戻す / 送る
- : ページ切替
- **詳細** : 詳細情報を表示
- 走行中は、行を戻す / 送る、詳細の操作はできません。
- 情報の提供が無い場合は表示されません。

オーディオ

オーディオの基本操作.....	88
オーディオに切り替える.....	88
オーディオのソースを選ぶ.....	88
オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り替える.....	89
オーディオをOFFにする.....	89
テレビを見る.....	90
デジタルテレビ初期設定を行う.....	90
緊急警報放送(EWS)について.....	91
データ放送について.....	91
周波数再編(リパック)について.....	91
テレビの基本操作.....	92
選局する.....	92
テレビメニューを設定する.....	92
チャンネル設定を切り替える.....	94
カーソルパネルで操作する.....	95
番組表を見る.....	96
番組の内容を見る.....	96
テレビの設定・情報を見る.....	97
ラジオを聞く.....	98
交通情報を聞く.....	99
ディスクを再生する.....	100
再生できるディスク.....	100
ディスクを挿入する.....	100
ディスクを取り出す.....	100
DVD-Video・DVD-VRを再生する.....	101
DVD-Video・DVD-VRの設定を変える.....	103
CDを再生する.....	104
音楽CD(CD-DA)を再生する.....	104
タイトル表示について.....	105
スマートフォンでタイトルを更新する(オンライン検索).....	105
MP3/WMAを再生する.....	106
SDカードに音楽CDを録音する.....	107
録音に関する設定をする.....	107
録音する.....	107
音楽CDの録音について.....	108
本機で録音した音楽データを再生する(MEMORY MUSIC).....	109
曲管理画面の基本操作.....	111
スマートフォンでタイトルを更新する(オンライン検索).....	112
更新したGracenote® データベースをタイトルに反映させる(データベース再検索).....	112
音楽データを消去する.....	113
SDカードの情報を見る.....	113
SDカード・USBメモリーを再生する.....	114
SDカードを挿入する.....	114
USBメモリーを接続する.....	114
音楽(MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV)を再生する.....	115
動画(MP4/AVI/MKV/ASF/WMV)を再生する.....	116
再生するファイルを選ぶ.....	117
BLUETOOTH Audioを再生する.....	118

iPod を再生する	120
iPod を接続する	120
iPod を再生する	122
自宅のレコーダーのコンテンツを車内で見ると (レコーダーリンク)	124
レコーダーリンクとは	124
ご利用の流れ.....	124
アプリに本機を登録して、スマートフォンと本機を接続する	125
コンテンツを再生する	126
視聴設定を変更する	127
レコーダーリンクで使用したデータ通信量を確認する	128
接続するスマートフォンを変更する	129
再生するレコーダーを変更する	129
音質・音場を調整する (オーディオチューン)	130
オーディオチューンの基本操作	130
音質・音場モードを選ぶ.....	130
音響効果「音の匠」を設定する.....	131
音場「DSP」を設定する.....	132
より自然な音で聞く (ビット・周波数拡張)	132
車速連動音量を補正する	133
ノイズ連動音量を補正する	133
イコライザー設定の基本操作	134
イコライザープリセットから設定する	134
手動でイコライザーを設定する	134
フェーダー/バランスの出力レベルを設定する	135
スピーカー設定の基本操作	135
スピーカー出力レベルを設定する	136
スピーカーディレイを設定する	136
映像を調整する	137
現在地画面にオーディオの映像を表示する	138

オーディオの基本操作

- 走行中は、TV、DVD、SD動画、USB動画、レコーダーリンク*¹、HDMI*¹の映像は表示されません。安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 走行中でも、後席用のモニターには映像が出力されます。
後席用のモニターに出力される映像について→P.169

*¹ **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

オーディオに切り替える

AUDIO を押す

- オーディオ画面に切り替わります。
- オーディオOFFの状態ではAUDIOを押すと、オーディオソース一覧(下記)が表示されます。

オーディオのソースを選ぶ

- 1 オーディオOFFの状態、
またはオーディオ画面表示中に、
AUDIOを押す

- オーディオソース一覧が表示されます。

- 2 切り替えたいソースを選ぶ

- 選んだソースに切り替わります。
- 全機能一覧(P.22)から選ぶこともできます。

ステアリングオーディオスイッチで選ぶ

ステアリングオーディオスイッチのMODEを押す

- 押すごとにソースが切り替わります。(右記)

OPT ボタンで選ぶ

セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない場合に操作できます。

準備

- オプションスイッチを「AVソース切替」に設定してください。(P.174)

OPT を押す

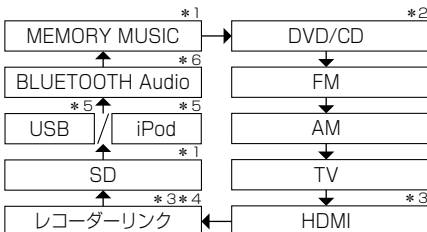
- 押すごとにソースが切り替わります。(右記)

■ オーディオソース一覧



■ ソースの切り替わりかた

- オーディオOFFのときはMEMORY MUSICに切り替わります。
- オーディオが交通情報のときは、TVに切り替わります。
- 交通情報に切り替えることはできません。



- *¹ SDカード挿入時のみ
- *² ディスク(DVD/CD)挿入時のみ
- *³ **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ
- *⁴ ハンズフリー接続時のみ
- *⁵ USBメモリー、iPod 接続時のみ (同時接続不可)
- *⁶ BLUETOOTH Audio 機器接続時のみ

オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り替える

オーディオ画面表示中に、MAP を押す

- オーディオの音声を出力したまま、ナビゲーション（現在地画面）に切り替わります。
- オーディオ画面に戻るには、AUDIO を押してください。
- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、オーディオOFFにしてください。（下記）

お知らせ

- ナビゲーションの現在地画面に、オーディオ映像を表示させることができます。（P.138）

オーディオを OFF にする

本体ボタンで

AUDIO を約2秒以上押す

- オーディオがOFFになります。

■オーディオをONにするには

オーディオOFFの状態、AUDIO を約2秒以上押す

- オーディオOFFにしたときに選ばれていたソースに切り替わります。

トップメニューから

トップメニュー（P.20）から Audio ON/OFF を選ぶ

- オーディオがOFFになります。

■オーディオをONにするには

オーディオOFFの状態、トップメニュー（P.20）から Audio ON/OFF を選ぶ

- オーディオOFFにしたときに選ばれていたソースに切り替わります。

オーディオ情報・設定メニューから

オーディオ情報・設定メニュー（P.21）から、オーディオ出力 OFF を選ぶ

- オーディオがOFFになります。

■オーディオをONにするには

オーディオOFFの状態、

オーディオ情報・設定メニュー（P.21）から、オーディオ出力 ON を選ぶ

- オーディオOFFにしたときに選ばれていたソースに切り替わります。

テレビを見る

トップメニュー(P.20)、オーディオソース一覧(P.88)または全機能一覧(P.22)から**TV**を選ぶと、テレビに切り替わります。

デジタルテレビ初期設定を行う

初めてテレビに切り替えたときは、デジタルテレビ初期設定画面が表示されます。地上デジタルテレビ放送をご覧になる前に、必ずデジタルテレビ初期設定をしてください。

1 郵便番号設定を選ぶ

- **視聴**を選ぶと、自車マーク周辺の地域が自動的に登録されます。

※販売店にて初期設定を行わずに動作確認を行う場合には、**受信確認**を選んでください。

- 受信確認中は、**◀ ▶**で物理チャンネルを変更できます。

デジタルテレビ初期設定

データ放送およびスキャンで参照するための設定を行います
パーキングブレーキを引いているか確認し、「郵便番号設定」を選択してください

「視聴」を選択すると、現在地情報をもとに、自動設定します
設定はメニューから変更することができます

設定を行わずに動作確認を行う場合には、「受信確認」を選択してください

受信確認

郵便番号設定

視聴

2 お住いの地域の郵便番号を入力し、

視聴を選ぶ

- 郵便番号を設定することで、地域に密着したデータ放送(たとえば、地域の天気予報など)を視聴できるようになります。

- デジタルテレビ初期設定完了です。
地上デジタルテレビ放送をご覧になれます。

郵便番号設定

戻る

◀	0	▶
1	2	3
4	5	6
7	8	9
0		

入力

デジタルテレビ初期設定を変更する

デジタルテレビ初期設定画面(上記)は、一度設定すると、出荷状態に戻す(P.175)またはTVの初期化(P.175)をするまで表示されません。

引越して受信地域が変わったなどの理由で、デジタルテレビ初期設定の項目を変更したい場合に行ってください。

1 設定画面(P.97)から**ユーザー情報設定**を選ぶ

2 **修正**を選ぶ

3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、**次へ**を選ぶ

4 お住まいの都道府県を選ぶ

- 伊豆、小笠原諸島、南西諸島鹿児島県地域を設定するには
 - 伊豆、小笠原諸島地域: **沖縄・その他の島部 ▶ 東京都島部**を選ぶ
 - 南西諸島鹿児島県地域: **沖縄・その他の島部 ▶ 鹿児島県島部**を選ぶ

5 表示された地域を確認して、**完了**を選ぶ

6 **終了**を選ぶ

緊急警報放送 (EWS) について

緊急警報放送 (EWS : Emergency Warning System) とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

緊急警報放送 (EWS) を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り替わります。

- TV以外のソースを選んでいても、緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送に切り替わる場合があります。
- 緊急警報放送が終了しても、テレビ画面のままになります。(元のソースには戻りません。) 元に戻すには、手動で切り替えてください。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り替わりません。
- 緊急警報放送の試験放送では動作しません。

データ放送について

- 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
- 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。

周波数再編 (リパック) について

周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、チャンネル設定をユーザープリセットに切り替えて「スキャン」を行ってください。(P.93)

テレビを見る

テレビの基本操作

テレビ視聴中に画面をタッチすると、選局パネルが表示されます。

●約5秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。

■ 選局パネル



- ① 受信中の放送局・番組
- ② チャンネルリスト
- ③ テレビ視聴画面に戻る
- ④ 番組表 (P.96) を表示
- ⑤ カーソルパネル (P.95) を表示
- ⑥ チャンネル設定切替 (P.94)
- ⑦ テレビメニュー (下記) を表示

選局する

チャンネルリスト (上記) から選ぶ

- 選んだチャンネルに切り替わります。
- 同じチャンネルで複数の番組が放送されている場合は、チャンネルをタッチするたびに番組が切り替わります。

ステアリングオーディオスイッチで選局するには

ステアリングオーディオスイッチの > / < を押す

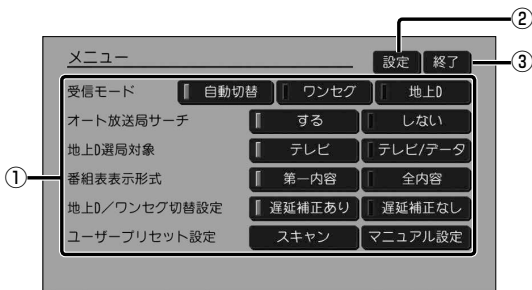
- 押すごとに1チャンネルずつ切り替わります。

テレビメニューを設定する

選局パネル (上記) から **メニュー** を選ぶ

- テレビメニューが表示されます。

■ テレビメニュー



- ① テレビメニューを設定 (P.93)
- ② テレビの設定・情報を見る (P.97)
- ③ テレビ視聴画面に戻る

テレビメニューを設定する (続き)

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作	
受信モード 受信状態が良くないときは、ワンセグに切り替えると、比較的安定した画像を見ることが出来ます。	「自動切替」: 受信状態に応じて地上デジタル放送/ワンセグを自動的に切り替える 「ワンセグ」: 受信状態にかかわらずワンセグを受信する 「地上D」: 受信状態にかかわらず地上デジタル放送を受信する ● 受信状況によっては、切り替え時に数秒間映像が途切れることがあります。 ● 放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送/ワンセグを切り替えた際、異なる番組になる場合があります。	
オート放送局サーチ 移動などで受信状態が悪くなった場合に、自動的に受信状態の良い中継局、または同じ系列の放送局に切り替えます。	「する」: オート放送局サーチする 「しない」: オート放送局サーチしない ● 県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り替えられない場合があります。そのときは、選局パネルから手動で選局してください。 ● 放送局によっては、同じ系列でも、番組内容が異なる時間帯があるため、オート放送局サーチで放送局を切り替えた際、異なる番組になる場合があります。	
地上D選局対象^{*1} テレビサービスのみを選局するか、テレビサービスと独立データサービスの両方を選局するかを設定します。	「テレビ」: テレビサービスのみ選局する ^{*2} 「テレビ/データ」: テレビサービスと独立データサービスを選局する *1 地上デジタル放送のみ設定できます。ワンセグに対しては設定できません。 *2 番組表もテレビサービスのみ表示されます。	
番組表表示形式 番組表の表示のしかたを設定します。	「第一内容」: 同じチャンネルに同じ時間に複数の番組がある場合、代表の1番組だけ番組表に表示する ● 代表以外の番組を視聴中は、代表の番組と視聴中の番組の2つが表示されます。 「全内容」: 同じチャンネルに同じ時間に複数の番組がある場合、すべての番組を番組表に表示する	
地上D/ワンセグ切替設定 遅延補正ありに設定すると、地上デジタル放送からワンセグに切り替わる際、スムーズに切り替わります。	「遅延補正あり」: 音の連続再生を優先するため、受信状態が悪化すると、早めにワンセグ放送に切り替わる 「遅延補正なし」: 受信状態が悪化しても、地上デジタル放送での視聴を優先する ● 本設定は受信モード(上記)が「自動切替」のときに、有効となります。 ● 地上デジタル放送を十分に受信してからでない場合効果が表れない場合があります。 ● ワンセグへの切り替えが早いと感じる場合は、「遅延補正なし」に設定すると改善される場合があります。	
ユーザープリセット設定 ユーザープリセットのチャンネル設定をします。 ● エリアプリセットでは設定できません。 ユーザープリセットに切り替えてください。(P.94)	スキャン を選ぶ ● チャンネルのスキャンを開始し、終了するとチャンネル設定画面が表示されます。	チャンネル設定画面で放送局を確認して、 終了 を選ぶ (P.94)
	チャンネル設定を変更したいときは マニュアル設定 を選ぶ	チャンネル設定画面で放送局を変更して、 終了 を選ぶ (P.94)

テレビを見る

チャンネル設定を切り替える


選局パネル(P.92)から**USER.P**(または**AREA.P**)を選ぶ


- 選ぶごとに、エリアプリセットとユーザープリセットが切り替わります。

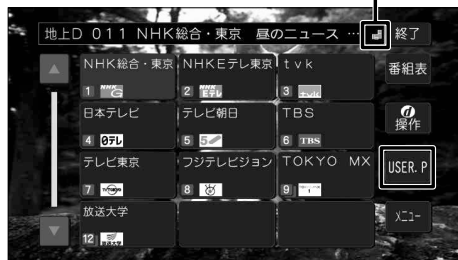
AREA.P(エリアプリセット):自動的に自転車位置周辺の放送局を表示するチャンネルリスト

USER.P(ユーザープリセット):手動で放送局をスキャンして設定したチャンネルリスト(P.93)

[お買い上げ時の設定:エリアプリセット]

 エリアプリセット

 ユーザープリセット



初めてユーザープリセットに切り替えたときは

「ユーザープリセットが未設定です スキャンしますか?」というメッセージが表示されます。下記の手順でチャンネルを記憶させてください。

1 はいを選ぶ

- チャンネルのスキャンを開始し、終了したらチャンネル設定画面が表示されます。

2 各チャンネルの放送局を確認して、**終了**を選ぶ

- チャンネルを記憶し、チャンネル設定を終了します。

■ チャンネル設定画面



チャンネル番号 放送局名



同じ放送局で受信できるチャンネル
・複数表示される場合があります。
・ワンセグは青色で表示されます。

チャンネル番号を選んで、お好みの放送局を割り当てることができます。

 : チャンネル番号を選択

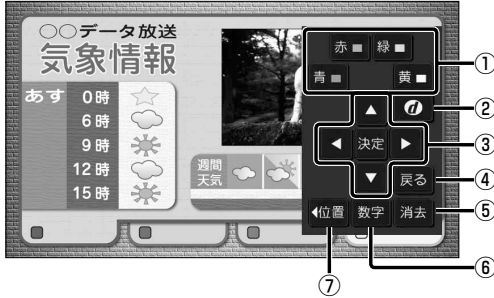
 : 放送局名を選択

カーソルパネルで操作する

選局パネル (P.92) から **0** 操作 を選ぶ

● カーソルパネルが表示されます。

■ カーソルパネル

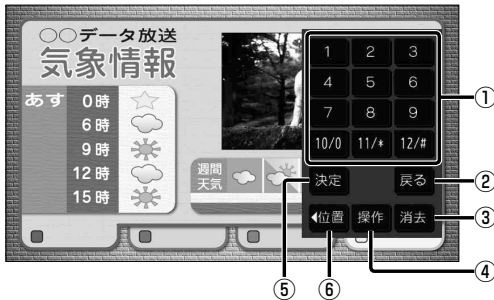


- ① カラーボタンで項目を選択する
- ② データ放送を見る*¹
- ③ カーソルで項目を選択・決定する
- ④ 1つ前の状態に戻る
- ⑤ カーソルパネルを消去する
- ⑥ 数字パネルに切替 (下記)
- ⑦ パネルの表示位置を移動 (画面左/右)



* 1 データ放送表示中に、カーソルパネルから **0** を選ぶとデータ放送が消去され、通常の放送に戻ります。

■ 数字パネル



- ① 数字を入力する
- ② 1つ前の状態に戻る
- ③ 数字パネルを消去する
- ④ カーソルパネルに切替 (上記)
- ⑤ 入力した内容に決定する
- ⑥ パネルの表示位置を移動 (画面左/右)

オーディオ
テレビを見る

テレビを見る

番組表を見る

選局パネル(P.92)から**番組表**を選ぶ

- 番組表が表示されます。

■ 番組表

表示形式の設定をすると、1番組のみ表示するか、すべての番組を表示するかを選べます。(P.93)



- ① 選局パネルに戻る
- ② 視聴中の番組の内容を見る(下記)
- ③ 時間帯を選ぶ
- ④ 番組表の拡大/縮小
- ⑤ 別の日の番組表を見る
- ⑥ チャンネルを選ぶ
- ⑦ 番組表を消去
- ⑧ 選んだチャンネルに切り替える
- ⑨ 選んだ番組の内容を見る(下記)
- ⑩ 放送時間の短い番組がある
タッチすると番組が表示されます。

- 電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約1分かかる場合があります。
- 受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選ぶと表示されます。(数分かかることがあります。)
- 地上デジタル放送は7日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。

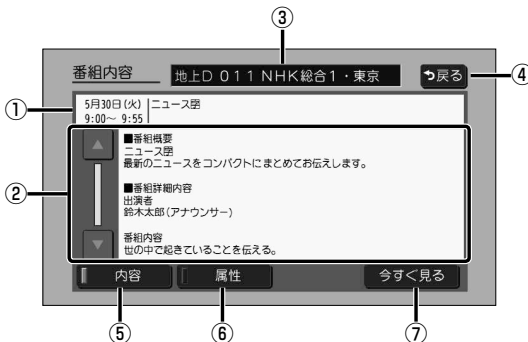
番組の内容を見る

視聴中の番組の内容を見る

番組表(上記)から**番組内容**を選ぶ

- 視聴中の番組の内容が表示されます。

■ 番組内容



- ① 放送日・放送時間・番組名を表示
- ② 内容表示欄
- ③ 放送局名を表示
- ④ 番組表に戻る(上記)
- ⑤ 番組内容を表示
- ⑥ 番組属性(詳細な情報)を表示
- ⑦ 内容表示中の番組を見る(放送中の場合のみ)

選んだ番組の内容を見る

番組表(上記)から**番組**を選ぶ

- 選んだ番組の内容が表示されます。

テレビの設定・情報を見る

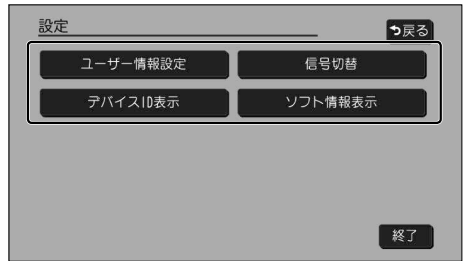
1 テレビメニュー画面 (P.92) から

設定を選ぶ

2 設定・確認したい項目を選ぶ

- **終了**: テレビの視聴画面に戻る

■ 設定画面

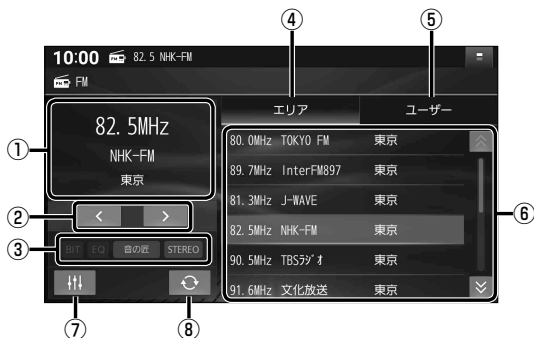


3 各項目を設定・確認する

項目	設定内容
ユーザー情報設定	デジタルテレビ初期設定を変更します。(P.90)
信号切替	各項目を設定します。 「マルチビュー」: 主番組と副番組が放送されているときに選択できます。 「映像」: 複数の映像があるときに選択できます。 「音声」: 複数の音声があるときに選択できます。 「二重音声」: 音声多重放送のときに音声を選択できます。 「字幕」: 字幕の言語を選択できます。 「文字スーパー」: 文字スーパー* ¹ の言語を選択できます。 * 1 放送中の番組の画面上に文字で表示される情報
デバイスID表示	※通常はこの操作は必要ありません。 ● 受信機(本機)に記憶されている放送局に関する情報が表示されます。 ● お問い合わせの際に必要な場合があります。
ソフト情報表示	ソフト情報を確認します。

ラジオを聞く

トップメニュー(P.20)、オーディオソース一覧(P.88)または全機能一覧(P.22)から**FM・AM**のいずれかを選べると、ラジオに切り替わります。



- ① 受信中の放送局を表示
- ② 周波数切替
- ③ オーディオの設定などを表示
- ④ エリアモードに切替
- ⑤ ユーザーモードに切替
- ⑥ 放送局リスト
- ⑦ オーディオチューン(P.130)
- ⑧ エリア更新

リストから選局する

放送局リストから、放送局を選ぶ

- 選んだ放送局に切り替わります。

周波数で選局する

◀ ▶で周波数を切り替える

- 「ピッ」と音が鳴るまでタッチし続けると、自動的に選局を開始し、受信すると止まります。(シーク選局)

エリアモードに切り替える

エリアを選ぶ

- 自車位置周辺の放送局リストが表示されます。

ユーザーモードに切り替える

ユーザーを選ぶ

- プリセットした放送局リストが表示されます。
- お好みの放送局を登録できます。(プリセットメモリー→右記)

お知らせ

- 受信したい放送局が放送局リストに無い場合は、周波数で選局してください。
- 受信電波の弱い地域では、シーク選局できないことがあります。
- エリアモードの放送局リストは本機に収録されている情報に基づいて表示されるため、下記のような場合があります。
 - ・ 放送局が表示されない / 実際とは異なる放送局が表示される
 - ・ リストに表示されている放送局を選択しても、切り替わらない(放送を受信できない)
 - ・ リストに表示されている放送局とは異なる放送局に切り替わる
- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。

放送局をリストに記憶させる (プリセットメモリー)

ユーザーモード(左記)で行ってください。

1 周波数で選局する(左記)

2 放送局リストの登録したい枠を約1秒以上タッチする

- 選局された放送局が、選んだ枠に登録されます。

放送局リストを更新する

エリアモード(左記)で使用し、自車が走行したために、放送局が受信エリアから外れた場合は、下記操作で受信エリアを更新してください。

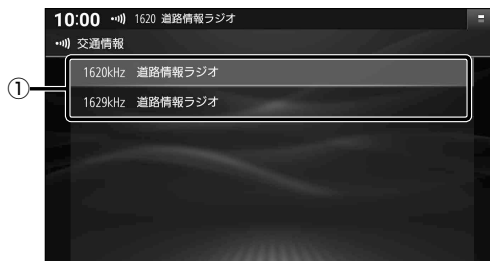
刷新を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局リストに更新されます。

交通情報を聞く

トップメニュー(P.20)、オーディオソース一覧(P.88)または全機能一覧(P.22)から**交通情報**を選ぶと、交通情報に切り替わります。[お買い上げ時の設定: 1 620 kHz]

① 交通情報の放送局



周波数を切り替える

1620kHz / 1629kHzを選ぶ

ディスクを再生する

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。
「ディスクについて」(P. 196)も併せてご覧ください。

ディスク	フォーマット	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3* ³	WMA* ³
DVD		○	—	—	—	—
DVD-R/RW* ¹		○	○	—	—	—
CD		—	—	○	—	—
CD-R/RW* ²		—	—	○	○	○
操作のしかた		P.101~103		P.104~106		

* 1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

* 2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

* 3 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Lossless、WMA Voiceには対応していません。

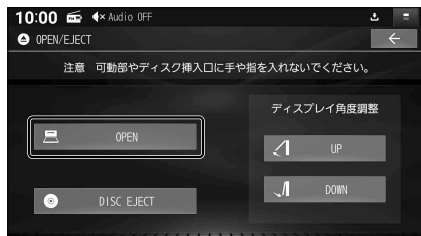
お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。
- 市販のディスクでも、品質状態によって正常に再生できない場合があります。

ディスクを挿入する

1 TILT を押す

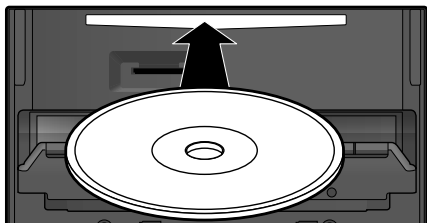
2 OPEN/EJECT 画面から **OPEN** を選ぶ



- ディスプレイが開きます。

3 ディスクを挿入する

ラベル面を上



- ディスプレイが自動的に閉まり、再生を開始します。
- TILT を押して閉じることもできます。

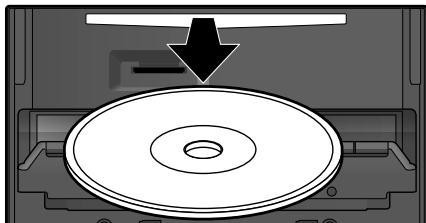
ディスクを取り出す

1 OPEN/EJECT 画面 (左記) から

DISC EJECT を選ぶ

- ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。
- 録音中などは、ディスクの排出までに時間がかかる場合があります。

2 ディスクを取り出す



- TILT を押して、ディスプレイを閉じてください。
- ディスクを取り出すとき、ディスクが熱くなっている場合があります。

お願い

- 走行中にディスクの出し入れをしないでください。破損するおそれがあります。

DVD-Video・DVD-VRを再生する

DVD、DVD-R/RW(AVCHD・AVCREC™形式を除く)のいずれかが本機に挿入された状態で、トップメニュー(P.20)、オーディオソース一覧(P.88)または全機能一覧(P.22)から**DVD**を選ぶと、DVDに切り替わります。

再生画面にタッチまたはダブルタップすると、動画操作画面が表示されます。



- ① 再生情報表示
- ② タッチキー位置変更(P.102)
- ③ 操作パネル
◀ ▶ を選んで、操作パネルに表示されるタッチキーを切り替えられます。
- ④ 経過時間・総時間・タイムバー
- ⑤ カーソルキー(◀▶▲▼)/実行(●)
- ⑥ 再生画面に戻る

チャプターを頭出しする

◀◀ / ▶▶ を押す

早送り・早戻しする

◀◀ / ▶▶ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 5秒以上押し続けると、より高速の早送り・早戻しになります。

一時停止する

再生中に、操作パネルから **⏸** を選ぶ

- **▶** を選ぶと、再生を開始します。

スロー再生する

一時停止中に、

◀◀ / ▶▶ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

停止する

再生中に、操作パネルから **⏹** を選ぶ

- **▶** を選ぶと、停止したところから再生を開始します。(リジューム再生)
- 停止中に **⏹** を選ぶと、続き再生機能が解除されます。

トップメニューを表示する DVD-Video

操作パネルから **☰** を選ぶ

- ディスクのトップメニューが表示されます。

タイトルメニューを表示する

DVD-Video

操作パネルから **☰** を選ぶ

- タイトルメニューが表示されます。

プレイリストを表示する DVD-VR

操作パネルから **☰** を選ぶ

- プレイリストが表示されます。

タイトルリストを表示する DVD-VR

操作パネルから **☰** を選ぶ

- タイトルリストが表示されます。

音声を切り替える

操作パネルから **🔊** を選ぶ

- 選ぶごとに音声が切り替わります。

字幕を切り替える DVD-Video

操作パネルから **🗣️** を選ぶ

- 選ぶごとに字幕が切り替わります。

字幕を表示 / 消去する DVD-VR

操作パネルから **🗣️** を選ぶ

- 選ぶごとに字幕の表示 / 非表示が切り替わります。

DVD-Video・DVD-VRを再生する

アングルを切り替える DVD-Video

操作パネル(P.101)から

アングルを選ぶ

- 選ぶごとにアングルが切り替わります。

トップメニュー / タイトルメニューから 元の再生に戻る(リジューム) DVD-Video

操作パネル(P.101)から

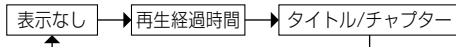
リジュームを選ぶ

- 元の再生に戻ります。

再生時間を表示する

操作パネル(P.101)から**タイム**を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



タイトル / チャプターを番号で選ぶ (サーチ)

1 操作パネル(P.101)から

サーチを選ぶ

2 番号を入力し、**実行**を選ぶ

- 選んだタイトル/チャプターに切り替わります。
- **切替**: サーチの対象(タイトル/チャプター)を切替
- **修正**: 1文字削除

静止画を切り替える DVD-VR

操作パネル(P.101)から

ページ送りを選ぶ

- 次の静止画に切り替わります。

ひとつ前の画面に戻る

操作パネル(P.101)から

リターンを選ぶ

お知らせ

- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、が表示されます。






項目を決定する

操作パネル(P.101)から

エンターを選ぶ

- 項目が決定されます。

カーソルで操作する

    でカーソルを移動し、
 (**実行**)を選ぶ




10 キーで選ぶ

1 操作パネル(P.101)から

10キーを選ぶ

2 10キーで項目を選ぶ

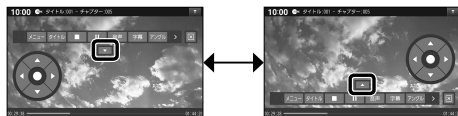


- : タッチキーを画面左に移動
- : 操作パネルを表示
- : タッチキー消去(再生画面に戻る)

タッチキーの位置を変更する

を選ぶ

- 選ぶごとに切り替わります。



DVD-Video・DVD-VR の設定を変える

1 操作パネル(P.101)から**設定**を選ぶ

2 各項目を設定する(下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作
言語を設定する* ¹ <ul style="list-style-type: none"> ● 言語コードを入力して、音声・字幕・メニューの言語を切り替えます。 ● 設定した言語がDVDに収録されていない場合や、DVDに優先言語が設定されている場合などは、本機の設定どおりに再生されない場合があります。 	言語設定 を選び、設定する[お買い上げ時の設定: 日本語] <ul style="list-style-type: none"> ● オリジナル: ディスクで優先されている言語に切り替える ● OFF: 字幕表示しない ● 初期値: すべての言語設定をお買い上げ時の設定に戻す ● 選んだ言語がタッチキーに表示されます。 ● オリジナル、OFFを選んだ場合は、タッチキーに言語を選択と表示されます。 ■ 言語コードから設定するには ① 設定する項目をタッチする ② 言語コードを入力して <input checked="" type="checkbox"/> を選ぶ(言語コード一覧表→P.199) ● X: 1文字削除
音声ダイナミックレンジで圧縮する* ^{1*2} <ul style="list-style-type: none"> ● ドルビーデジタル再生時のみ設定可能 	ダイナミックレンジ圧縮 を選び、設定する <ul style="list-style-type: none"> ● 「ON」: 圧縮する ● 「OFF」: 圧縮しない
ワイドサイズの映像を後席用のモニターの画面サイズに合わせる* ¹ <ul style="list-style-type: none"> ● 本設定は本機の表示にも反映されず、設定が適切でないと、映像が不自然に見える場合があります。 	モニター設定 を選び、設定する <ul style="list-style-type: none"> ● 「ワイド」(16:9) ● 「レターボックス」(4:3) ● 「パン&スキャン」(4:3) 通常は「ワイド」(16:9)に設定してください。
再生できるDVDを制限する <ul style="list-style-type: none"> ● 視聴制限が収録されていないDVDの場合は、本機で再生を制限することはできません。 	視聴制限レベル を選び、レベルを選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● 設定範囲: (強)レベル1～レベル8(弱)、制限なし(制限解除) ● パスワードを入力して <input checked="" type="checkbox"/> を選ぶ ● パスワード*²: 4桁の数字[お買い上げ時の設定: 0000] ● X: 1文字削除
パスワードを変更する* ¹	パスワード変更 を選び、「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワード再入力」を入力し、 <input checked="" type="checkbox"/> を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● パスワード*²: 4桁の数字[お買い上げ時の設定: 0000] ● X: 1文字削除

* 1 ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。小さい音声が高音量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。

* 2 パスワードは、忘れないようにメモなどを取ってください。

もしパスワードを忘れたときは、お買い上げ時のパスワード「0000」を入力すると解除できます。

CDを再生する

CD、CD-R/RWのいずれかが本機に挿入された状態で、トップメニュー(P.20)、オーディオソース一覧(P.88)または全機能一覧(P.22)から**CD**を選ぶと、CDに切り替わります。

- ナビゲーション画面表示中にCDを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り替えるには、AUDIO を押ししてください。

音楽 CD (CD-DA) を再生する



- ① オーディオの設定などを表示
- ② アルバム名・アーティスト名・曲名
- ③ 順不同に再生(ランダム)
- ④ オーディオチューン (P.130)
- ⑤ 録音設定を表示 (P.107)
- ⑥ 繰り返し再生(リピート)
- ⑦ 頭出し/早送り・早戻し
- ⑧ 再生/一時停止
- ⑨ オンライン検索 (P.105)
- ⑩ 音楽CD録音画面を表示/録音停止 (P.107)
- ⑪ 曲のリストを表示

オーディオ
CDを再生する

曲を頭出しする

⏮ ⏭ を選ぶ

早送り・早戻しする

⏮ ⏭ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

リストから選曲する

1 **📄** を選ぶ

- 曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ



- 選んだ曲の再生を開始します。

一時停止する

⏸ を選ぶ

- **▶** を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

🔄 を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

順不同に再生する(ランダム)

🎲 を選ぶ

- 全曲を順不同に再生します。
- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

お知らせ

- 録音中は、リストからの選曲、再生モード切替、早送り・早戻し、曲の頭出しはできません。

タイトル表示について

本機にはGracenote 音楽認識サービスのタイトル情報（アルバム名・アーティスト名・曲名）が収録されており、楽曲データと情報が一致した場合に付与されます。

- タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。
- 本機のGracenoteデータベースに一致する情報が無いときは、タイトル情報は表示されません。異なるタイトル情報を表示する場合があります。
- CD-TEXT 情報がある場合は、CD-TEXT 情報が優先的に表示されます。
- Gracenote データベースは更新できます。→P. 155

スマートフォンでタイトルを更新する（オンライン検索）

タイトルが表示されなかったり、誤ったタイトルが表示される場合は、オンラインで検索して取得できます。

準備

- タイトル情報を検索したいCDを本機に挿入してください。（P. 100）
- スマートフォンを本機とWi-Fi接続してください。（P. 34）

1 を選ぶ


2 を選ぶ

- タイトル情報の検索を開始します。
- 該当するタイトル情報が検索できた場合、アルバム情報が更新されます。

検索結果が複数ある場合は

検索候補選択画面が表示されます。

でタイトルを選び、 を選ぶ

- 選んだ内容で、タイトル情報が更新されます。
- 候補に該当するタイトル情報が無い場合は、 を選ぶと、更新せずにタイトル情報の検索を終了します。

お知らせ

- Gracenote 音楽認識サービスによって提供されたデータについては、内容を100%保証するものではありません。
- 録音中は、オンライン検索できません。



CDを再生する

MP3/WMAを再生する

再生順序やタイトル表示・データ作成時の留意点について→P.201



- ① オーディオの設定などを表示
- ② フォルダ名・アーティスト名・曲名
- ③ 順不同に再生(ランダム)
- ④ オーディオチューン(P.130)
- ⑤ 繰り返し再生(リピート)
- ⑥ 頭出し/早送り・早戻し
- ⑦ 再生/一時停止
- ⑧ フォルダ頭出し
- ⑨ フォルダ内の曲のリストを表示

曲を頭出しする

⏮ ⏭ を選ぶ

早送り・早戻しする

⏮ ⏭ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

フォルダを頭出しする

📁 📁 を選ぶ

- 選んだフォルダの1曲目から頭出し再生を開始します。

リストから選曲する

1 📄 を選ぶ

- フォルダ内の曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ



- 選んだ曲の再生を開始します。

一時停止する

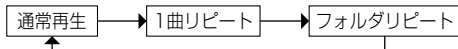
⏸ を選ぶ

- 📄 を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

🔄 を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



順不同に再生する(ランダム)

🎲 を選ぶ

- リスト内の全曲を、順不同に再生します。
- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

SDカードに音楽CDを録音する

- お客様が録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録音に関する設定をする

1 音楽CD画面 (P.104) で を選ぶ

2 各項目を設定する (下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作	
録音のしかたを設定する	録音モード を選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ●「自動録音」: 音楽CDを挿入すると、自動的に録音を開始する ●「手動録音」: 手動で曲を選んで録音する
録音時の音質を選ぶ ●数値が大きいほど音質が高くなりますが、録音できる時間は短くなります。	録音音質 を選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ●音質(ビットレート)を選ぶ [96 kbps]/[128 kbps]/[192 kbps]/[256 kbps]/[320 kbps]
録音可能時間	SDカードに録音できる時間のめやすが表示されます。	

録音する

準備

- 本機で初期化したSDカードを挿入してください。(P.114)

■録音モードが「自動録音」のときは

音楽CDを挿入すると、自動的に録音を開始します。

■録音モードが「手動録音」のときは

下記の手順で録音してください。

1 音楽CD画面 (P.104) で を選ぶ

- 音楽CD録音画面が表示されます。

2 録音方法を選ぶ

- 全曲録音**: 全曲を録音する
- 選択曲録音**: 選んだ曲のみ録音する
- 選択曲録音を選んだ場合**、リストから録音する曲を選んでください。

3 **録音開始**を選ぶ

- 録音を開始します。
- 表示された録音可能時間は目安です。

■音楽CD録音画面



録音を停止するには

録音中に、音楽CD画面で を選ぶ

- 録音を停止します。

SD カードに音楽 CD を録音する

音楽 CD の録音について

本機の故障、誤動作または不具合による録音データの破損や消失、SDカードの破損については補償できません。

- 本機で再生できる市販の音楽CDのみ、録音できます。(MP3/WMA ファイルのあるCDは録音できません。)
- 1曲でも録音済みの曲がある場合は、録音モードにかかわらずその音楽CDの自動録音は行いません。録音を開始するには、手動録音の全曲録音(P.107)を行ってください。
- 録音中にCD以外のソースやAUDIO OFFに切り替えても録音は継続されます。その場合、本機の動作状態に応じて、録音速度は自動で切り替わります。(平均4倍速)
- CD以外のソースに切り替えた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。
- 音楽CDの状態(記録面の傷、汚れなど)や記録内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。
- 録音したものは、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご了承ください。
- 高温時は、録音できない場合があります。
- 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。

お願い

- 録音中にSDカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- 録音中に車のエンジンスイッチ(電源ポジション)を切り替えたり、本機に振動や衝撃を与えたりすると、録音データやSDカードが破損する原因となります。
- SDカードの「RECAUDIO」フォルダの内容を、変更・削除しないでください。録音したデータが正常に再生されない場合があります。

音楽 CD 録音時の制限について

- 本機の動作が遅くなる場合があります。
- 録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。録音を停止された曲のデータは破棄されます。次回車のACCをONにすると、停止した曲から録音を再開します。
- 録音中は音楽CDに対して下記の操作ができません。^{*1}
 - ・再生モード切替(リピート/ランダム)
 - ・ヘッド出し
 - ・オンライン検索
 - ・録音設定
 - ・早送り/早戻し
 - ・リスト表示
- 連続複製防止システム(SCMS)の信号が付与された曲はCD-Rなどからは、録音できません。

*1 録音終了時点で再生されている曲が終わるまで、早送り/早戻し、再生モード(リピート/ランダム)の切替などの操作はできません。

本機で録音した音楽データを再生する (MEMORY MUSIC)

トップメニュー(P.20)、オーディオソース一覧(P.88)または全機能一覧(P.22)から**MEMORY MUSIC**を選ぶと、MEMORY MUSICに切り替わります。

準備

- 本機で音楽CDをSDカードに録音してください。(P.107)



- ① オーディオの設定などを表示
- ② アルバム名・アーティスト名・曲名
- ③ 順不同に再生 (ランダム)
- ④ オーディオチューン (P.130)
- ⑤ 設定メニューを表示 (P.111)
- ⑥ 繰り返し再生 (リピート)
- ⑦ 頭出し/早送り・早戻し
- ⑧ 再生/一時停止
- ⑨ 選曲モード設定画面を表示 (P.110)

曲を頭出しする

◀▶ を選ぶ

早送り・早戻しする

◀▶ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

一時停止する

⏸ を選ぶ

- ▶ を選ぶと、再生を開始します。

アルバムを切り替える

ステアリングオーディオスイッチの
◀ ▶ または ▲ ▼ を約0.5秒以上押す

- アルバムを切り替えると、リピート、ランダムは解除され、通常の再生に戻ります。

お願い

- MEMORY MUSIC再生中にSDカードを抜かないでください。
データが破損するおそれがあります。

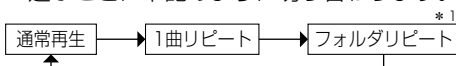
お知らせ

- 本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報がアルバムや曲に付与され、表示されます。
- タイトル情報が付与されない(本機のGracenoteデータベースに無い)場合は、スマートフォンとWi-Fi接続して、オンラインで取得できます。(P.105)

繰り返し再生する (リピート)

🔄 を選ぶ

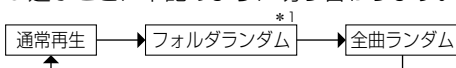
- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



順不同に再生する (ランダム)

🎲 を選ぶ

- リスト内の全曲を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



*1 フォルダの内容は、選曲モードによって異なります。(P.110)

本機で録音した音楽データを再生する (MEMORY MUSIC)

いろいろな方法で選曲する

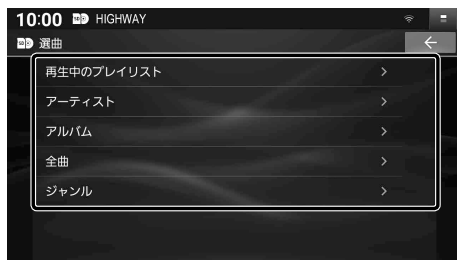
リストを絞って選曲することができます。(アーティスト別、アルバム別、ジャンル別など)

1 を選ぶ

2 選曲するリストを選ぶ

- **再生中のプレイリスト**:
再生中のリストを表示
- **アーティスト**: アーティストのリストを表示
- **アルバム**: アルバムのリストを表示
- **全曲**: 全曲を50音順に並べ替えて表示 (リストを絞らない)
- **ジャンル**: ジャンルのリストを表示

■ 選曲モード設定画面



3 項目を選んでリストを絞る

- **ALL**: 全曲を50音順に並べ替えて表示 (リストを絞らない)



- 例: アルバム

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。



曲管理画面の基本操作

本機で録音した音楽データ(アルバム・曲)のタイトルの更新や、データの消去などができます。

1 目 を選ぶ

2 曲管理 ▶ はい を選ぶ

- アルバムのリストが表示されます。

■ 設定メニュー



3 リストからアルバムを選ぶ

- 選択したアルバムの、オンライン検索、データベース再検索、消去ができます。

■ 曲管理画面(アルバム)



4 トラック表示 を選ぶ

- 選択したアルバムの曲のリストが表示されます。

5 リストから曲を選ぶ

- 選択した曲の、オンライン検索、データベース再検索、消去ができます。

■ 曲管理画面(曲)



- オンライン検索(スマートフォンでタイトルを更新する P.112)
- データベース再検索(更新したGracenote データベースをタイトルに反映させる P.112)
- アルバム・曲の消去(P.113)

お知らせ

- アルバムや曲のタイトルは、手動で入力・編集できません。
- 音楽CD録音中は、設定メニューを表示できません。

本機で録音した音楽データを再生する (MEMORY MUSIC)

スマートフォンでタイトルを更新する (オンライン検索)

タイトルが表示されなかったり、誤ったタイトルが表示される場合は、オンラインで検索して取得できます。

準備

- スマートフォンを本機と Wi-Fi 接続してください。(P.34)

1 曲管理画面 (P.111) から検索したいアルバムまたは曲を選び、**オンライン検索**を選ぶ

2 はいを選ぶ

- タイトル情報の検索を開始します。
- 該当するタイトル情報が検索できた場合、タイトル情報が更新されます。
- 検索結果が複数ある場合は、候補から選択してください。(下記)

更新した Gracenote® データベースをタイトルに反映させる (データベース再検索)

本機の Gracenote データベースを更新して、タイトル情報を更新することができます。

準備

- パソコンで Web サイトにアクセスして Gracenote データベース更新データをダウンロードし、本機の Gracenote データベースを更新してください。(P.155)
<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

曲管理画面 (P.111) から更新を反映させたいアルバムまたは曲を選び、**データベース再検索**を選ぶ

- タイトル情報が更新されます。
- タイトル情報に変更が無かった場合は、更新しても変化はありません。
- 更新すると、タイトルが表示されなくなる場合があります。情報が付与されなかった場合や、誤った情報が付与された場合は、更新された Gracenote データベースの中に、そのアルバムの正しい情報はありません。そのときは、オンライン検索 (上記) で再度検索して更新してください。
- 検索結果が複数ある場合は、候補から選択してください。(下記)

検索結果が複数ある場合は

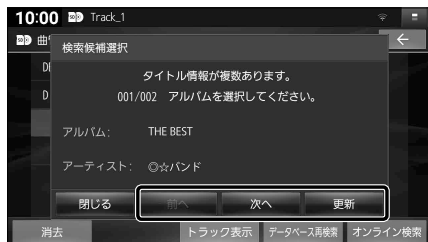
検索候補選択画面が表示されます。

前へ 次へ でタイトルを選び、**更新**を選ぶ

- 選んだ内容で、タイトル情報が更新されます。
- 候補に該当するタイトル情報が無い場合は、**閉じる**を選ぶと、更新せずにタイトル情報の検索を終了します。

お知らせ

- Gracenote 音楽認識サービスによって提供されたデータについては、内容を 100 % 保証するものではありません。



音楽データを消去する

アルバム / 曲を選んで消去する

1 曲管理画面(P.111)から削除したいアルバムまたは曲を選び、**消去**を選ぶ

2 **はい**を選ぶ

- アルバム・曲が消去されます。

音楽データをすべて消去する

1 設定メニュー(P.111)から**録音データ初期化**を選ぶ

2 **はい** ▶ **はい** ▶ **はい**を選ぶ

- すべての音楽データが消去されます。

お願い

- 音楽データの消去中・初期化中にオーディオを切り替える、車のエンジンを切る、他の操作などしないでください。故障の原因となります。

SDカードの情報を見る

設定メニュー(P.111)から

SDカード情報 ▶ **はい** を選ぶ

- SDカードの空き容量・録音可能時間が表示されます。
- 録音可能時間は、表示された録音音質で録音した場合の時間です。
- 表示された録音可能時間は目安です。



SDカード・USBメモリーを再生する

- 本機では、SDカード・USBメモリーを使用して、PCなどで保存した音楽、動画の再生ができます。(音楽データ・動画データの規格について→P.201~202、204)
- 本機でSDカードに録音した音楽データを再生するときは、P.109をご覧ください。
- データ作成時の留意点については、P.201~205をご覧ください。

SDカードを挿入する

- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度SDカードを抜き差ししてください。

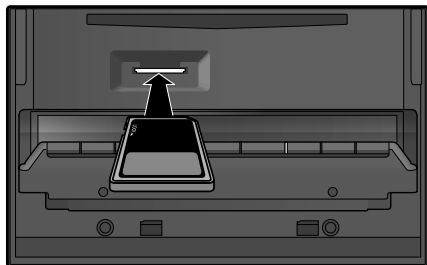
1 TILT を押す

2 OPEN/EJECT 画面 (P. 100) から

OPEN を選ぶ

- ディスプレイが開きます。

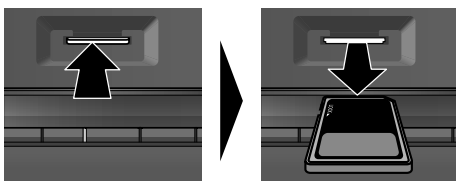
3 SDカードを奥までまっすぐに挿入する



- ラベル面を上にして、カチッと音がするまで差し込みます。
- 自動的にディスプレイが閉まります。
- ディスプレイが閉まらない場合は、SDカードが奥までしっかり入っているか確認してください。

SDカードを取り出す

上記手順3の状態、
SDカードの中央部を押して取り出す

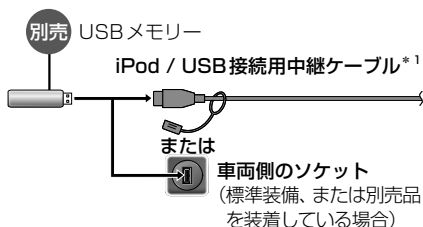


お願い

- 再生中にSDカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

USBメモリーを接続する

- コネクターの向きに注意して確実に差し込んでください。
- 正常に動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒経過してから再度接続してください。



- *1 グローブボックス等から出ている付属の iPod / USB 接続用中継ケーブルを引き出して接続してください。(ケーブルの設置場所は、車種により異なります。)

お願い

- オーディオがUSBのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- USBメモリーの接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため、接続しないでください。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる(音飛びする)原因となります。

お知らせ

- USBメモリーと iPod は、同時には接続できません。
- 長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 使用するUSBメモリーやケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。

音楽 (MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV) を再生する

トップメニュー(P.20)、オーディオソース一覧(P.88)または全機能一覧(P.22)から**SD**を選ぶとSDに、**USB**を選ぶとUSBに切り替わります。

準備

- 音楽が保存されたSDカード/USBメモリーを本機に挿入/接続してください。(P.114)
- 再生モード切替画面から「音楽」を選び、音楽再生モードに切り替えてください。(P.117)



- ① アルバムアートワーク
- ② オーディオの設定などを表示
- ③ アルバム名・アーティスト名・曲名
- ④ 順不同に再生(ランダム)
- ⑤ オーディオチューン(P.130)
- ⑥ 繰り返し再生(リピート)
- ⑦ 頭出し/早送り・早戻し
- ⑧ 再生/一時停止
- ⑨ 再生モード切替画面を表示(P.117)

曲を頭出しする

◀▶ を選ぶ

早送り・早戻しする

◀▶ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

一時停止する

⏸ を選ぶ

- ▶ を選ぶと、再生を開始します。

お願い

- SD/USB再生中にSDカード/USBメモリーを抜かないでください。
データが破損するおそれがあります。

お知らせ

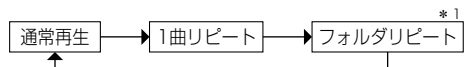
- アルバムアートワークの画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。

*1 フォルダの内容は、選曲方法によって異なります。(P.117)

繰り返し再生する(リピート)

🔄 を選ぶ

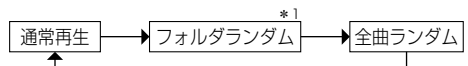
- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



順不同に再生する(ランダム)

🎲 を選ぶ

- リスト内の全曲を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



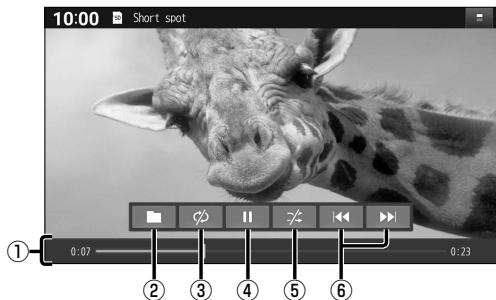
SDカード・USBメモリーを再生する

動画 (MP4/AVI/MKV/ASF/WMV) を再生する

トップメニュー(P.20)、オーディオソース一覧(P.88)または全機能一覧(P.22)から**SD**を選ぶとSDに、**USB**を選ぶとUSBに切り替わります。

準備

- 動画が保存されたSDカード/USBメモリーを本機に挿入/接続してください。(P.114)
 - 再生モード切替画面から「動画」を選び、動画再生モードに切り替えてください。(P.117)
- 再生画面にタッチすると、動画操作画面が表示されます。



- ① 経過時間・総時間・タイムバー
- ② 再生モード切替画面を表示 (P.117)
- ③ 繰り返し再生(リピート)
- ④ 再生/一時停止
- ⑤ 順不同に再生(ランダム)
- ⑥ 頭出し/早送り・早戻し

動画を頭出しする

⏮ **⏭** を選ぶ

早送り・早戻しする

⏮ **⏭** をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

一時停止する

⏸ を選ぶ

- **▶** を選ぶと、再生を開始します。

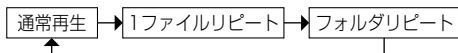
お願い

- SD/USB再生中にSDカード/USBメモリーを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

繰り返し再生する(リピート)

🔄 を選ぶ

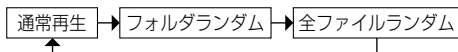
- 再生中の動画を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



順不同に再生する(ランダム)

🎲 を選ぶ

- リスト内の全動画を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



再生するファイルを選ぶ

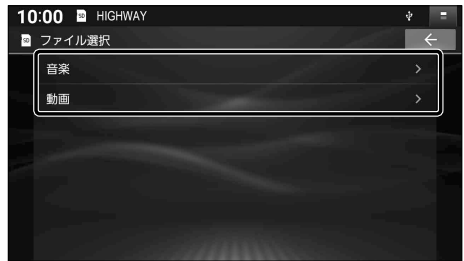
音楽再生の場合、リストを絞って選曲することができます。(アーティスト別、アルバム別など)

1 を選ぶ

2 ファイルの種類を選ぶ

- **音楽**：音楽再生
 - ・手順3へ
- **動画**：動画再生
 - ・続けて再生したいフォルダ・ファイルを選ぶ

■ 再生モード切替画面



いろいろな方法で選曲する（音楽再生の場合のみ）

3 選曲するリストを選ぶ

- **アルバム**：アルバムのリストを表示
- **アーティスト**：アーティストのリストを表示
- **全曲**：全曲を表示(リストを絞らない)
- **フォルダ**：フォルダのリストを表示



4 項目を選んでリストを絞る

- **ALL**：選んだリストの全曲を表示(リストを絞らない)



- 例：アーティスト

5 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。



お知らせ

- 保存曲数が多いと、リストの表示や選曲に時間がかかる場合があります。

BLUETOOTH Audioを再生する

トップメニュー(P.20)、オーディオソース一覧(P.88)または全機能一覧(P.22)から **BLUETOOTH Audio** を選ぶと、BLUETOOTH Audioに切り替わります。

準備

- BLUETOOTH Audio 機器 (スマートフォン) を本機に登録・接続してください。(P.32)



- ① アルバムアートワーク
- ② オーディオの設定などを表示
- ③ アルバム名・アーティスト名・曲名
- ④ 順不同に再生 (ランダム)
- ⑤ オーディオチューン (P.130)
- ⑥ BLUETOOTH設定画面を表示(P.32)
- ⑦ 繰り返し再生 (リピート)
- ⑧ 頭出し/早送り・早戻し
- ⑨ 再生/一時停止
- ⑩ フォルダからリストを表示

曲を頭出しする

◀▶ を選ぶ

早送り・早戻しする

◀▶ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

リストから選曲する

1 📁 を選ぶ

- フォルダのリストが表示されます。

2 リストからフォルダ▶曲を選ぶ



- 選んだ曲の再生を開始します。

一時停止する

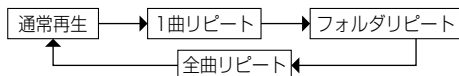
⏸ を選ぶ

- ▶ を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する (リピート)

🔄 を選ぶ

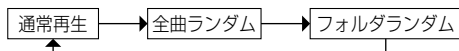
- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



順不同に再生する (ランダム)

🎲 を選ぶ

- すべてのフォルダの全曲を対象に、順不同に再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



お知らせ

- 接続機器や音楽再生アプリの説明などもご覧ください。
- 接続機器や音楽再生アプリによっては、接続できなかったり、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります（下記は主な例です）。また、音質が低下することがあります。
 - ・ 音声出力や画面表示に時間がかかる
 - ・ 本機の表示内容が接続機器の表示と一致しない
 - ・ 曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない
 - ・ 画面表示が更新されない
 - ・ 画面表示や操作スイッチの一部が表示されない
 - ・ 機能の一部が動作しない
 - ・ 本機で操作できない（その場合は、接続機器で操作してください）
- 接続機器で複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り替える前にすべてのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器や本機との接続状態によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。（例：iPhone をケーブルで接続している場合）
- BLUETOOTH Audio 再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態（接続や音声など）が不安定になることがあります。
- アルバムアートワークの画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。
- 接続機器にイコライザー機能がある場合には、イコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。

iPod を再生する

本機で接続確認済みの iPod (2022年3月現在)

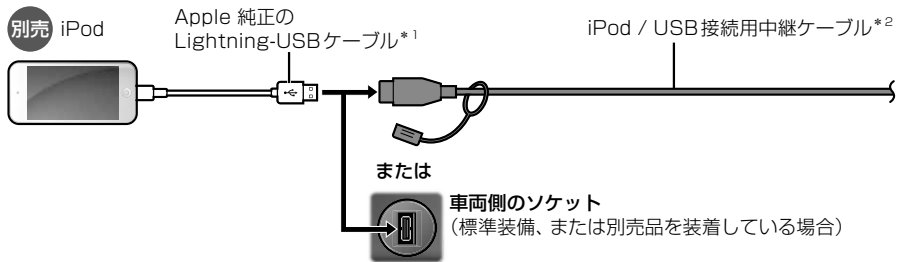
iPhone 13 Pro Max	iPhone SE 第2世代	iPhone 8 Plus
iPhone 13 Pro	iPhone 11 Pro Max	iPhone 8
iPhone 13	iPhone 11 Pro	iPhone 7 Plus
iPhone 13 mini	iPhone 11	iPhone 7
iPhone 12 Pro Max	iPhone XS Max	iPhone 6s Plus
iPhone 12 Pro	iPhone XS	iPhone 6s
iPhone 12	iPhone XR	iPod touch 第7世代
iPhone 12 mini	iPhone X	

- 適合機種および接続情報については、Web サイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

iPod を接続する

下図のとおり接続する

- コネクターの向きに注意して確実に差し込んでください。
- 正常に動作しないときは、本機から iPod を取り外してリセットし、再度接続してください。(リセットの方法は、Apple にお問い合わせください。)



- *1 コネクターの形が適合するケーブルを使用してください。純正品以外を使用すると、正しく動作しない場合があります。
- *2 グローブボックス等から出ている付属の iPod / USB接続用中継ケーブルに接続してください。(ケーブルの設置場所は、車種により異なります。)

お願い

- iPod は、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- iPod のリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- オーディオが iPod のときに、iPod の取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- iPod のコネクタが、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため接続しないでください。
- 取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ず iPod を取り外してください。iPod の電源が切れず、iPod の電池を消耗することがあります。
- iPod に楽曲を追加する操作を行う場合は、iPod を本機から取り外してください。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる（音飛びする）原因となります。
- iPod の説明書もよくお読みください。

お知らせ

- iPod と USB メモリーは、同時には接続できません。
- iPod の動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- 使用する機器やケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- iPod の動作やバージョンアップされる iPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続して iPod を使用中に、iPod のデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPod は、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- ケーブルで接続する iPhone を BLUETOOTH Audio 機器としても登録している場合は、iPhone を操作して音声出力先を「Dock コネクタ」に設定してください。機種や OS のバージョンによっては、音声出力先の設定を切り替えられない場合があります。
- iPod 本体のイコライザー設定は解除してください。音質が悪くなる場合があります。
- iPod ビデオ再生には対応していません。
- iPod または iPhone を P. 120 や P. 168 のようにケーブルで接続している場合は、iPhone ではレコーダーリンク*¹およびスマートフォン連携機能(NaviCon[®] / CarAV remote S)を利用できません。iPod または iPhone を取り外してください。

* 1 **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

iPod を再生する

iPod を再生する

トップメニュー(P.20)、オーディオソース一覧(P.88)または全機能一覧(P.22)から **iPod** を選ぶと iPod に切り替わります。



- ① アルバムアートワーク
- ② オーディオの設定などを表示
- ③ 再生中のプレイリスト名・アーティスト名・曲名
- ④ 順不同に再生(ランダム)
- ⑤ オーディオチューン(P.130)
- ⑥ 繰り返し再生(リピート)
- ⑦ 頭出し/早送り・早戻し
- ⑧ 再生/一時停止
- ⑨ 選曲モード設定画面を表示(P.123)

曲を頭出しする

◀▶ を選ぶ

早送り・早戻しする

◀▶ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

一時停止する

⏸ を選ぶ

- ▶ を選ぶと、再生を開始します。

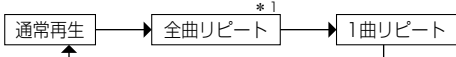
お知らせ

- アルバムアートワークの画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。

繰り返し再生する(リピート)

🔄 を選ぶ

- 選ぶごとに、下記のように切り替わります。



- * 1 リピートのしかたは、選曲方法によって異なります。(P.123)

順不同に再生する(ランダム)

🎲 を選ぶ

- リスト内*2の全曲を順不同に再生します。
- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。
- * 2 リストの内容は、選曲方法によって異なります。(P.123)

選曲方法を選ぶ（選曲モード）

全曲から選曲方法を選んで再生できます。（アルバム別、アーティスト別、ジャンル別など）

1 を選ぶ

2 選曲方法を選ぶ

- **再生中のプレイリスト**：
再生中のプレイリストから選曲
- **全曲**：全アルバムの全曲から選曲
- **アルバム**：アルバム別で選曲
- **アーティスト**：アーティスト別で選曲
- **ポッドキャスト**：ポッドキャストから選曲
- **ジャンル**：ジャンル別で選曲
- **プレイリスト**：プレイリストから選曲
- **作曲者**：作曲者別で選曲
- **オーディオブック**：
オーディオブックから選曲

■ 選曲モード設定画面



3 項目を選んでリストを絞る

- **ALL**：選んだ選曲方法から全曲を表示



- 例：アーティスト

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。



自宅のレコーダーのコンテンツを車内で見るとレコーダーリンク

CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W のみ

レコーダーリンクとは

自宅のレコーダーやNAS*に録画した番組などを、インターネットを使ってスマートフォン経由で本機に転送し、視聴する機能です。

* NAS(Network Attached Storage)とは、ネットワーク上で共有することができるLAN接続の外付けハードディスクドライブです。

- 対応レコーダー、スマートフォンアプリに関する詳細(入手方法など)、レコーダーの登録や本機との接続の詳細など、詳しくは、Webサイトをご覧ください。

<https://www.digion.com/sites/recorder-link/>



- ご利用時には通信費用がかかります。
- インターネットの通信速度が十分でない場合や通信状況によっては時間がかかる場合があります。
必要通信速度 自宅: 上り 6 Mbps以上 スマートフォン: 上り 1 Mbps以上/下り 3 Mbps以上

ご利用の流れ

1 アプリ「DiXiM Play for レコーダーリンク」をスマートフォンにインストールする(初回のみ)

2 アプリにレコーダーを登録する

- 事前にレコーダーのホームネットワーク機能を使えるようにしてください。(接続する機器の取扱説明書をご覧ください)
- スマートフォンを自宅のWi-Fiに接続してください。
- レコーダーとスマートフォンは、必ず同じネットワークに接続してください。

3 アプリに本機を登録して、スマートフォンと本機を接続する→P.125

4 コンテンツを再生する→P.126

お知らせ

- アプリのレコーダー登録には3か月の期限があり、登録期限が過ぎると接続できなくなります。
 - ・登録期限が近付くと、登録期限をお知らせするメッセージが本機に表示されます。
 - ・自宅(スマートフォンがレコーダーと同じネットワークに接続された状態)でアプリを起動すると、自動で登録の更新処理が行われます。手動操作での更新もできます。
- アプリに本機が登録されている状態で以下のことを行くと、アプリに登録されているレコーダー情報が削除されます。レコーダーリンクを利用する前に、アプリにてレコーダーの登録およびナビゲーションの登録をやりなおしてください。
 - ・本機以外のナビゲーションを登録する
 - ・本機のソフトウェアを更新したあとに、初めて本機と接続する
 - ・「出荷状態に戻す」(P.175)の操作を行ったあとに、初めて本機と接続する
 - ・アプリの更新をしたあとに、初めて本機と接続する



自宅



車内

アプリに本機を登録して、スマートフォンと本機を接続する

準備



- 自宅でレコーダーの登録 (P.124「ご利用の流れ」手順**2**まで) を終わってください。
 - ・ アプリ「DiXiM Play for レコーダーリンク」をスマートフォンにインストールしてください。
 - ・ アプリにレコーダー登録をしてください。



- スマートフォンを本機にBLUETOOTH機器登録し、ハンズフリー接続してください。(P.32)
- スマートフォンを本機にWi-Fiネットワーク登録し、Wi-Fi接続してください。(P.34)

お知らせ

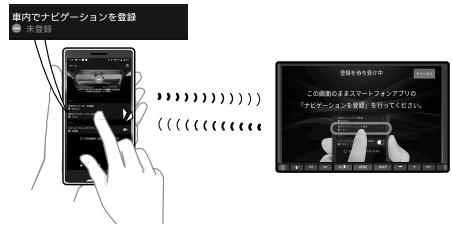
- 本機がGPS信号を受信している状態でないと、レコーダーリンクを利用できません。
- iPod または iPhone をP.120やP.168のようにケーブルで接続している場合は、iPhone ではレコーダーリンクを利用できません。iPod または iPhone を取り外してください。

1 スマートフォンで、アプリ「DiXiM Play for レコーダーリンク」を起動する

2 スマートフォンがレコーダーリンクに登録されていない状態で、オーディオをレコーダーリンクに切り替える (P.88)

3 スマートフォンを操作して、「車内でナビゲーションを登録」を選択して、本機を登録する

- アプリに表示されたリストから、本機のデバイス名 (CAR MULTIMEDIA) を選択してください。
- 本機がアプリに登録されます。



4 スマートフォンを操作して、「スマートフォンとナビゲーションを接続」をONにして、本機と接続する

- 接続が完了すると、コンテンツリストが表示されます。(P.126)



お知らせ

- レコーダーリンクに登録できるスマートフォンは1台だけです。
- アプリに複数のレコーダーを登録できます。レコーダーが複数登録されている場合は、アプリと本機の接続完了時、本機にレコーダー選択画面が表示されます。使用するレコーダーを選択してください。レコーダーを選択するとコンテンツリストが表示されます。
- 「次回起動時に自動でSTEP2を実行」をチェックした場合、本機とハンズフリー接続、Wi-Fi接続してアプリを起動した状態でオーディオをレコーダーリンクに切り替えると、自動的にスマートフォンと本機が接続され、コンテンツリストが表示されます。

自宅のレコーダーのコンテンツを車内で見える(レコーダーリンク)

コンテンツを再生する

トップメニュー(P.20)、オーディオソース一覧(P.88)または全機能一覧(P.22)から**レコーダーリンク**を選ぶとレコーダーリンクに切り替わります。

準備

- アプリに本機を登録して、スマートフォンと本機を接続してください。(P.125)

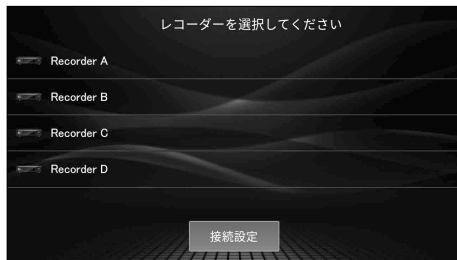
1 (レコーダーが選択されていない場合のみ)

レコーダーリストから、レコーダーを選ぶ

- 選んだレコーダーのコンテンツリストが表示されます。
- レコーダーリストは、アプリと本機を初めて接続した場合など、レコーダーが選択されていない場合に表示されます。


レコーダーが選択されている場合は、前回再生していたコンテンツまたはコンテンツリストが表示されます。

レコーダーリスト



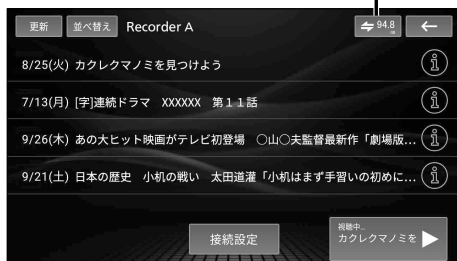
2 項目を選んでリストを絞り、見たいコンテンツを選ぶ

- 選んだコンテンツが再生されます。
- **並べ替え**: 選んだ条件でリストの順を並べ替え
- **更新**: リストを最新の内容に更新
- **接続設定**: 接続設定画面を表示 (P.129)

- : コンテンツの詳細情報を表示

コンテンツリスト

使用したモバイルデータの通信量の目安が表示されます。タッチすると詳細を確認できます。



現在再生中のコンテンツが表示されます。タッチすると、コンテンツの再生画面が表示されます。

お知らせ

- コンテンツリストが表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。
- コンテンツの構成はレコーダーによって異なります。
- 本機で対応していないコンテンツは選択できません。
- コンテンツリストをタイトル順に並べ替えると、UTF-8の文字コード順で表示されます。(50音順では表示されません。)
- 自宅のレコーダーまたは本機と接続しているスマートフォンのインターネットの通信速度が十分でない場合や、地下駐車場などGPSが受信されにくい場所では、コンテンツを再生できないことがあります。
- 再生中にレコーダーとの接続が切断された場合は、再度接続するか、レコーダーリストからレコーダーを再度選択してください。(P.125、129)

再生画面にタッチすると、レコーダーリンク再生操作画面が表示されます。

■ レコーダーリンク再生操作画面(例)



- ① 視聴設定画面を表示
- ② コンテンツのタイトル
- ③ 頭出し
- ④ 再生/一時停止
- ⑤ 経過時間・総時間・タイムバー

頭出しする

◀▶ を選ぶ

- フォルダをまたいでの頭出しはできません。

一時停止する

⏸ を選ぶ

- ▶ を選ぶと、再生を開始します。

お知らせ

- レコーダーによっては、一部の操作ができない場合や表示が異なる場合があります。
- コンテンツによっては、設定したとおりに再生されない場合があります。

視聴設定を変更する

1 レコーダーリンク再生操作画面(上記)または接続設定画面(P.129)から、**視聴設定**を選ぶ

2 各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
映像再生画質	「高画質」: 高画質で再生する(データ通信量は大きくなります) 「標準画質」: 標準画質で再生する(データ通信量は中程度になります) 「低画質」: 低画質で再生する(データ通信量は小さくなります)
映像再生バッファサイズ	受信した動画データを本機に一定量蓄積してから再生することで、スマートフォンが通信圏外でも一定時間再生できる余裕(バッファ)を持たせます。「最大」に設定すると映像が止まりにくくなりますが、再生開始までの時間が長くなります。 「標準」: 標準のバッファサイズ(通常は「標準」に設定してください) 「最大」: 最大のバッファサイズ(再生中に映像が頻繁に止まる場合に設定する)
字幕	「オフ」: 字幕を表示しない 「第1言語」: 第1言語の字幕を表示する 「第2言語」: 第2言語の字幕を表示する
音声	「主音声」: 主音声を出力する 「副音声」: 副音声を出力する 「主/副音声」: 主音声、副音声を両方とも出力する

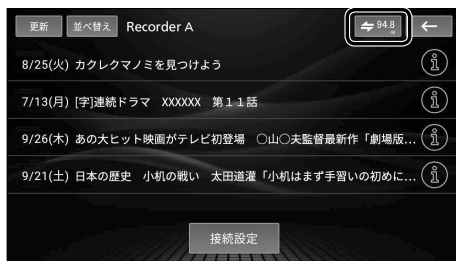
自宅のレコーダーのコンテンツを車内で見ると見る (レコーダーリンク)

レコーダーリンクで使ったデータ通信量を確認する

月々の請求期間の開始日を設定する

1 コンテンツリスト (P.126) から、

← 94.8 GB を選ぶ



2 月々の請求期間の開始日を設定する

- 請求開始日から締日までの1か月の通信量の目安が表示されます。
- ご契約のプロバイダーの請求締日の翌日に設定してください。

レコーダーリンクで使ったデータ通信量の目安



データ通信量を確認する

レコーダーリンクで使ったデータ通信量の目安画面 (上記) から、データ通信量を確認する。

- データ通信量の数値はあくまでも目安です。ご利用状況によっては、実際の通信量と異なる場合があります。



接続するスマートフォンを変更する

1 レコーダーリスト (P.126) またはコンテンツリスト (P.126) から、**接続設定** を選ぶ

2 **スマートフォンを変更 ▶ 登録解除** を選ぶ

- 現在接続されているスマートフォンの登録が解除されます。
- スマートフォンが登録されていない場合は、**スマートフォンを登録** と表示されます。

3 **新しいスマートフォンをレコーダーリンクに登録して接続する** (P.125)

- 新しいスマートフォンがレコーダーリンクに登録され、接続されます。

■ 接続設定画面



お知らせ

- 登録解除したスマートフォンを別のレコーダーリンク機能搭載ナビゲーションに登録する場合は、自宅でレコーダーを再登録する必要があります。

再生するレコーダーを変更する

1 接続設定画面 (上記) から、**レコーダーを変更** を選ぶ

2 レコーダーリスト (P.126) から、**レコーダー** を選ぶ

- 選んだレコーダーのコンテンツリスト (P.126) が表示されます。

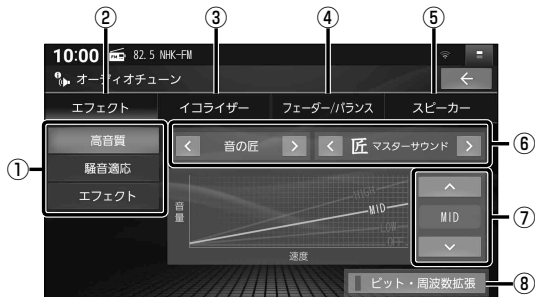
音質・音場を調整する(オーディオチューン)

オーディオチューンの基本操作

オーディオ情報・設定メニュー(P.21)で**オーディオチューン**を選ぶ

- オーディオチューン画面が表示されます。
- FM、AM、CD、BLUETOOTH Audio、MEMORY MUSIC、SD(音楽)、USB(音楽)、iPod から **↑↓** をタッチしても、オーディオチューン画面が表示されます。

■オーディオチューン画面(エフェクト設定)



- ① 音質・音場モード選択
- ② エフェクト設定に切替
- ③ イコライザー設定に切替(P.134)
- ④ フェーダー/バランス設定に切替(P.135)
- ⑤ スピーカー設定に切替(P.135)
- ⑥ 音場効果設定(P.132)
- ⑦ 車速連動音量・ノイズ連動音量の設定(P.133)
- ⑧ ビット・周波数拡張設定(P.132)

設定画面を切り替える

オーディオチューン画面で

エフェクト・**イコライザー**・**フェーダー/バランス**・**スピーカー**から設定画面を選ぶ

- エフェクト**: 音質・音場効果に関する各種設定
- イコライザー**: 13バンドのイコライザーによる音質設定
- フェーダー/バランス**: 前後左右のスピーカーの出力バランスの設定
- スピーカー**: 出力レベル・ディレイの設定

音質・音場モードを選ぶ

エフェクト設定画面から**高音質**/**騒音適応**/**エフェクト**を選ぶ

- 高音質モード**
高音質でオーディオを楽しむのに適したモードです。
ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データは、192 kHzの高音質で再生されます。また、通常の音質の音源も、補完してより自然な音で再生できます。(ビット・周波数拡張→P.132)
- 騒音適応モード**
車内でのオーディオの聴きやすさを重視したモードです。
ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データも、通常の音質(48 kHz)に変換されて再生されます。
- エフェクトモード**
様々な音響効果を楽しむのに適したモードです。
ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データも、通常の音質(48 kHz)に変換されて再生されます。

お知らせ

- エフェクト設定の内容は、音質・音場モードごと(個別)に記憶されます。

音響効果「音の匠」を設定する

音の匠とは

レコーディングエンジニア集団 ミキサーズ ラボ MIXER'S LABが監修した音質で音楽を楽しめます。

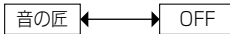
- 「匠 マスターサウンド」: [お買い上げ時の設定]
レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりスタジオサウンドに近い音を再現するモード(2 wayスピーカー向き)
- 「極 サラウンド」:
音場制御とサラウンドチューニングを施すことで、臨場感あふれる音楽を楽しめるモード(フルレンジスピーカー向き)
- 「和 会話重視」:
人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聞きながら車内の会話が楽しめるモード

1 エフェクト設定画面(P.130)から

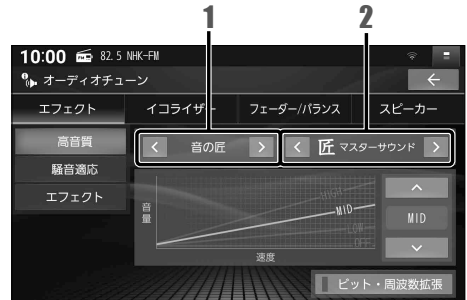
◀ ▶で「音の匠」を選ぶ

- 選ぶごとに音響効果が切り替わります。

・高音質モードの場合

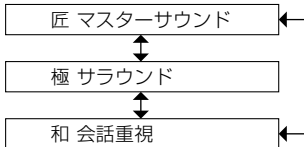


・騒音適応モード/エフェクトモードの場合



2 ◀ ▶でサラウンド効果を選ぶ

- 選ぶごとにサラウンド効果が切り替わります。



お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSPを同時に設定することはできません。

音質・音場を調整する（オーディオチューン）

音場「DSP」を設定する

疑似再現したい音場を設定できます。

準備

- 騒音適応モードまたはエフェクトモードに設定してください。（P.130）
高音質モードでは設定できません。

1 エフェクト設定画面（P.130）から

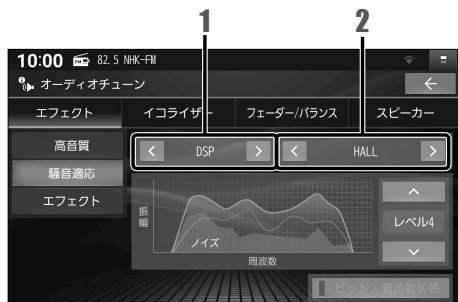
◀ ▶で「DSP」を選ぶ

- 選ぶごとに音響効果が切り替わります。



2 ◀ ▶で音場を選ぶ

- 選ぶごとに音場効果が切り替わります。



お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSPを同時に設定することはできません。

より自然な音で聞く（ビット・周波数拡張）

音源を補完して、より自然な音で再生します。

準備

- 高音質モードに設定してください。（P.130）
騒音適応モードまたはエフェクトモードでは設定できません。

エフェクト設定画面（P.130）から

ビット・周波数拡張を選ぶ

- 選ぶごとにON/OFFが切り替わります。



お知らせ

- 音源によっては、効果（音の変化）を感じ取りにくい場合があります。
- 車両の状態や環境によっては、効果（音の変化）を感じ取りにくい場合があります。
- ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データを再生するときは、余分な信号が音質に影響を与えないよう「OFF」にしてください。
- オーディオが交通情報の場合は、設定できません。

車速連動音量を補正する

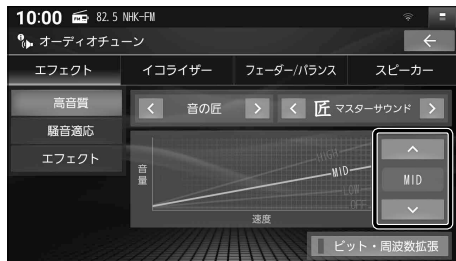
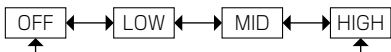
車両が走行する速度に連動してオーディオの音量を自動的に補正します。

準備

- 高音質モードまたはエフェクトモードに設定してください。(P.130)
騒音適応モードでは設定できません。

エフェクト設定画面(P.130)から
▼ ▲で車速連動音量の
補正量を選ぶ

- 選ぶごとに補正量が切り替わります。



ノイズ連動音量を補正する

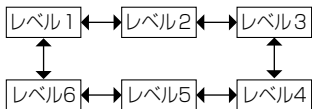
車内の走行騒音に連動してオーディオの音量や音質を自動的に補正します。

準備

- 騒音適応モードに設定してください。(P.130)
高音質モードまたはエフェクトモードでは設定できません。

エフェクト設定画面(P.130)から
▼ ▲でノイズ連動音量の
補正量を選ぶ

- 選ぶごとに補正量が切り替わります。



お知らせ

- 走行状態によっては、効果が大きくなる場合があります。
- 効果を大きく感じる場合は、より小さい補正量を選択してください。

音質・音場を調整する（オーディオチューン）

イコライザー設定の基本操作

オーディオチューン画面（P. 130）から**イコライザー**を選ぶと、イコライザー設定画面が表示されます。

■ イコライザー設定画面



- ① 設定操作部
- ② お買い上げ時の設定に戻す
- ③ イコライザープリセット
- ④ 設定内容を登録

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

イコライザープリセットから設定する

あらかじめ設定されている内容呼び出して、かんたんに設定できます。

イコライザー設定画面から、呼び出したいイコライザープリセットを選ぶ

- **VOCAL**：中音域から高音域にかけて強調した音質
- **ROCK**：中音域をやや抑え、低音域・高音域を強調した音質
- **JAZZ**：中音域をやや抑え、低音域・高音域をやや強調した音質
- **USER**：手動でお好みに調整した音質（下記）
- **OFF**：フラットな音質（調整値 0 dB）

手動でイコライザーを設定する

手動でお好みの数値に設定することができます。

1 イコライザー設定画面から

USERを選ぶ

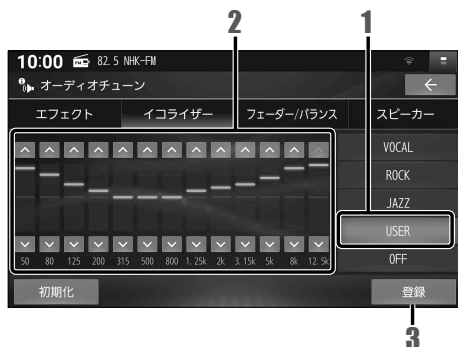
- **VOCAL** **ROCK** **JAZZ**の設定も、手動で変更できます。

2 周波数の値を▲ ▼で調整する

- 各周波数のスライダーをドラッグして調整することもできます。

3 調整が終わったら、**登録**を選ぶ

- 設定内容が登録されます。



お買い上げ時の設定に戻すには

イコライザー設定画面から
初期化 ▶ **はい**を選ぶ

フェーダー / バランスの出力レベルを設定する

オーディオチューン画面 (P. 130) から **フェーダー/バランス** を選ぶと、フェーダー/バランス設定画面が表示されます。

フェーダー/バランス設定画面から調整範囲を直接タッチして調整する

- ◀ ▶ ▲ ▼ で調整することもできます。
- **センター**：調整値が 0 (中央)に戻ります。

お知らせ

- AUDIO OFF の状態では設定できません。

■ フェーダー/バランス設定画面



スピーカー設定の基本操作

スピーカー設定は車両に合わせて調整されていますので、通常は設定する必要はありません。備え付けの専用スピーカーから別のスピーカーに変更する場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。

オーディオチューン画面 (P. 130) から **スピーカー** を選ぶと、スピーカー設定画面が表示されます。

■ スピーカー設定画面



- ① 設定イメージ図
- ② 出力レベル設定に切替 (P. 136)
- ③ ディレイ設定に切替 (P. 136)
- ④ 設定操作部

スピーカー出力レベルを設定する

1 ソースをFMまたはAMに切り替えて、放送局が無い周波数に合わせる

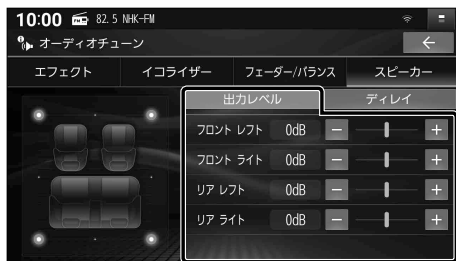
- ラジオの「ザー」という音が聞こえることを確認してください。

2 スピーカー設定画面から

出力レベルを選ぶ

3 **- +**で、出力レベルを調整する

- 調整範囲: $-12\text{ dB} \sim \pm 0\text{ dB} \sim +12\text{ dB}$
- ラジオの「ザー」という音が、最も小さく聞こえるスピーカーを基準にして、他のスピーカーが同じ音量に聞こえるように調整してください。
- 各項目のスライダーをドラッグして調整することもできます。



スピーカーディレイを設定する

1 スピーカー設定画面から

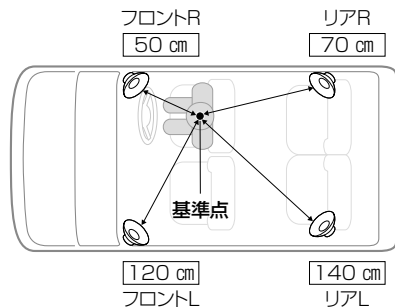
ディレイを選ぶ

2 **- +**で、ディレイを調整する

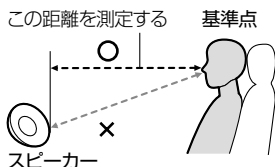
- 調整範囲: $0\text{ cm} \sim 100\text{ cm} \sim 500\text{ cm}$ (2 cm刻み)
- 距離を設定すると、基準点から最も離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの音声出力タイミングを遅らせます。(10 cmあたり約0.3 ms)
- 各項目のスライダーをドラッグして調整することもできます。



- 視聴位置を基準点としてください。



- 距離は、水平に計測してください。



映像を調整する

1 画面調整(画質調整)画面が表示されるまで MAP を約2秒以上押す

- 調整したい映像を表示させてから、行ってください。
- ナビゲーション画面の画質調整は、システム情報・設定メニュー(P.21)から **画質調整** を選んでも調整できます。

2 **← +** で、映像を調整する

- 各項目のスライダーをドラッグして調整することもできます。

■ 画面調整(画質調整)画面



[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容	
明るさ	← : 暗くなる	+ : 明るくなる ● 調整範囲: 1~7(夜)~19(昼)~31
コントラスト	← : 明暗の差 小	+ : 明暗の差 大 ● 調整範囲: 1~16~31
色合い*1	← : 緑みが強くなる	+ : 赤みが強くなる ● 調整範囲: 1~16~31
色の濃さ*1	← : 薄くなる	+ : 濃くなる ● 調整範囲: 1~16~31
画面サイズ	アスペクト比を調整 ● ノーマル : [TV] [DVD] [SD(動画)] [USB(動画)] [HDMI]*2 映像を 4: 3 で表示*3 (16: 9の映像は横方向に圧縮して表示されます) ● フル : [TV] [DVD] [SD(動画)] [USB(動画)] [HDMI]*2 [お買い上げ時の設定] 映像が画面全体で表示されるよう引きのばして表示 ● ワイド : [TV] [DVD] [SD(動画)] [USB(動画)] [HDMI]*2 映像を 16: 9 で表示*3 (4: 3の映像は横方向に引きのばして表示されます) ● シネマ : [DVD] 4:3の映像は 4: 3のまま画面全体に引きのばして表示 (映像の上下が切れて表示されます) 16:9の映像は 16: 9で表示 ([ワイド]に設定したときと同じ表示になります) ※ 各オーディオの入力映像の縦横比によっては、設定を変更しても映像のサイズが変わらない場合があります。 ※ レコーダーリンク*2、カメラ、ドライブレコーダーは、映像のサイズを調整できません。	

3 **OK** を選ぶ

お知らせ

- 「明るさ」「コントラスト」「色合い」「色の濃さ」は、昼画面、夜画面でそれぞれ個別に設定できます。
- カメラ映像(バックアイカメラ/セレクトビューバックアイカメラ/全方位モニター*4、ナビ連動ドライブレコーダー)の画質も調整できます。
- もとの映像によっては、明るい部分の諧調表現がつぶれる場合があります。

* 1 「色合い」「色の濃さ」の調整ができる映像は、TV、DVD、SD(動画)、USB(動画)、レコーダーリンク*2、HDMI*2、およびカメラ、ドライブレコーダーです。

* 2 **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

* 3 映像の比率が本機画面の比率と異なるため、画面の一部が黒く表示されます。

* 4 全方位モニターは調整の手順が異なる場合があります。オーナーズマニュアルもあわせてご確認ください。

お買い上げ時の設定に戻すには

画面調整(画質調整)画面から、**初期値**を選ぶ

現在地画面にオーディオの映像を表示する

現在地画面に、TV・DVD・SD（動画）・USB（動画）・レコーダーリンク*¹・HDMI*¹の映像を表示できます。

*¹ **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

ランチャー(P.46)から

右画面表示 ▶ 映像 を選ぶ

- 画面の右側にオーディオの映像が表示されます。
- オーディオの映像をタッチすると、全画面で表示されます。



お知らせ

- 走行中および拡大図表示中は、消去されて非表示になります。
- 表示の大きさや位置は変更できません。

オーディオの映像を消去するには

ランチャー(P.46)から**右画面表示 ▶ OFF** を選ぶ

- オーディオの映像が消去されます。

ハンズフリー・スマホ連携

ハンズフリー

140

ハンズフリーで通話する	140
電話を受ける	140
通話中の操作	141
電話をかける	142
ハンズフリー通話の設定をする	143

スマホ連携

144

NaviCon [®] を利用する	144
「NaviCon [®] 」とは	144
スマートフォンをリモコンとして使う (CarAV remote S)	145
「CarAV remote S」とは	145

ハンズフリーで通話する

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご使用ください。

スマートフォンによっては、本書の説明どおりに動作しない場合があります。スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

準備

- スマートフォンを本機に登録し、ハンズフリー接続してください。(P.32)

お知らせ

- スマートフォンを待受画面にしないとハンズフリー通話ができない場合があります。
- スマートフォンによっては、本機とBLUETOOTH接続中に、スマートフォンを操作して電話をかけても(電話に出ても)ハンズフリー通話になる場合があります。
- BLUETOOTH Audio 再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- オーディオの音声を出力中に電話がかかってくると、オーディオの音声を一時消音し、ハンズフリー画面に切り替わります。(ディスク、MEMORY MUSIC、SD、USB、BLUETOOTH Audio、iPod、レコーダーリンク*¹は再生を一時停止します)通話が終了すると、音声の出力および再生を再開します。通話が終了しても映像は切り替わりません。AUDIO を押して切り替えてください。
- 割込通話や三者通話には対応していません。

* 1 **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

■ 本機に登録された電話帳・発着信履歴について

- スマートフォンを本機とハンズフリー接続すると、その時点の電話帳と発着信履歴の情報が、自動的に本機に転送されます。
- 手動で個別に選んで登録することはできません。
- 本機に登録した電話帳の内容(電話帳、氏名など)は、編集できません。電話帳の内容を変更するときは、スマートフォン側で編集してください。
- 電話帳は、2 000 件まで表示できます。また、電話番号は 1 件につき5 つまで表示できます。
- 発着信履歴は、発信履歴・着信履歴・不在着信でそれぞれ 100 件ずつ表示できます。
- 本機と接続しているときに、スマートフォンで電話帳の更新を行った場合は、本機側の電話帳には反映されません。一度接続が解除され、再度接続されたときに(本機の電源を切り、再度電源を入れたときなど)に反映されます。

電話を受ける

電話がかかって来ると、自動的に着信画面が表示されます。

電話に出る を選ぶ

- かかってきた電話に応答します。
- **電話を切る** を選ぶと、応答せずに終了します。

お知らせ

- スマートフォンの機種によっては、**電話を切る** を選んでも電話に出る場合があります。

■ 着信画面



通話中の操作

- 通話が聞き取りやすいように、車の窓を開けてください。
- 大きな声ではっきりと話してください。

■ 通話中画面



- ① 電話を切る
- ② キーパッド(10キー)を表示
- ③ 送話音を消音
- ④ 通話切替(スマートフォン/ハンズフリー)
- ⑤ 通話相手の電話番号または氏名
- ⑥ 通話時間

一時的に送話音を消音する

■ ミュートを選ぶ

- 再度選ぶと、ミュートが解除されます。

トーン信号(ピッポッパ)を送る

プッシュホンサービスを利用する場合などに使用します。

1 キーパッドを選ぶ

- 10キーのキーパッドが表示されます。

2 数字を選び、トーン信号を送る

通話をスマートフォンに切り替える

■ 携帯電話切替を選ぶ

- スマートフォンで通話できます。

■ ハンズフリー通話に戻るには

ハンズフリー切替を選ぶ

電話を切る

■ 電話を切るを選ぶ

- 通話を終了します。

ハンズフリーで通話する

電話をかける

トップメニュー(P.20)または全機能一覧(P.22)から**ハンズフリー**を選ぶ

- ハンズフリー画面が表示されます。

電話帳から電話をかける

■ハンズフリー画面(電話帳)



- ① 発着信履歴に切替
- ② 電話帳に切替
- ③ ダイヤルに切替
- ④ 連絡先リスト
- ⑤ ハンズフリー設定画面を表示(P.143)

1 ハンズフリー画面から、**電話帳**を選ぶ

2 ハンズフリー画面(電話帳)の連絡先リストから、電話をかける相手を選ぶ

3 電話番号を選ぶ

- 選んだ電話番号に電話をかけます。

電話番号を入力して電話をかける

1 ハンズフリー画面から、**ダイヤル**を選ぶ

2 ハンズフリー画面(ダイヤル)から電話番号を入力し、**発信**を選ぶ

- 選んだ電話番号に電話をかけます。
- <X>** : 1文字削除

■ハンズフリー画面(ダイヤル)



前回発信した番号に電話をかける(リダイヤル)

セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない場合に操作できます。

準備

- オプションスイッチを「電話リダイヤル発信」に設定してください。(P.174)

1 **OPT** を押す

2 **発信** を選ぶ

- 142 ●前回発信した番号に電話をかけます。

発信履歴から電話をかける

■ ハンズフリー画面(発信履歴)



- ① 表示する履歴を選択
- ② 発信履歴リスト

1 ハンズフリー画面(P.142)から、**履歴**を選ぶ

2 発信履歴リストから、電話をかける相手を選ぶ

- 選んだ相手に電話をかけます。

■ 表示する履歴を選ぶには

ハンズフリー画面(発信履歴)から**発信履歴** **不在着信** **着信履歴** を選ぶ

ハンズフリー通話の設定をする

1 ハンズフリー画面(P.142)から、**設定**を選ぶ

2 各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	内容
機器選択	ハンズフリー接続・BLUETOOTH Audio 接続する機器を選択する(P.33)
携帯電話データの自動同期	[ON] : スマートフォンがハンズフリー接続されたとき、その時点の電話帳と発信履歴の情報を自動的に本機に転送する [OFF] : スマートフォンがハンズフリー接続されても、電話帳と発信履歴の情報を本機に転送しない ※ 本設定を「OFF」から「ON」にすると、その時点の電話帳と発信履歴の情報がスマートフォンから本機に転送されます。 ※ 本設定を「ON」にしても、スマートフォンの設定などによっては転送できない場合があります。スマートフォン側の設定はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

NaviCon® を利用する

「NaviCon®」とは

NaviCon®は多彩な連携アプリで探した行き先をワンタッチで本機に転送し、目的地に設定できるおでかけサポートアプリです。

- アプリの入手方法や対応スマートフォンなど、詳細は下記サイトをご覧ください。
NaviCon®サポートサイト: <https://navicon.com/>

準備

- アプリ「NaviCon®」をスマートフォンにインストールしてください。(無料)
- スマートフォンを本機にBLUETOOTH機器登録し、ハンズフリー接続してください。(P.32)

お知らせ

- ご利用時には通信費用がかかります。
- iPod または iPhone をP.120やP.168のようにケーブルで接続している場合は、iPhone ではNaviCon®を利用できません。iPod または iPhone を取り外してください。

「NaviCon®」で検索した地点を本機に送信する

スマートフォンで「NaviCon®」から地点を検索し、目的地として本機に送信する

- 本機で地点情報を受信し、現在地から受信した地点までのルートが探索されます。
ルート探索が完了すると、全ルート図が表示されます。(P.67)

■「NaviCon®」のルート探索について

- ルートが設定されている場合は、前のルートは消去されます。
- スマートフォンから受信した地点は、本機の検索履歴(P.61)に保存されます。
登録地(P.76)には保存されません。

「NaviCon®」で本機の地図の位置を変更する

1 本機の現在地画面または地図モード画面を表示させる

2 スマートフォンで「NaviCon®」の地図をスクロールする

- 「NaviCon®」でスクロールさせた地点の地図が、本機の地図画面に表示されます。

「NaviCon®」で本機の地図の縮尺を変更する

1 本機の現在地画面または地図モード画面を表示させる

2 スマートフォンで「NaviCon®」の地図の縮尺を変更する

- 本機の地図の縮尺が、「NaviCon®」で変更した縮尺に切り替わります。

■「NaviCon®」での地図操作(位置・縮尺の変更)について

- 縮尺は、30 m / 37.5 m / 50 m / 100 m / 200 m / 500 m / 1 km / 2.5 km / 5 km / 10 km / 25 km / 100 km / 250 kmのいずれかに切り替わります。
- 「NaviCon®」で250 kmよりも広域な縮尺に切り替えた場合、本機の地図は250 km縮尺に切り替わります。30 mよりも詳細な縮尺に切り換えた場合、本機の地図は30 m縮尺に切り換わります。

スマートフォンをリモコンとして使う (CarAV remote S)

「CarAV remote S」とは

CarAV remote S は当社が提供するスマートフォン専用のアプリケーションです。BLUETOOTH通信を利用して、スマートフォンで本機のオーディオを操作できます。また、音声認識*¹を起動できます。

● アプリの入手方法や対応スマートフォンなど、詳細は下記サイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/>

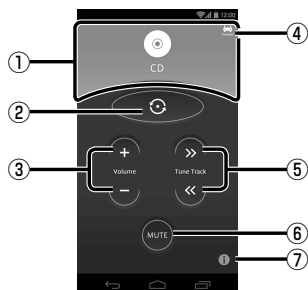
準備

- アプリ「CarAV remote S」をスマートフォンにインストールしてください。(無料)
- スマートフォンを本機にBLUETOOTH機器登録し、ハンズフリー接続してください。(P.32)

お知らせ

- iPod または iPhone をP.120やP.168のようにケーブルで接続している場合は、iPhone ではCarAV remote Sを利用できません。iPod または iPhone を取り外してください。

■ CarAV remote S 操作画面



- ① オーディオ表示部
- ② オーディオソースの選択 / 音声認識*¹起動
- ③ 音量調整
- ④ 接続状態 Connected: 接続済
Disconnected: 未接続
- ⑤ 頭出し / 選局 / 早送り・早戻し
- ⑥ 消音
- ⑦ アプリ情報
バージョン情報・利用規約・操作ガイドなどを見ることができます。

オーディオのソースを選ぶ

オーディオ表示部を
右から左にフリックする

または

🔍 をタッチする

- 操作することにより、オーディオのソースが切り替わります。切り替わりかたは、ステアリングオーディオスイッチの MODE を操作したときと同じです。(P.88)

音量を調整する

- **+** **-** をタッチする ● +: 大きくなる
● -: 小さくなる

オーディオの音声を消音する(ミュート)

MUTE をタッチする

- 再度タッチすると、解除されます。

頭出し / 選局

- **▶** **◀** をタッチする ● ▶: 送り方向
● ◀: 戻し方向
- **FM** **AM** で「ピッ」と音が鳴るまでタッチし続けると、シーク選局します。

早送り・早戻し

- **▶** **◀** をタッチし続ける ● ▶: 送り方向
● ◀: 戻し方向
- 離すと通常の再生に戻ります。

お知らせ

- **MEMORY MUSIC** **USB** **SD** では、早送り・早戻しできません。約0.5秒以上タッチすると、アルバム・フォルダが切り替わります。

音声認識*¹を起動する

- 🔍 を約0.5秒以上タッチする

* 1 **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

その他

その他の機能

148

車両メンテナンスの通知を設定する.....	148
本機の情報を確認する.....	149
製造番号・バージョン・更新期限などを確認する.....	149
端末情報を確認する.....	149
無料地図更新について(ダウンロード更新).....	150
本機のデータを更新する.....	152
データ更新時の留意点.....	152
パソコン(SDカード)でソフトウェアを更新する.....	152
パソコン(SDカード)で地図を更新する.....	153
スマートフォンでソフトウェア・地図を更新する.....	154
GracenoteデータベースをSDカードで更新する.....	155

別売機器

156

ETC車載器/ETC2.0車載器と接続して使う.....	156
ETCについて.....	156
ETC2.0について.....	156
料金履歴を見る.....	157
ETC管理情報を見る.....	157
カメラと組み合わせる.....	158
カメラ使用時の留意点.....	158
全方位モニター.....	158
セレクトビューバックアイカメラ.....	158
バックアイカメラ.....	158
カメラ映像の画質を調整する.....	158
ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる.....	159
常時録画(動画).....	159
駐車録画(動画).....	160
監視録画(動画).....	160
後方検知録画(動画).....	161
手動録画・静止画撮影.....	161
ドライブレコーダーの基本操作.....	162
ドライブレコーダーのカメラの映像を見る.....	162
手動で動画を録画する.....	163
手動で静止画を撮影する.....	163
ドライブレコーダーの設定をする.....	164
動画・静止画を再生する.....	166
HDMI入力の映像を見る.....	168
後席用のモニターで本機の映像を見る.....	169
ヘッドアップディスプレイ連携.....	170

設定

171

利用に応じた設定に変える.....	171
地図表示に関する設定.....	171
ルート探索に関する設定.....	171
ルート案内に関する設定.....	172
渋滞情報案内(VICS)に関する設定.....	173

ETC情報の案内に関する設定	173
本機のシステムに関する設定・確認.....	174
各種設定をお買い上げ時の状態に戻す	175

困ったとき

176

故障かな!?と思ったら.....	176
よくあるお問い合わせ	176
●電源・共通.....	177
●ナビゲーション.....	178
●オーディオ[TV].....	179
●オーディオ[FM][AM].....	180
●オーディオ[DVD].....	181
●オーディオ[MP3/WMA(CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB].....	181
●オーディオ[MEMORY MUSIC].....	182
●オーディオ[iPod].....	183
●オーディオ[レコーダーリンク].....	183
●BLUETOOTH.....	184
●音声認識.....	187
●Wi-Fi.....	188
●HDMI.....	188
●ドライブレコーダー.....	188
●ソフトウェア・地図更新	189
●こんなメッセージが出たときは	189

必要なとき

194

文字入力のしかた	194
ディスクについて.....	196
DVD言語コード一覧表.....	199
SDカード・USBメモリーについて	200
データ作成時の留意点.....	201
無線通信について	206
テレビ・ラジオの受信について.....	208
ナビゲーションシステムとは	209
VICSについて	212
地図ソフトについて.....	214
ジャンル一覧	219
地図上に表示される主なマーク	221
さくいん.....	222
ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて	227
商標・ライセンスなど	228
仕様	230
保証とアフターサービス.....	232
ステアリングオーディオスイッチの操作について.....	234

その他の機能

別売機器

設定

困ったとき

必要なとき

車両メンテナンスの通知を設定する

GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などを通知します。

1 システム情報・設定メニュー(P.21)から、**メンテナンス通知設定**を選ぶ

2 通知する項目の**ON**を選ぶ

- 設定項目 [お買い上げ時の設定: OFF]
 - ・車検
 - ・定期点検
 - ・エンジンオイル交換
 - ・エンジンオイルフィルター交換
 - ・エアエレメント交換
 - ・エアコンフィルター交換
 - ・発炎筒交換
 - ・バンク修理剤交換
 - ・カスタマイズ1~3
- すでに条件が設定済みの場合は、変更したい項目の **>** を選んでください。
- **OFF ▶ はい** を選ぶと、設定が解除されます。

■ メンテナンス通知設定画面



3 通知する条件を選ぶ

- **日付で設定**: 設定した日付になると通知する
- **距離で設定**: 設定した時点以降に設定した距離を走行すると通知する

4 通知する日付または距離を設定して

決定を選ぶ

- 距離の設定範囲:
500 km~20 000 km(500 kmステップ)
- カスタマイズ1~3を設定する場合は、名称を変更できます。
 - ・全角12文字(半角24文字)まで
 - ・文字入力のしかた→P.194



メンテナンスの通知について

■ 日付で設定した場合

設定した日付の1か月前以降の初回起動時に1度だけ通知されます。

設定した日付以降は、毎日初回起動時に通知されます。

■ 距離で設定した場合

設定した距離まであと500 km以下になると、初回起動時に1度だけ通知されます。

設定した距離以上走行すると、毎日初回起動時に通知されます。

■ メンテナンス通知(例: 車検)



メンテナンス通知を閉じる

お知らせ

- 通知するメンテナンス時期はあくまでも目安です。実際にメンテナンスが必要な時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス通知で計測される走行距離と実際の走行距離は異なる場合があります。
- 毎日初回起動時にメンテナンス通知されるのを止めるには、設定を解除するか、条件の日付または距離を変更してください。

本機の情報を確認する

製造番号・バージョン・更新期限などを確認する

本機の子機ID・製造番号や、各種ソフトウェアのバージョンを確認できます。

1 システム情報・設定メニュー(P.21)から、**バージョン情報**を選ぶ

2 各種情報を確認する

- 子機ID
- 製造番号
- ソフトバージョン
- 地図データバージョン
 - ・道路地図: 道路地図データ
 - ・画像: 案内画像データ
 - ・音声: 音声案内データ
 - ・索引: 索引データ(地点検索)
 - ・市街図: 市街地図データ
- 地図更新期限
- Gracenote データベース
- ドライブレコーダーバージョン



端末情報を確認する

本機の端末情報を確認できます。

1 システム情報・設定メニュー(P.21)から、**端末情報**を選ぶ

2 端末情報を確認する

- 端末の状態
 - ・IPアドレス
 - ・Wi-Fi MACアドレス
 - ・稼働時間
 - ・位置情報
- 法的情報: 各種ライセンス情報など
- モデル番号: 本機の機種品番
- Android バージョン
- カーネル バージョン
- ビルド番号



無料地図更新について(ダウンロード更新)

スマートフォンでの更新は、**CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

ダウンロード更新を選択した場合は、パソコンまたはスマートフォンを使用して、お客様ご自身で地図データをダウンロードする更新を最長5年間ご利用いただけます。詳しくは、Webサイトをご覧ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

※ インターネットを利用できる環境などが必要です。通信費用はお客様のご負担となります。

- 「SDカードの送付」をご希望の場合は、別添のチラシをご覧ください。
- データ更新の手順については、P. 153、154をご覧ください。

■対応パソコン(OS)

Windows® 10

- Microsoft® .NET Framework 4.8のインストールが必要です。
- SD規格に準拠した16GB以上のSDカードが必要です。
- 専用のアプリ「**地図更新アプリ2**」が必要です。Webサイトからダウンロードして、インストールしてください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>
※ 「地図更新アプリ」は、本製品ではご使用になれません。

■対応スマートフォン(OS)

Android スマートフォン (Android 9.0以降) / iPhone (iOS 13.0以降)

- 最新のOSバージョンを使用してください。
- ダウンロードには、スマートフォンに最大16GBの空き容量が必要です。
※ 更新データのサイズは目安です。更新の頻度などにより異なります。
(2年以上地図データを更新していない場合、最大約10GB)
・部分地図更新: 2GB以上
・全地図更新: 約7GB
・ソフトウェア更新: 200MB以上

- 専用のアプリ「**ナビアップS**」が必要です。(下記)
※ 「ナビアップ」は、本製品ではご使用になれません。

データ更新用アプリ「ナビアップS」(無料)



Google Play ストア または App Store から入手して、インストールしてください。

アプリのダウンロードはこちらから

またはアプリを名称で検索してください。



■お申し込み方法

専用アプリ経由でナビcafeにユーザー登録をする際に、お申し込みください。

- ユーザー登録および無料地図更新サービスのお申し込みは、パソコンまたはスマートフォンのいずれか一方から1回行えば完了します。以降は、登録したアカウント情報を使用してパソコン・スマートフォンのどちらからもナビcafeおよび無料地図更新サービスを利用できます。

■申込受付期限: 本製品の使用開始日から最大5年後まで

- 使用開始日の判定は自動的に行われ、無料地図更新期限が設定されます。お申し込みが遅くなると、ご利用いただける期間が短くなりますのでご注意ください。

■利用可能期間: 本製品の使用開始日から最大5年間

- お申込み日から5年間ではありません。使用開始日から5年未満でも、データ提供期限にて終了いたします。(無料地図更新期限を確認するには→P.149)

■データ提供期限: 2028年12月31日まで(予定)

- 更新データの配信予定時期については、Webサイトをご覧ください。(配信は延期・中止される場合があります。)
- 上記期間以降の地図更新は、年度更新地図の販売をご利用ください。(発売時期・販売方法などについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。)
- 部分地図更新: 期間中 最大30回(年6回)可能
(更新データの配信は、道路* 2か月毎/索引 4か月毎) *逆走検知は4か月毎
- 全地図更新: 期間中 最大2回可能
(更新データの配信は、年1回)

○ 更新されます × 更新されません

内容	方法	全地図更新 (地図の全データ)	部分地図更新 (全国の主要道路のみ)
道路データ	道路地図(縮尺50m~250km、細街路含む)*逆走検知データを含む	○	○
	案内画像(3D交差点・ジャンクションビュー・方面看板など)	○	○
	音声案内	○	○
	索引(地点検索: 施設情報・電話番号情報など)	○	○
	市街地図	○	×

本機データを更新する

データ更新時の留意点

- 車のバッテリーがあがるおそれがあるため、必ずエンジンをかけた状態で更新作業を行ってください。また、アイドリングストップ搭載車の場合、作業前にアイドリングストップ機能をOFFにしてください。
- 更新データ書き込み中は、絶対に車のエンジンを切らないでください。故障の原因となります。

スマートフォンで更新するときは → P.154

CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W のみ

地図データは大容量のため、ダウンロードに時間がかかる場合があります。自宅や公衆無線LANなどに接続してダウンロードすることをお勧めします。

- アプリの操作については、アプリのヘルプなどをご覧ください。
- Wi-Fi接続をする際は、必ずスマートフォンの電池残量を確認してください。

パソコン（SDカード）でソフトウェアを更新する


※ 詳しくは、Web サイトをご覧ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

1 パソコンでWebサイトから更新データ(zipファイル)をダウンロードする

2 ダウンロードしたデータを解凍し、SDカードに保存する

- 解凍してできたフォルダのまま、SDカードのルートフォルダに保存してください。

3 更新データを保存したSDカードを本機に挿入する (P.114)

- SDカードの書き込み禁止スイッチは、解除したまま挿入してください。
- ステータスバーにが表示されます。

4 システム情報・設定メニュー(P.21)から、

ソフトウェア・地図更新 ▶ 更新 ▶ はい ▶ 更新するを選ぶ

- 更新を開始します。更新中は、本機を操作できません。
- 途中で黒い画面が約1分～2分間表示されたり、何度か再起動する場合があります。

5 更新完了のメッセージが表示されたら、**OK**を選ぶ

パソコン (SD カード) で地図を更新する

※ 詳しくは、Web サイトをご覧ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

本機で更新用 SD カードを作成する

- SD規格に準拠した16GB以上のSDカードを用意して、本機で初期化してください。(P.175)
- 屋外など見晴らしの良い場所で、GPSを受信した状態で行ってください。
GPSを受信できない場所では作成できません。

1 使用するSDカードを本機に挿入する (P.114)

- SDカードの書き込み禁止スイッチは、解除したまま挿入してください。

2 システム情報・設定メニュー(P.21)から、 ソフトウェア・地図更新 ▶ 更新用SDカード作成 を選ぶ

3 表示されるメッセージに従って、**はい** を選ぶ

4 更新用SDカードの作成が完了したら、**OK** を選ぶ

5 更新用SDカードを本機から取り出す (P.114)



パソコンで地図データをダウンロードして更新する

1 作成した更新用SDカードをパソコンに挿入する

2 パソコンで「地図更新アプリ2」を起動し、ログインする



3 「地図更新アプリ2」で更新データをダウンロードし、更新用SDカードに保存する

4 更新用SDカードをパソコンから取り出し、本機に挿入する (P.114)

- SDカードの書き込み禁止スイッチは、解除したまま挿入してください。
- **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** ステータスバーにが表示されます。→手順5へ
- **CN-HZ885** **CN-HZ785W** ステータスバーにが表示されます。→手順6へ

5 システム情報・設定メニュー(P.21)から、

ソフトウェア・地図更新 ▶ 更新 ▶ はい を選ぶ

- 更新準備を開始します。(ステータスバーのが点滅します)
- 更新準備中も本機を使用できます。
- 更新準備が完了すると、ステータスバーの表示がに変わります。→手順6へ

6 システム情報・設定メニュー(P.21)から、 ソフトウェア・地図更新 ▶ 更新 ▶ はい ▶ 更新する を選ぶ

- 更新を開始します。更新中は、本機を操作できません。
- 更新中に再起動する場合があります。

7 更新完了のメッセージが表示されたら、**OK** を選ぶ

本機データを更新する

スマートフォンでソフトウェア・地図を更新する

CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W のみ

※ 詳しくは、Web サイトをご覧ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

● 地図を更新する場合は、本機がGPS信号を受信している状態で作業してください。

アプリに本機を登録する(初回のみ)

1 スマートフォンでアプリ*を起動し、ログインする

2 スマートフォンを本機とWi-Fi接続する(P.34)

* データ更新用アプリ
「ナビアップS」
→P.150

3 システム情報・設定メニュー(P.21)から、**ソフトウェア・地図更新**を選ぶ

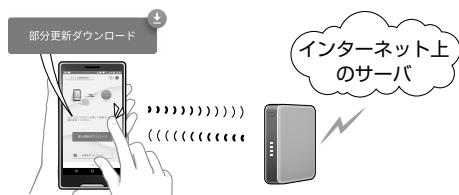
4 スマートフォンアプリ(ナビアップS)との接続を**ON**に設定する

- ステータスバーにが表示されます。
- 本機の情報にアプリに登録されます。

ソフトウェア・地図の更新データをダウンロードして更新する


1 スマートフォンでアプリを起動し、ログインする

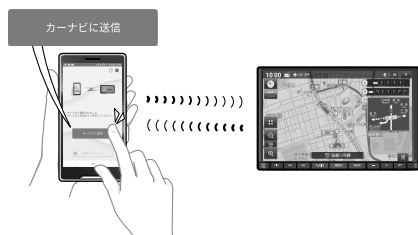
2 アプリで、更新データをダウンロードする



3 スマートフォンを本機とWi-Fi接続する(P.34)

4 アプリで、更新データを本機に送信する

- ステータスバーにが点滅し、データ受信および更新準備が完了すると点灯します。
- 送信から更新準備が完了するまでの所要時間は、更新データの容量により異なります。(5分～70分程度)
- データ受信中および更新準備中も、本機を操作できます。



5 システム情報・設定メニュー(P.21)から、**ソフトウェア・地図更新 ▶ 更新 ▶ はい ▶ 更新する**を選ぶ

- 更新を開始します。更新中は、本機を操作できません。
- 所要時間は更新データの容量により異なります。
- 途中で黒い画面が約1分～2分間表示されたり、何度か再起動することがあります。

6 更新完了のメッセージが表示されたら、**OK**を選ぶ

Gracenote データベースを SD カードで更新する

音楽CDやMEMORY MUSICのアルバムや曲に付与するタイトルの更新データをWebサイトからダウンロードし、更新します。

※ 詳しくは、Web サイトをご覧ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

1 パソコンでWeb サイトから更新データ (zip ファイル) をダウンロードする

2 ダウンロードしたデータを解凍し、SDカードに保存する

- 解凍してできたフォルダのまま、SDカードのルートフォルダに保存してください。
-

3 更新データを保存したSDカードを本機に挿入する (P.114)

- SDカードの書き込み禁止スイッチは、解除したまま挿入してください。
-

4 システム情報・設定メニュー (P.21) から、

Gracenote データベース更新 ▶ **はい** ▶ **はい** を選ぶ

- 更新を開始します。更新中は、本機を操作できません。
-

5 更新が完了したら、**OK** を選ぶ

タイトルに反映させるには、「データベース再探索」を行ってください。(P.112)

ETC車載器/ETC2.0車載器と接続して使う

接続する機器の説明書もよくお読みください。

ETCについて

ETC車載器/ETC2.0車載器を接続すると、車載器からの情報に連動して、本機から料金案内や、料金所で支払った料金の履歴を見ることが出来ます。

- ETCカードまたはETC一体型クレジットカードをご使用ください。それ以外のカードを挿入すると、「ETCカードを確認してください。」と音声案内されます。
- カード入れ忘れ案内を「する」に設定してください。(P.173)
- ETCレーンの表示を「する」に設定してください。(P.172)

お知らせ

- 新しく設置されたETC料金所などでは、ETC拡大図が表示されない場合があります。そのときは、音声案内のみ行います。
- ETCゲートを通過してすぐに左右折するルートを通る場合などは、料金の音声案内を中断し、ルート音声案内を行う場合があります。
- 万一、利用できない場合は、「ETCを利用できません。」と音声案内されます。料金所に進入している場合、停車して料金所の係員の指示に従ってください。
- 表示金額は、割引などにより実際に請求される金額とは異なる場合があります。
- ETCカードの有効期限が近いまたは有効期限切れの場合、音声と画面表示でお知らせします。
- カードの有効期限は必ずカードを直接ご確認ください。
- 有効期限の案内は、ETCカードを挿入する、または挿入した状態で車のエンジンをかける(ACCをONにする)と行われます。

ETC2.0について

ETC2.0車載器を接続すると、VICSの情報提供サービスを受けることができます。

VICS 情報提供サービス (ETC2.0)

ITSスポット(道路に設置される路側無線装置)よりETC2.0サービス(電波ビーコン 5.8 GHz)のVICS情報を受信し、ナビゲーションで活用できます。(P.82)

- 高速道路ではドライブ中の注意を促すため、落下物情報、渋滞末尾情報、前方静止画像情報を案内します。(P.82)
- 広域な道路交通情報や安全運転支援情報の内容を画像や簡易図形などでわかりやすく表示したり、音声で通知したりします。(P.82)
- 県境を越える広域の渋滞・規制情報^{*1}を考慮したルート探索ができます。

* 1 走行する道路により情報の提供範囲が異なります。

ETC2.0 アップリンク

ETC2.0車載器に関する情報やナビゲーションで収集した情報(走行位置情報など)をITSスポットへ送信することをいいます。送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

- 走行開始/終了地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。
- アップリンクについては、ETC2.0車載器の説明書もご覧ください。
- ETC2.0アップリンクする/しないの設定ができます。(P.173)

料金履歴を見る

1 ナビ情報・設定メニュー(P.21)から ETC情報を選ぶ

2 ETC履歴を選ぶ

- ETCの料金履歴が、新しい順に100件まで表示されます。
- 100件を超えると古い順に削除されます。
- 件数が多いと、表示に時間がかかります。



年月日	時刻	利用料金
20XX年11月02日	13時03分	6,690円
神田橋 ~ 伊那		
20XX年11月03日	10時31分	6,690円
伊那 ~ 神田橋		
20XX年11月13日	11時20分	6,930円
神田橋 ~ 二本松		
20XX年11月20日	10時35分	15,600円
宝町 ~ 青森中央		
20XX年11月22日	15時31分	15,600円

お願い

- 料金所付近では、料金履歴を確認しないでください。**ETC履歴**を選んでETC履歴画面(上記)が表示されるまでは、ETC車載器/ETC2.0車載器は路側アンテナと通信できません。料金所で開閉バーが開かず、事故の原因となります。

ETC管理情報を見る

1 ナビ情報・設定メニュー(P.21)から ETC情報を選ぶ

2 ETC管理情報を選ぶ

- ETC管理情報が表示されます。



車載器管理番号	***** **
型式登録番号	**** **

カメラと組み合わせる

車に装着されているカメラによって、映し出せる映像が異なります。
詳しくは、車両のオーナーズマニュアルまたはカメラの説明書をご覧ください。

※ カメラによっては、本書の説明どおりに操作できない場合があります。

カメラ使用時の留意点

- カメラは、運転者の注意義務を軽減するものではありません。運転の補助としてご使用ください。
- カメラには死角(映らない部分)があります。また、カメラの映像は実際の形状とは異なって表示されます。後方/前方および周囲の安全は、必ず目視で確認してください。

全方位モニター

OPT は、カメラ側の説明書にある「カメラスイッチ」と同じ機能です。

後方の映像に切り替える

- 1 車のセレクトレバーを「R(リバース)」に入れる
 - カメラの映像が表示されます。
- 2 画面上の映像切り替えボタンを押す
 - 押すごとに、表示が切り替わります。
 - 車種によっては OPT を押して切り替える場合もあります。

前方の映像に切り替える

- 1 車のセレクトレバーが「R(リバース)」以外のときに、OPT を押す
 - カメラの映像が表示されます。
- 2 画面上の映像切り替えボタンを押す
 - 車種によっては OPT を押して切り替える場合もあります。

元の画面に戻すには

AUDIO / MENU / MAP のいずれかを押す

お知らせ

- ガイド線については、カメラ側の説明書をご覧ください。
- 全方位モニターのカメラ映像が表示されるまで時間がかかることがあります。(車のセレクトレバーが「R(リバース)」のときに車のACCをOFFにして再びONにした場合など)
- 次のメッセージが表示された場合には、お買い上げの販売店に車両信号とカメラ設定の確認をご依頼ください。
「車両信号設定、カメラ設定に誤りがある可能性があります。もしくは車両信号の受信ができません。」

セレクトビューバックアイカメラ

OPT は、カメラ側の説明書にある「ビュースイッチ」と同じ機能です。

- 1 車のセレクトレバーを「R(リバース)」に入れる
 - カメラの映像が表示されます。
- 2 OPT を押す
 - 押すごとに、表示が切り替わります。

バックアイカメラ

- 車のセレクトレバーを「R(リバース)」に入れる
- カメラの映像が表示されます。

カメラ映像の画質を調整する

- 1 カメラ映像に切り替える
- 2 画面調整(画質調整)画面が表示されるまで MAP を約2秒以上押す
- 3 画質を調整する(P.137)

※ 全方位モニターは調整の手順が異なる場合があります。オーナーズマニュアルもあわせてご確認ください。

ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる

接続する機器の説明書もよくお読みください。

ナビ連動ドライブレコーダーを接続すると、ドライブレコーダーで録画したファイルの再生や各種設定などを本機で行うことができます。

詳しくは、接続したドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

●本章では、ドライブレコーダーの機種ごとに仕様が異なる場合は、下記のアイコンで区分しています。

3 CH：ナビ連動ドライブレコーダー(前後方+車内録画タイプ)

2 CH：ナビ連動ドライブレコーダー(前後方録画タイプ)

1 CH：ナビ連動ドライブレコーダー(前方録画タイプ)

事故が起こったときは

記録された録画データが上書きされないように、必ずmicroSDカードを取り出してください。

※取り出すときは、必ず車のエンジンを切り(ACC OFF)、LEDランプが消灯した状態をご確認ください。

常時録画(動画)

ドライブレコーダーの電源が入ると自動的に録画を開始し、一定時間ごとに記録ファイルをmicroSDカードへ保存します。

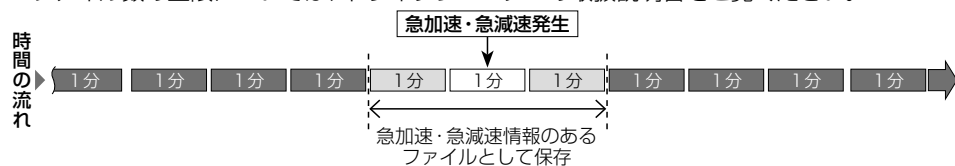
●常時録画ファイルはmicroSDカードの空き容量がなくなると古い順に自動削除され、繰り返し保存し続けます。

●残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。(P.166)

常時録画中に急加速・急減速を検知すると

急加速・急減速の検知の前後に録画された記録ファイルが、急加速・急減速情報のあるファイルとして記録されます。

●通常は自動削除されませんが、ファイル数が上限に達すると古い順に自動削除されます。ファイル数の上限については、ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。



ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる

駐車録画（動画）

エンジンを切って駐車しているときに車両に他の車が当たったり、いたずらなどの振動を検知すると、自動で録画を開始します。

- 「駐車録画」を「ON」に設定してください。（P.164）
- **2CH** リヤカメラを接続している場合は、後方の映像も駐車録画に記録されます。
- **3CH** リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も駐車録画に記録されます。

お知らせ

- 「駐車録画」が「する」(ON)に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「駐車録画」の機能を自動的に停止する場合があります。
- 「駐車録画の無効時間」が短い場合、車のエンジンを切ってから降車、荷物の出し入れ、車種によってはグローブボックスの開閉などを行うと、振動を検知して録画が開始される場合があります。そのときは、「駐車録画の無効時間」を長めに設定してください。（「駐車録画の無効時間」の間は、振動を検知しても録画を開始しません。）

■ 駐車中に駐車録画があったときは

車のエンジンをかけたとき、駐車録画があったことをお知らせする画面が表示されます。[駐車録画のお知らせを「する」(ON)に設定した場合](P.164)

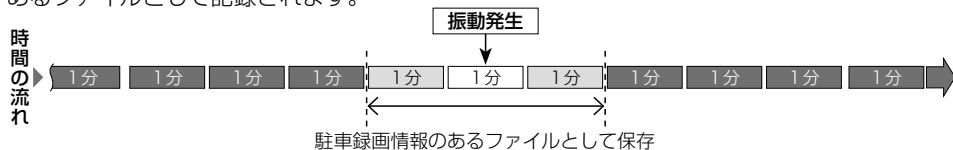
監視録画（動画） 3CH

エンジンを切った後もしばらくの間、録画を続けます。

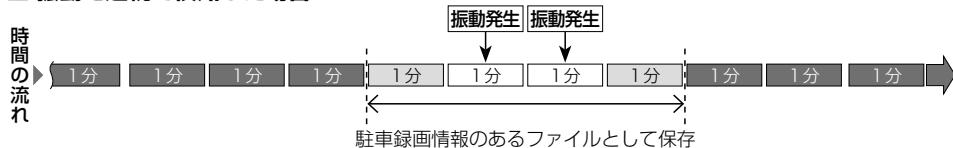
- 「監視録画」を「ON」に設定してください。（P.165）
- 監視録画をする時間を設定できます。（P.165）
- エンジンをかけると、設定時間が残っていても監視録画を終了します。
- リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も監視録画に記録されます。

監視録画中に振動を検知すると

監視録画中に車両に他の車が当たったり、いたずらなどの振動を検知すると、駐車録画情報のあるファイルとして記録されます。



■ 振動を連続で検知した場合



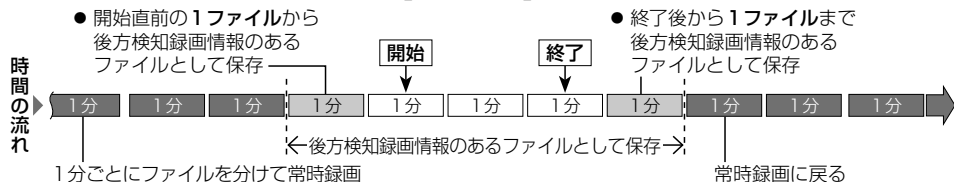
お知らせ

- 「監視録画」が「する」(ON)に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「監視録画」の機能を自動的に停止する場合があります。

後方検知録画（動画） 3 CH

走行中に後続車の異常な接近を検知すると、後方検知の前後に録画された記録ファイルが後方検知録画情報のあるファイルとして記録されます。

- 「後方検知」を「ON」に設定してください。（P. 165）
- 「ドライブレコーダーリヤカメラ録画」が「しない」に設定されていると、検知できません。



お知らせ

- 検知が頻発する場合は、「後方検知速度」を速めに、「後方検知距離」を近めに設定すると、検知の頻度を下げることができます。
- 検知の対象は自動車のみです。人・自転車・オートバイなどは検知できません。
- 次のような場合には、動作しないまたは誤動作する場合があります。
 - ・悪天候や逆光により後方の視界が不明瞭
 - ・センターラインの無い道路を走行している
 - ・レンズの汚れやガラスへ映り込みにより、後方の映像を鮮明に撮影できない
 - ・後続車の色や周囲の光の加減により、後続車が認識できない
 - ・舗装の劣化や雪や雨などの悪天候により、車線が正しく認識できない
 - ・急カーブを走行している
 - ・信号待ちや、渋滞の中を走行している

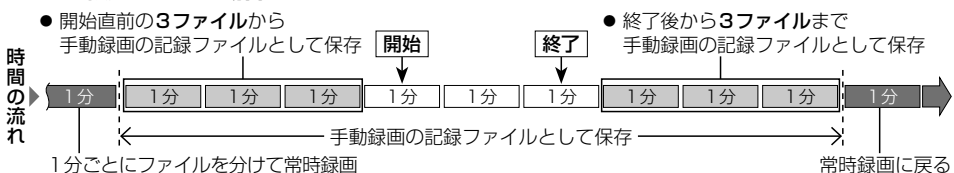
手動録画・静止画撮影

本機のタッチ操作でドライブレコーダーの動画を録画・静止画を撮影できます。（P. 163）

- 用途に応じて、「ダイレクトボタン設定」をしてください。（P. 174）

2 CH 「ドライブレコーダーリヤカメラ録画」が「する」に設定されている場合

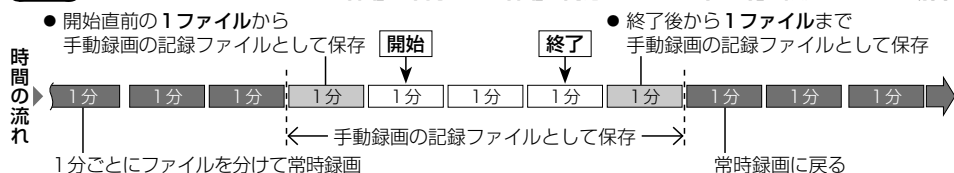
3 CH 「ドライブレコーダーリヤカメラ録画」、「車内カメラ録画」のいずれか、または両方が「する(ON)」に設定されている場合



1 CH

2 CH 「ドライブレコーダーリヤカメラ録画」が「しない」に設定されている場合

3 CH 「ドライブレコーダーリヤカメラ録画」、「車内カメラ録画」が両方とも「しない(OFF)」に設定されている場合



ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる

ドライブレコーダーの基本操作

トップメニュー(P.20)または全機能一覧(P.22)から**ドライブレコーダー**を選ぶ

- ドライブレコーダー画面が表示されます。



- ① ドライブレコーダー再生リストを表示 (P.166)
- ② ドライブレコーダーのカメラ映像を表示 (下記)
- ③ ドライブレコーダー設定画面を表示 (P.164)

お知らせ

- ドライブレコーダーの設定や記録ファイルの再生を行っているときは、録画を停止します。車を発進させると設定や再生を終了し、常時録画を再開します。
- ドライブレコーダー映像の画質は調整できます。(P.137)

ドライブレコーダーのカメラの映像を見る

1 ドライブレコーダー画面から

カメラモニターを選ぶ

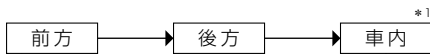
- ドライブレコーダーのカメラの映像が表示されます。



2 ドライブレコーダーの映像を確認する

3 CH 2 CH

- **切替**：複数のカメラが接続されている場合は、選ぶごとに下記のように切り替わります。



- 映像が正しく表示されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

*1 **3 CH** のみ



手動で動画を録画する

手動で動画を録画すると、常時録画で保存されている記録ファイルが手動録画の記録ファイルに置き替わります。手動録画の記録ファイルは自動削除されません。

- **3 CH** リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も手動録画に記録されます。
- **2 CH** リヤカメラを接続している場合は、後方の映像も手動録画に記録されます。

準備

- ダイレクトボタン設定を「ドライブレコーダー動画録画」に設定してください。(P.174)

現在地画面で をタッチする

- 動画の録画を開始します。
- 2分後に手動録画を終了し、常時録画に切り替わります。



手動で録画を終了させるには

現在地画面で をタッチする

- 動画の録画を終了します。



手動で静止画を撮影する

- **3 CH** リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も静止画に記録されます。
- **2 CH** リヤカメラを接続している場合は、後方の映像も静止画に記録されます。

準備

- ダイレクトボタン設定を「ドライブレコーダー静止画撮影」に設定してください。(P.174)

現在地画面で をタッチする

- タッチした瞬間の静止画が撮影されます。



ドライブレコーダーの設定をする

1 システム情報・設定メニュー(P.21)から**ドライブレコーダー設定**を選ぶ

- 録画を停止し、ドライブレコーダー設定画面が表示されます。
- ドライブレコーダー画面から**ドライブレコーダー設定**を選んでも、設定できます。

2 各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ドライブレコーダー 接続設定	※通常はこの操作は必要ありません。取付店が行います。 「ON」: ドライブレコーダーとの接続を有効にする 「OFF」: ドライブレコーダーとの接続を無効にする ● ドライブレコーダーを接続している場合は「ON」に設定してください。 ● 本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行っても設定は変わりません。
画質	「高画質」: 高画質で記録する 「標準」: 標準画質で記録する
音声録音	「ON」: 動画に音声も録音する 「OFF」: 動画に音声を録音しない(映像のみ)
再生一覧表示	「古い順」: ドライブレコーダー再生リストの記録ファイルを古い順に表示する 「新しい順」: ドライブレコーダー再生リストの記録ファイルを新しい順に表示する
イベント情報表示	動画再生画面の動画情報(P.167)に表示させたいイベント(急加速・急減速、駐車録画、事故多発地点、合流地点、急カーブ、監視録画 3CH 、後方検知 3CH)のチェックボックスをONにする ● お買い上げ時は、すべての項目を表示するよう設定されています。
急加速・急減速の感度	— / + で、急加速・急減速の測定感度を調整する[調整範囲: 1(低感度)~3~5(高感度)]
急加速・急減速の感知音	「ON」: 急加速・急減速を感知すると、ブザーを鳴らす 「OFF」: 急加速・急減速を感知しても、ブザーを鳴らさない
起動音	「ON」: ドライブレコーダーの電源が入ると、ブザーを鳴らす 「OFF」: ドライブレコーダーの電源が入っても、ブザーを鳴らさない
センサー調整する	※通常はこの操作は必要ありません。取付店が行います。 調整する : ドライブレコーダーの加速度センサーを最適化する
SDカードを初期化する	SDカードを初期化する : ドライブレコーダーで使用しているmicroSDカードを初期化する ● microSDカードに記録ファイル以外のファイルが収録されている場合は、初期化するとそのファイルも消去されます。 ● microSDカードの初期化を促すメッセージが表示されたときや、microSDカード内のファイルが再生できないとき、microSDカードを交換したときなどに行ってください。
設定を初期化する	設定を初期化する ▶ はい : ドライブレコーダーの設定をお買い上げ時の状態に戻す(ドライブレコーダー接続設定を除く) ● 録画・撮影された記録ファイルは消去されません。
駐車録画	「ON」: 駐車中に振動を感知すると、自動で録画する 「OFF」: 駐車中、録画しない ● 3CH リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も駐車録画に記録されます。 ● 2CH リヤカメラを接続している場合は、後方の映像も駐車録画に記録されます。
駐車録画のお知らせ	「ON」: ACC ON後に駐車録画があったことを、メッセージ表示でお知らせする 「OFF」: メッセージ表示をしない

項目	設定内容
駐車録画の感度	[-]/[+]で、振動を感知する感度を調整する [調整範囲: 1 (低感度)~3~5 (高感度)]
駐車録画の時間	駐車録画の記録時間を設定する [調整範囲: 10秒/30秒/1分]
駐車録画の無効時間	駐車録画モードになるまでの時間を設定する [調整範囲: 1分/3分/5分]
警告音量	ドライブレコーダーの音量を設定する [調整範囲: 1~3~5]
ドライブレコーダー リヤカメラ録画 ★ 3 CH 2 CH	※通常はこの操作は必要ありません。取付店が行います。 「する」: 後方録画用のカメラがある場合に選択する 「しない」: 後方録画用のカメラが無い場合に選択する ●本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行った場合は接続したドライブレコーダーに応じて設定しなおしてください。
車内カメラ録画 ★ 3 CH	※通常はこの操作は必要ありません。取付店が行います。 「ON」: 車内録画用のカメラがある場合に選択する 「OFF」: 車内録画用のカメラが無い場合に選択する ●本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行った場合は接続したドライブレコーダーに応じて設定しなおしてください。
監視録画 3 CH	「ON」: 車のエンジンを切ったあと、一定の時間録画する 「OFF」: 監視録画しない ●リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も監視録画に記録されます。
監視録画の時間 3 CH	監視録画する時間を設定する [調整範囲: 30分/60分/90分]
後方検知 3 CH	「ON」: 後方から車両が接近したときに録画する 「OFF」: 後方検知録画をしない
後方検知のお知らせ 3 CH	「ON」: 後方検知時に後方注意の表示をする 「OFF」: 後方検知時に後方注意の表示をしない
後方検知速度 3 CH	後方検知録画が動作する速度を設定する [調整範囲: 40 km/h/60 km/h/80 km/h] ●設定した速度以上の速度で走行すると、車両接近時に後方検知録画されます。
後方検知距離 3 CH	[-]/[+]で、後方検知録画する車間距離を調整する [調整範囲: 1 (近い)~3~5 (遠い)]

お知らせ

- 本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行った場合は
接続したドライブレコーダーに応じて「★印」の項目を必ず設定しなおしてください。

3 CH ★ドライブレコーダーリヤカメラ録画「する」 ★車内カメラ録画「ON」

2 CH ★ドライブレコーダーリヤカメラ録画「する」

*「設定を初期化する」(P. 164)および「出荷状態に戻す」(P. 175)

動画・静止画を再生する

走行中は再生できません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。

ドライブレコーダー画面 (P.162) から**再生**を選ぶ

- 録画を停止し、ドライブレコーダー再生リストが表示されます。



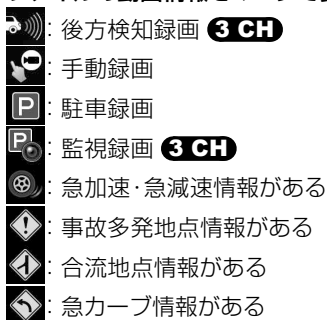
① リスト表示を切替

- **動画 全表示**：すべての動画を表示
- **動画 手動録画**：手動録画の動画のみを表示
- **静止画**：すべての静止画を表示

② ファイルリスト

③ リスト内のすべてのファイルを消去

- ④ 選んだファイルを保存フォルダへ移動
- ⑤ 選んだファイルを再生する
- ⑥ ファイルの動画情報をマークで表示



記録ファイルを選んで再生する

ドライブレコーダー再生リストから
ファイルを選び、**再生**を選ぶ

- 選んだファイルが再生されます。
- 動画・静止画の再生画面→P.167

動画ファイルを保存する

常時録画ファイル/監視録画ファイルは古い順に自動削除されますが、保存ファイルとして保存することで、自動削除されなくなります。

ドライブレコーダー再生リストから
動画ファイルを選び、
保存 ▶ はい ▶ OKを選ぶ

- 保存ファイルとして保存されます。

ファイルを消去する

■ ファイルを選んで消去する

消去したいファイルを再生し、
動画/静止画再生画面 (P.167) から
消去 ▶ はいを選ぶ

- 選んだファイルが消去されます。

■ リスト内のファイルをすべて消去する

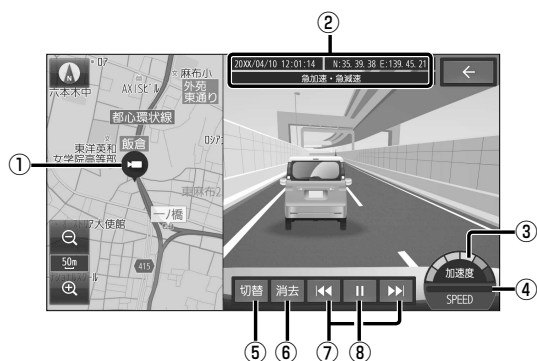
ドライブレコーダー再生リストから
消去したいリストを表示させ、
全消去 ▶ はいを選ぶ

- リスト内のすべてのファイルが消去されます。

お知らせ

- ファイルを消去すると、動画/静止画は前方・後方 (**3 CH 2 CH**)・車内 (**3 CH**) すべてが消去されます。個別に消去することはできません。

動画再生画面

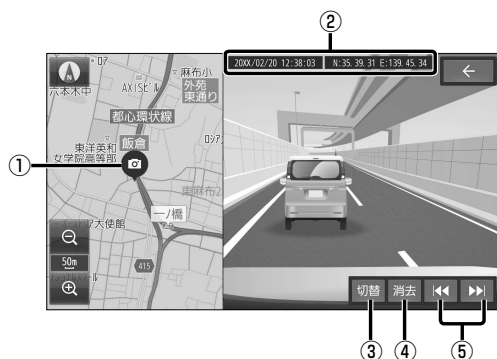


- ① 録画した地点
- ② 録画日時・位置情報・動画情報
- ③ 加速・減速メーター(6段階)
- ④ 速度メーター
- ⑤ 映像を切替
3 CH 前方/後方/車内
2 CH 前方/後方
- ⑥ 再生中のファイルを消去
- ⑦ 前/次のファイルに切替
 (タッチし続けると早戻し/早送り)
- ⑧ 再生/一時停止

お知らせ

- 動画画面(右画面)をタッチすると、全画面で動画を表示します。再度タッチすると、元の画面に戻ります。
- ③・④は、録画地点のおおよその値をグラフ表示したものです。

静止画再生画面



- ① 撮影した地点
- ② 撮影日時・位置情報
- ③ 静止画を切替
3 CH 前方/後方/車内
2 CH 前方/後方
- ④ 再生中のファイルを消去
- ⑤ 前/次のファイルに切替

お知らせ

- 静止画画面(右画面)をタッチすると、全画面で静止画を表示します。再度タッチすると、元の画面に戻ります。

HDMI入力の映像を見る

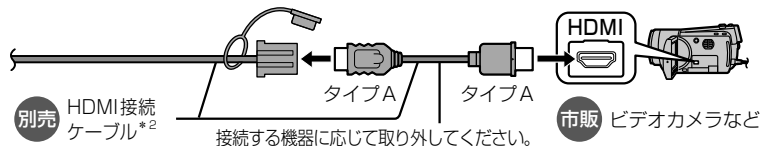
CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W のみ

接続する機器の説明書もよくお読みください。

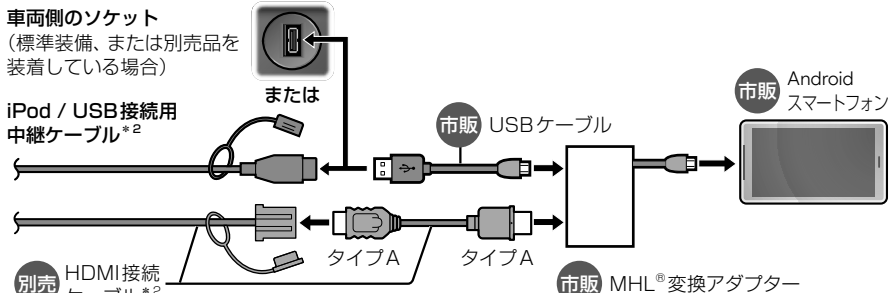
HDMI出力が可能なスマートフォン^{*1}やビデオカメラなどの映像を、本機に表示できます。
トップメニュー(P.20)、オーディオソース一覧(P.88)または全機能一覧(P.22)から**HDMI**を選ぶ

● 接続した機器の映像と音声が出力されます。

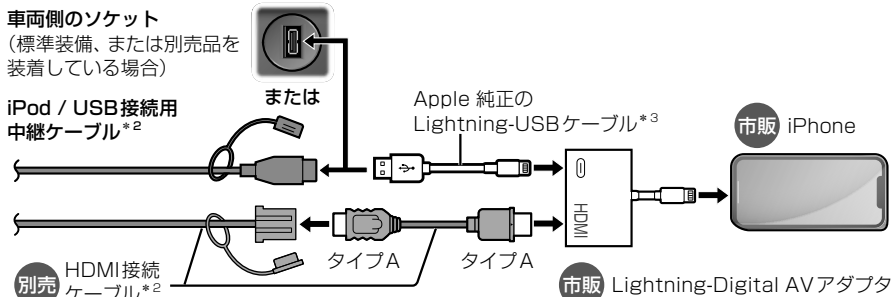
■ ビデオカメラを接続する(例)



■ Android スマートフォンを接続する(例)



■ iPhone を接続する(例)



お知らせ

- 接続する機器に適合したケーブルや変換アダプターをご使用ください。
- コネクタの向きに注意して確実に差し込んでください。
- iPod または iPhone を上記やP.120のようにケーブルで接続している場合は、iPhone ではレコーダリンクおよびスマートフォン連携機能(NaviCon[®] / CarAV remote S)を利用できません。iPod または iPhone を取り外してください。

*1 ミラーリング(画面が共有できる機能)に対応しているスマートフォン使用する機器やケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
*2 グローブボックス等から出ているケーブルに接続してください。(ケーブルの設置場所は、車種により異なる場合があります。)
*3 コネクタの形が適合するケーブルを使用してください。純正品以外を使用すると、正しく動作しない場合があります。

後席用のモニターで本機の映像を見る

接続する機器の説明書もよくお読みください。

本機の映像[TV、DVD、SD(動画)、USB(動画)、レコーダーリンク*¹、HDMI*¹]を、後席用のモニターに表示できます。

*¹ **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

準備

- 後席用のモニターを、本機が接続されている入力モード(「HDMI」「VTR」など)に切り替えてください。

オーディオのソースを切り替える (P.88)

- 本機および後席用のモニターに、選んだ映像が表示されます。
- **MAP** を押すと、後席用のモニターに映像を出力したまま、本機のディスプレイを現在地画面に切り替えることができます。
- 後席用のモニターには、走行中でも映像が出力されます。

お知らせ

- テレビなど、後席用のモニター以外の機器を接続することはできません。
- ハンズフリー通話時は、映像が一時停止する場合があります。
- **CN-HZ885** **CN-HZ785W**
コピーガードがかかっている番組やDVDは、録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで本機とモニターを直接接続してください。

ヘッドアップディスプレイ連携

詳しくは、車両のオーナーズマニュアルをご覧ください。

本機のルート案内の情報が、ヘッドアップディスプレイに表示されます。

■ ヘッドアップディスプレイの画面(例)



■ ナビゲーションの画面(例)



お知らせ

- 次のメッセージがナビゲーション画面に表示された場合には、お買い上げの販売店に車両信号設定の確認をご依頼ください。
「車両信号設定、カメラ設定に誤りがある可能性があります。もしくは車両信号の受信ができません。」

利用に応じた設定に変える

地図表示に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P.21)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **表示設定**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ランドマーク設定 (P.54)	地図画面に表示するランドマークを選択できます。
走行軌跡を表示 (P.47)	「ON」: 走行軌跡を表示する 「OFF」: 走行軌跡を表示しない
走行軌跡の記録を消去する (P.47)	走行軌跡の記録を消去する ▶ はい : 走行軌跡の記録を消去する
目的地方向を表示 (P.47)	「ON」: 目的地方向直線を表示する 「OFF」: 目的地方向直線を表示しない
ゾーン30エリアを表示 (P.44)	「ON」: ゾーン30のエリアを表示する 「OFF」: ゾーン30のエリアを表示しない
自転車位置修正 (P.28)	自転車位置を修正できます。(通常は、この操作は必要ありません)

ルート探索に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P.21)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **探索設定**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
新旧ルート比較画面を表示 (P.74)	「ON」: VICS自動再探索が行われた場合は、新旧ルート比較画面を表示する 「OFF」: 新旧ルート比較画面を表示しない
新旧ルート自動選択 (P.74)	「 新ルート 」: 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、新ルートで案内する 「元ルート」: 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、旧ルートのままとする
到着予想時刻の計算方法	「 自動 」: 自動で到着予想時刻を計算する 「手動」: 手動で設定した車速から到着予想時刻を計算する ●「手動」の場合は、一般道と有料道路それぞれの車速を設定できます。 設定範囲: 一般道: 5 km/h ~ 50 km/h ~ 80 km/h (5 km/h ステップ) 高速道路: 5 km/h ~ 80 km/h ~ 100 km/h (5 km/h ステップ)
ルート学習結果の初期化	ルート学習結果の初期化 ▶ はい ▶ はい : 本機のルート学習機能を初期化する

ルート案内に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P.21)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **案内設定**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
案内拡大図の表示 (P.42)	「ON」: 案内拡大図を表示する 「OFF」: 案内拡大図を表示しない
ETCレーンの表示 (P.41)	「ON」: ETCレーン案内を表示する 「OFF」: ETCレーン案内を表示しない
方面看板の表示 (P.44)	「ON」: 方面看板を表示する 「OFF」: 方面看板を表示しない
ハイウェイモードの表示 (P.41)	「ON」: ハイウェイモードを表示する 「OFF」: ハイウェイモードを表示しない
Audio画面中の案内割込み	「ON」: オーディオ画面を表示中に割り込んで現在地画面に切り替えて案内する(ルート案内が完了すると、オーディオ画面に戻ります) 「OFF」: オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内しない
逆走注意アラーム (P.75)	「ON」: 逆走注意アラーム、および逆走検知警告を案内する 「OFF」: 逆走注意アラーム、および逆走検知警告を案内しない
VICS案内 (P.72)	「ON」: VICSの渋滞/規制情報がある区間に近づくと、音声で案内する 「OFF」: VICSの渋滞/規制情報がある区間に近づいても、音声で案内しない

渋滞情報案内 (VICS) に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P.21)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **渋滞設定**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
FM VICS 周波数	周波数の選局方法 「自動選局」: 自車位置に応じて、FM多重放送を受信する放送局を自動的に切り替える 「手動選局」: FM多重放送を受信する周波数を手動で設定する ●手動選局の場合は、選局した放送局が所在する都道府県のFM-VICS情報を受信します。隣接する都道府県については、県境付近など一部エリアのみ受信します。
	手動選局 [-] [+]: 周波数を設定する ※ 周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。
	エリア選局 FM VICSを受信したいエリア(放送局)を選ぶ ※ 周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。
ETC 2.0 案内設定	ETC 2.0 受信音 「ON」: ETC 2.0サービスからVICS情報を受信すると、受信音を鳴らす 「OFF」: ETC 2.0サービスからVICS情報を受信しても、受信音を鳴らさない ※ 安全運転支援情報、ローカル安全運転支援情報、注意警戒情報、ローカル注意警戒情報、新緊急メッセージを受信したときは、設定にかかわらず受信音を鳴らします。
	ETC 2.0 割込み (P.82) 「ON」: ETC 2.0サービスからVICS情報を受信すると、割込み表示する 「OFF」: ETC 2.0サービスからVICS情報を受信しても、割込み表示しない ※ 安全運転支援情報、ローカル安全運転支援情報、注意警戒情報、ローカル注意警戒情報、新緊急メッセージを受信したときは、設定にかかわらず割込み表示します。
	ETC 2.0 自動音声再生 「ON」: ETC 2.0サービスからVICS情報を受信すると、自動的に音声案内する 「OFF」: ETC 2.0サービスからVICS情報を受信しても、自動的に音声案内しない
	ETC 2.0 アップリンク (P.156) 「ON」: 本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する 「OFF」: 本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない

ETC 情報の案内に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P.21)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **ETCの音声案内設定**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ETC 音声案内	「ON」: 利用料金などを、本機から音声で案内する 「OFF」: ETC 音声案内しない(ETC カード有効期限内は行います)
カード入れ忘れ案内	「ON」: 本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内する* ¹ 「OFF」: カード入れ忘れ案内しない
カード抜き忘れ案内	「ON」: 本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内する* ¹ 「OFF」: カード抜き忘れ案内しない

* 1 ETC 音声案内を「OFF」に設定しても案内します。

本機のシステムに関する設定・確認

システム情報・設定メニュー(P.21)から、各項目を設定・確認する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容	
操作音	「ON」: キー操作音を鳴らす 「OFF」: キー操作音を鳴らさない	
時計表示	「ON」: 画面に時計を表示する 「OFF」: 画面に時計を表示しない	
案内音声設定	本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先	「ON」: ナビゲーションの音声案内中に、 - + で案内音量を調整できる 「OFF」: ナビゲーションの音声案内中に、 - + で案内音量を調整できない
	案内音量の車速連動	「ON」: ナビ案内音量を車速連動する(走行速度によって自動的に音量を上げる) 「OFF」: ナビ案内音量を車速連動しない
	案内出力スピーカー	「左前」: 案内音声を左のフロントスピーカーから出力する 「右前」: 案内音声を右のフロントスピーカーから出力する
	案内時のAudio音量消音	「ON」: 音声案内時にオーディオ音声を消音する 「OFF」: 音声案内時にオーディオ音声を消音しない ※「OFF」に設定されている場合も、音声案内時はオーディオの音量が下がります。
音量設定 (P.26)	ナビゲーションの案内音、ハンズフリー着信音などを調整することができます。	
画質調整 (P.137)	画面の明るさやコントラストなどを調整することができます。	
画面OFF (P.27)	画面を一時的に消すことができます。	
トップメニューカスタマイズ (P.23)	トップメニューを編集することができます。	
セキュリティ設定 (P.36)	セキュリティコードや、盗難多発地点表示案内の設定ができます。	
メンテナンス通知設定 (P.148)	GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などがきたことを、音声と画面で案内します。	
ドライブレコーダー設定 (P.164)	ドライブレコーダーの設定ができます。	
オプションスイッチ設定	「消音」: オーディオの音声を消音する (P.27) 「AVソース切替」: オーディオを切り替える (P.88) 「電話リダイヤル発信」: 前回発信した番号に電話をかける (P.142) 「自宅」: 自宅までのルートを探索する (P.61) ●セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない場合のみ、設定が有効になります。	
ダイレクトボタン設定	「ドライブレコーダー動画録画」: 動画録画タッチキーを表示する (P.163) 「ドライブレコーダー静止画撮影」: 静止画撮影タッチキーを表示する (P.163) 「表示しない」: ダイレクトボタンを表示しない	
休憩案内 (P.72)	「ON」: 休憩を促す音声案内を行う 「OFF」: 休憩案内しない	
バージョン情報 (P.149)	車載器ID、製造番号、ソフト・地図・Gracenoteデータベースのバージョンなどを確認できます。	
車両信号情報 (P.29)	車両信号情報を確認できます。	
拡張ユニット情報 (P.30)	iPod、USB、ETC車載器/ETC2.0車載器、ドライブレコーダーの接続状態を確認できます。	
ソフトウェア・地図更新 (P.153)	本機のソフトウェアや地図データの更新ができます。	
Gracenoteデータベース更新 (P.155)	Gracenoteデータベースの更新ができます。	
初期化 (P.175)	本機の各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。	
端末情報 (P.149)	本機の端末情報を確認できます。	
取付店ダイアグ	使用しません。(取付店が設定します。)	

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 システム情報・設定メニュー(P.21)から**初期化**を選ぶ

2 初期化する項目を選ぶ

項目	設定内容
SDカードの初期化	SDカード* ¹ を初期化することができます。 ●記録されているすべてのデータが消去されます。 * 1 NTFS ファイルシステムは初期化できません。
TVの初期化	デジタルテレビ初期設定で設定した内容を初期化することができます。(P.90)
キーボード学習結果の初期化	キーボードの学習内容(文字入力する際の漢字変換など)を初期化することができます。
出荷状態に戻す	本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。 ●オーディオがOFFに切り替わります。 ●ドライブレコーダーの設定が、お買い上げ時の状態に戻ります。(ドライブレコーダー接続設定を除く)

3 **はい**を選ぶ

- 「キーボード学習結果の初期化」を選んだ場合は、この手順で初期化されます。

4 **はい**を選ぶ

- 選んだ項目が初期化されます。
- 初期化した項目は、元に戻せません。
誤って大切なデータを消さないように、ご注意ください。
- TVの初期化を行った場合は、車のエンジンを止め(ACC OFF)、ボタン照明が消えて約10秒経過してから、再度車のエンジンをかけてください(ACC ON)。

お願い

- 初期化中は他の操作(オーディオのソースを切り替えるなど)をしないでください。
故障の原因となります。

お知らせ

- 本機を譲渡または廃棄する際は、本機に記録された情報(登録地や走行軌跡などの履歴、電話番号などの個人情報やお客様が録音した楽曲など)を必ず消去し、出荷時の状態に戻してください。
- 本機を別の車に載せかえた場合や、タイヤを交換またはローテーションした場合は、「センサー学習値初期化」を行ってください。(P.29)
- バッテリーを取り外すと(バッテリー交換など)下記の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。
 - ・オーディオOFF/ON
 - ・AM・FMで受信中の周波数
 - ・ディスク・USB・SDの再生位置
 - ・ディスク・MEMORY MUSIC・USB・SDの再生モード

故障かな!?と思ったら

修理を依頼される前に、まずはP.176～193の内容をご確認ください。
処置をしても解決/改善されないときや、他の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

よくあるお問い合わせ



自車マークが表示されない

- 地図モード画面になっている。
→ MAP を押してください。(P.44)

自車位置が正しく表示されない

- GPS衛星からの信号の誤差が大きい。
- GPS信号を妨げる障害物などがある。
- ACC OFFの状態で車を移動した。(フェリーボート、駐車場のターンテーブルなど)
- 立体駐車場などの、GPS信号を受信できない場所を走行した。
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- 距離、回転、3Dの補正が完了していない。
→ 「センサー学習レベル」を確認してください。(P.29)
距離が「1」の場合は、しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- 本機を別の車に載せかえた。タイヤを交換またはローテーションした。
→ 「センサー学習値初期化」を行ってください。(P.29)

縮尺を切り替えたのに、元の縮尺に戻る

- 地図モード画面で縮尺を切り替えている。
→ 地図モード画面(P.45)で切り替えた縮尺は、現在地画面に反映されません。
現在地画面で  /  を選び、縮尺を切り替えてください。(P.44)

タッチキーが反応しない(表示が薄くなっている)

- 安全のため、走行中は一部の操作ができないようになっています。
→ 安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけると、操作できるようになります。

ディスクやSDカードが正しく読めない

- ディスクやSDカードが汚れている。
→ 汚れを取り除いてください。
- ディスクを表裏逆に挿入している。
→ 正しい面で挿入しなおしてください。
- ディスクやSDカードに問題がある。
→ 別のディスクやSDカードが本機で再生できる場合は、ディスクやSDカードに問題がある可能性があります。

地図の年度更新の方法について知りたい

- 本製品は無料地図更新サービスを提供しております。(P.150、別添チラシ)
- 年度更新版地図の発売時期・販売方法については、決定したい、Webサイトにてご案内します。
<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

電源・共通

症 状	原 因 / 対 処	ページ
動 作		
電源が入らない	車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて (ACC を ON にして) ください。	24
	低温状態になっている。 ● 故障ではありません。内部が温まると、自動的に起動します。 (バッテリー交換時と同様に一部の設定が初期化されます。P. 175)	—
車のエンジンをかけた状態 (ACC ON) で、本機の電源が切れる	車のバッテリー電圧が低い。 ● バッテリーを交換してください。	—
ディスプレイの上下角度が調整できない	障害物などに当たっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	—
電源を切ってもボタン照明が消えない	ボタン照明は電源を切ってもすぐには消えません。本機の処理により消灯までに時間がかかることがあります。故障ではありません。	—
タッチパネルの反応が悪い/ 反応しない	フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ/2点ドラッグ/回転ドラッグの操作をしている。 ● 画面によっては、上記の操作ができません。	18
	指の腹でタッチすると、2点タッチなどと誤動作することがあります。必ず、指の先でタッチしてください。	18
	爪でタッチすると、反応しない場合があります。必ず、指の先でタッチしてください。	18
	指の動きより遅れて反応する場合があります。故障ではありません。	—
	手袋をして操作すると反応しない場合があります。素手でご使用ください。	—
	金属を近づけたり、水滴が付いている場合は反応しないことがあります。	—
お買い上げの販売店に依頼し、アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	—	
本機が温かくなる	長時間連続して使用している。 ● 正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
SDカードを挿入しても本機が認識しない	● 本機または専用フォーマッター以外でフォーマットしたSDカードは、本機では認識しない場合があります。SDカードを本機で初期化するか、専用フォーマッターでフォーマットしてください。	175, 200
	● SDカードによっては認識しないものもありますので、別のカードをお試しください。	—
表 示		
映像が暗い/白っぽい/ 色合いが悪い/色が薄い	画質調整が適切でない。 ● 各項目を調整してください。	137
画面に赤、青または緑の点が表示される	液晶ディスプレイ特有の現象です。故障ではありません。	—
ディスプレイに何も表示されない/ ナビゲーションの映像が表示されない	オーディオがHDMIになっている。 ● 他のソースに切り替えるなどして、HDMI以外の画面を表示させてください。	88
	一時的に画面を消している (画面OFF) ● AUDIO / MENU / MAP / TILT のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	27
	お買い上げの販売店に依頼し、電源コード/接続ハーネスの接続を確認してください。	—
	アクセサリコード/電源コネクターのヒューズが切れている。 ● お買い上げの販売店にご相談ください。	—

故障かな!?と思ったら

電源・共通

症状	原因/対処	ページ
映像が出ない (音声は出ている)	一時的に画面を消している(画面OFF) ● AUDIO / MENU / MAP / TILT のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	27
	安全のため、走行中は映像(テレビやDVDなどの画面)を見ることができないようになっています。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、サイドブレーキコードの接続が外れていないか確認してください。	—
音 声		
ステレオのとき左右の音が逆になる	お買い上げの販売店に依頼し、スピーカーコードの接続を確認してください。	—
左右前後のいずれかの音が出ない	フェーダー/バランスの設定を確認してください。	135
	お買い上げの販売店に依頼し、各コードの接続を確認してください。	—
音が悪い(音が飛ぶ)	DVD・CDなどの場合は、ディスクの汚れをクリーニングしてください。	198
	iPod・スマートフォン・USBメモリーなどの場合は、延長ケーブルを使用せずに接続してください。	—
雑音が出る	スマートフォンなどを本機から離してください。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	—
音量が勝手に変わる	オーディオ情報・設定メニューからオーディオチューンを選び、高音質モードまたはエフェクトモードに変えてから車速連動音量の補正量を「OFF」にしてください。	130

ナビゲーション

症状	原因/対処	ページ	
表 示			
VICs 情報が表示されない (FM VICs)	VICs を放送している放送局を受信しているか確認してください。	173	
	FMの電波が弱い。 ● 障害物(トンネルやビルの陰など)の無い場所に移動してください。 ● 電波の強い周波数の放送局を選局してください。	— 173	
	地図に表示するVICs情報の保持時間が過ぎた。 ● 新しい情報を再受信するまでお待ちください。	—	
	VICsのサービス外の地図を表示している。 ● VICsのサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。	—	
	お買い上げの販売店に依頼し、ラジオアンテナの接続を確認してください。	—	
VICs 情報が表示されない (ETC2.0)	ETC2.0車載器の取り付け状態が悪く受信できない。 ● アンテナの上に物を置かないでください。 ● 極端にフロントガラスが汚れている場合は、きれいにしてください。 ● お買い上げの販売店に依頼し、取り付け位置や接続を確認してください。	— — —	
	地図画面が黄色く表示される	表示中の地図全体に気象・災害情報がある場合は、地図画面全体が薄い黄色で表示されます。	—

ナビゲーション

症状	原因/対処	ページ
動作		
登録地が登録されない/ 設定が変更されない/探索 したルートが削除された	操作のあと、すぐに電源を切った。 ●もう一度、地点登録・ルート探索などの操作をしてください。	—
← を選んでも、 前の画面に戻らない	画面によっては、← を選んでも前の画面に戻らない場合があります。	—
地図画面上でフリック/ ドラッグ以外の操作がで きない	フリック/ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作は できません。 ●約1秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。	—
案内		
音声案内されない/ オーディオの音声は出力さ れるのに、ナビゲーション の音声案内が出力されない	音量設定で、「ナビ案内音」の音量が「0」に設定されている。 ●「ナビ案内音」の音量を調整してください。	26
	「本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先」を「OFF」に設定している。 ●設定を「ON」にしてください。	174
	ルートから外れている。 ●現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ●再探索してください。	44,47 74
	ルートに対して逆走行している。 ●目的地の方向を確認してください。 ●再探索してください。	47 74
	お買い上げの販売店に依頼し、各コードの接続を確認してください。	—
ルート設定時に料金が 表示されない	ルートが有料道路上から始まっている。 ●有料道路上で自動再探索や再探索してルートが有料道路上から始 まっているときは、料金が表示されない場合があります。	—
有料道路以外で有料案内 する	地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、 実際と異なり有料案内することがあります。 料金所が入り付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。	— —
高速道路を走行中に 一般道路の案内をする/ 一般道路を走行中に 高速道路の案内をする	高速道路と一般道路が隣接しているときは、誤った道路が案内される 場合があります。 ●ランチャーから、 道路切替 を選んでください。	46,74
一般道優先で探索している のに、有料道路上にルート を作る	現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上 にルートを作ることがあります。(故障ではありません) ●通りたい一般道路上に経由地を設定してください。	66,68

オーディオ [TV]

症状	原因/対処	ページ
映像/音声		
映像も、音声も出ない	本機が異常に高温になっている。 ●車内の温度を下げてから、本機の電源を入れなおしてください。	—
	受信状態が悪い。 ●車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い 場所に移動してください。	—

故障かな!?と思ったら

オーディオ [TV]

症状	原因 / 対処	ページ
電源を入れても映像がすぐに出ない	ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	—
映像や音が出ない (ときどき出なくなる)/ 映像が静止する (ときどき静止する)	車のある場所や方向により受信状態が変化します。 視聴中に、受信状態により黒い画面になることがあります。故障ではありません。	—
	車両の搭載機器 (電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプなど) によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。	—
	自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	—
	地上デジタル放送の受信状態が良くないときに、受信モードが「地上D」になっている。 ●地上デジタル放送の電波が弱い地域では、受信モードを「ワンセグ」に切り替えてください。(ワンセグに切り替わるときに、映像や音声が一時的にとぎれたり、遅れたりする場合があります。)	93
地上デジタル放送が受信できない/受信状態が悪い	地上デジタル放送の放送エリア外にいる場合、受信できません。 また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	長距離移動などで現在のチャンネル設定では受信できない場所にいる。 ●ユーザープリセットのスキャンを行ってください。	93
	お買い上げの販売店に依頼し、地上デジタルアンテナの接続を確認してください。	—

オーディオ [FM][AM]

症状	原因 / 対処	ページ
	音 声	
ラジオが受信できない/ ノイズが多い	放送局の電波が弱い。 ●放送局を変えてください。	98
	ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。	—
	周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなった) ●新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。	98
	ワイドFM非対応のラジオアンテナでFM補完放送を受信しようとした。 ●ラジオアンテナがワイドFMに対応していない場合は、FM補完放送を受信できません。	—
	エアコンやワイパーに連動したノイズが発生している。 ●車両側の電装品を止めてください。電装品が作動するとノイズが入る場合があります。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、ラジオアンテナの接続・設定を確認してください。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、ラジオアンテナのケーブルを他のコードからできるだけ離してください。(束ねたり・重ねたり・交差させたりしない)	—

オーディオ [DVD]

症状	原因 / 対処	ページ
動作		
タッチパネルを操作しても、動作しない	ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。 (故障ではありません。)	—
設定した字幕言語 / 音声言語 / アングルが切り替わらない	複数の字幕 / 音声 / アングルが記録されていないディスクでは、切り替えられません。 ● DVDのトップメニューなどで切り替えたり、特定の映像のみアングルなどを切り替えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
設定した字幕言語 / 音声言語で再生されない	設定した字幕 / 音声記録されていないディスクでは、設定どおりの字幕 / 音声で再生されません。 ● DVDのトップメニューなどで切り替えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
メニュー画面のメッセージが希望の言語にならない	「言語設定」でメニュー言語の設定を確認してください。	103
ディスクを挿入しても再生できない	ディスクを正しい面で挿入しなおしてください。	100
	再生できるディスクを使用してください。	100, 196
	ディスク挿入後、またはDVDに切り替えたあとに、フォーマットが識別される少しの間、音がとぎれることがあります。	—
音声		
再生中に小さい音が聞き取りにくい	「ダイナミックレンジ圧縮」の設定を、「ON」に設定してください。	103
DVD再生の音量が小さい	音楽CDとDVDの録音レベルには差があります。 ● DVD再生時には、音楽CD再生時よりも音量を上げてください。	26

オーディオ [MP3/WMA(CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]

症状	原因 / 対処	ページ
動作		
再生するまで時間がかかる	記録されているフォルダ / ファイル階層が多い。 ● 本機で再生できないファイルや不要なフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	—
	ファイルのサイズが大きすぎる。 ● サイズが大きいファイルは、読み込みに時間がかかります。	—
再生できない	本機に対応したメディアを再生してください。 ● SDカード・USBメモリーによっては、認識しないものもあります。別のSDカード・USBメモリーをお試しください。	196, 200
	使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正常に再生されない場合があります。	—
	データが本機で再生できる規格かを確認してください。	201
	ファイルが破損している。 ● 本機が再生できる形式で、ファイルを作りなおしてください。	201

故障かな!?とと思ったら 困ったとき

故障かな! ?と思ったら

オーディオ [MP3/WMA(CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]

症状	原因 / 対処	ページ
再生できない(続き)	ファイルには下記の拡張子を必ず付けてください。 <ul style="list-style-type: none"> ● MP3ファイル: 拡張子「mp3(MP3)」 ● WMAファイル: 拡張子「wma(WMA)」 ● AACファイル: 拡張子「m4a(M4A)」 「aac(AAC)」 ● FLACファイル: 拡張子「flac(FLAC)」 「fla(FLA)」 ● WAVファイル: 拡張子「wav(WAV)」 ● MP4ファイル: 拡張子「mp4(MP4)」 「m4v(M4V)」 	—
映像 / 音声		
音質が悪い(音が飛ぶ) 画質が悪い(画像が乱れる)	音質・画質は、使用したエンコーダーソフトやオーサリングソフト、ビットレートなどの設定などにより異なります。詳しくは、エンコーダーソフトの説明書をご覧ください。 低倍速で、再度データを書き込んでください。	201, 204 —
音声のみ再生される/ 映像のみ再生される	データが本機で再生できる規格かを確認してください。	201, 204
再生経過時間は表示されているが、音が出ない	ミックスモード(第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット)のディスクの第1トラックを再生した。 ● ミックスモードで再生しようとした場合、MP3/WMAファイルが無音で再生されることがあります。	—
表示		
ファイル名・フォルダ名が正しく表示されない/曲情報が正しく表示されない	規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	— —
再生経過時間の表示が実際と一致していない	再生中、ACCをOFFにした。 ● 他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。 可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	— —

オーディオ [MEMORY MUSIC]

症状	原因 / 対処	ページ
録音		
録音設定の切り替えができない	録音中の場合は、録音を停止してください。	107
録音できない	ディスクに傷が付いていると、録音ができません。 ● ディスクに傷が無いか確認してください。 「録音モード」が手動録音に設定されている。 ● 「録音モード」が「手動録音」に設定されていると、自動では録音されません。「自動録音」に設定してください。	198 107
	SDカードの空き容量が不足している。 ● SDカードの使用状況を確認してください。不要なファイルを消去するなどして空き容量を増やすと、新たに録音できます。	113
	SDカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ● 書き込み禁止スイッチを解除してください。	—

オーディオ [MEMORY MUSIC]

症状	原因 / 対処	ページ
動作		
録音したはずの曲が再生されない	曲のファイルが破損している。 ●再生されない曲を削除し、再度録音してください。	107, 113
	パソコンなどを使って、本機でSDカードに録音したアルバム・曲のフォルダ名やファイル名を変更した。 ●本機でSDカードを初期化して、再度録音してください。	107, 175
	SDカードが破損している、またはSD規格に準拠したカードではない。 ●他のSDカードで再生ができるか、確認してください。	200
音声		
音質が悪い(音が飛ぶ)	ご使用になるSDカードによっては、再生時の音飛びが発生する場合があります。いったん音楽データを削除してから、再度録音してください。 ●改善されない場合は、本機またはSDフォーマッターでSDカードを初期化し、再度録音してください。 なお、初期化するとデータはすべて消去されます。必要なデータはあらかじめパソコンにバックアップを取ってください。	107, 113 175, 200
	●それでも改善されない場合は、転送速度の速いSDカードに変更してください。	—
表示		
録音した音楽CDのアルバム名や曲名が表示されない	新譜などのため、Gracenote データベースにタイトル情報が無い。 ●スマートフォンでオンライン検索してください。	112

オーディオ [iPod]

症状	原因 / 対処	ページ
動作		
iPod が正しく動作しない	iPod が正しく認識されていない。 ●接続を確認してください。 ●iPod をリセットしてから再接続してください。	120 —
	iPod が古い。 ●適合機種をご確認ください。 ●最新のOSバージョンを確認してください。	120 —

オーディオ [レコーダーリンク]

CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786 W のみ

症状	原因 / 対処	ページ
接続		
レコーダーと接続できない	スマートフォンが本機とBLUETOOTH接続およびWi-Fi接続されていない。 ●ヘッダーのステータスバー表示から、BLUETOOTHとWi-Fiの接続状態を確認してください。	48
	本機とスマートフォンとの通信が安定していない。 ●アプリで、スマートフォンと本機の接続をいったん解除し、再度接続してください。	125
	アプリのレコーダー登録の登録期限(3か月)が過ぎた。 ●自宅で、アプリからレコーダーの登録を更新してください。	—

故障かな！？と思ったら

オーディオ [レコーダーリンク]

CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W のみ

症状	原因 / 対処	ページ
映像 / 音声		
再生が安定しない (止まる・途切れるなど)	スマートフォンの通信圏外や電波の弱い地域で使用している。 ●電波の強い場所に移動してお使いください。 ●映像再生画質を下げたり、映像再生バッファサイズを「最大」に設定すると、再生が安定する場合があります。	— 127
	自宅のレコーダーまたは本機と接続しているスマートフォンの通信速度が十分でない。 ●レコーダーリンクで安定した通信をするために必要な通信速度で通信されていることを確認してください。	124
	GPS信号を受信していない。 ●GPS信号を受信しないと、レコーダーリンクを利用できません。 GPS信号の受信状態を確認してください。	25

BLUETOOTH

対応スマートフォンは、Web サイトでご確認ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

- スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- 動作確認の対象は、国内3キャリア (docomo, au, SoftBank) の製品です。
一部、料金プランによってはスマートフォンの動作が変わるため対象外となる場合があります。
- すべての音楽再生アプリ、通話アプリでの動作を保証するものではありません。ハンズフリーは、通常の音声通話のみ動作を保証しております。

症状	原因 / 対処	ページ
登録		
スマートフォンを本機に 機器登録できない	スマートフォンを操作して、BLUETOOTHをONに設定してください。	—
	本機のBLUETOOTH機能をONに設定してください。	33
	A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応したスマートフォンを登録してください。	—
	HFP(Hands-Free Profile)に対応したスマートフォンを登録してください。	—
スマートフォンを本機に機器登録できない	スマートフォンのファームウェア (ソフトウェア) を最新にすると、登録できるようになる場合があります。	—
音声		
音質が悪い (音がひずむ・ ノイズが発生する)	本機の近くに、他のスマートフォンや2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	206 —
	スマートフォンの電池残量が少ない場合は、充電してください。	—
接続		
本機に接続できない	スマートフォンが本機に機器登録されていない。 ●機器登録してください。	32
	本機に対応したプロファイルでないと、本機と接続できません。 ●プロファイルを確認してください。	206
	スマートフォンを本機に近づけてください。	—


BLUETOOTH

症 状	原 因 / 対 処	ページ
本機に接続できない	見通しの良い状態でスマートフォンとの通信を行ってください。障害物等の影響で通信距離が短くなるおそれがあります。特に金属や人体（ポケットなどに入れている時など）に近接すると途切れたり通信不能になる場合があります。	—
	BLUETOOTH対応の周辺機器（ヘッドフォン等）や無線LAN、その他無線機器などの電波を発する機器が多い環境、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信不能になる場合があります。	—
	自動的にペアリング情報が削除された。 ●本機からスマートフォンの登録を削除し、スマートフォンの登録機器リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。	32,33
	自動接続が完了していない。 ●スマートフォンが本機と自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。	—
登録したスマートフォンが自動的に本機と再接続されない	本機およびスマートフォンのBLUETOOTH機能をONにしてください。	—
	スマートフォンが省電力モードに設定されている。 ●一定時間経過後に自動的にBLUETOOTH接続が解除される場合があります。スマートフォンの設定を変更してください。	—
	スマートフォンを操作して、本機とのBLUETOOTH接続を解除した。 ●再度本機とBLUETOOTH接続してください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からスマートフォンの登録を削除し、スマートフォンの登録機器リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。	32 32,33
	スマートフォンが操作待ちになっている。（機種によっては、本機からのBLUETOOTH接続に対し、確認操作が必要なものがあります。） ●スマートフォンを操作してBLUETOOTH接続を許可してください。	—
	本機の近くに、他のスマートフォンや2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	206 —
	スマートフォンが金属物に触れている場合は、離してください。	—
	スマートフォンと本機の間には障害物がある場合は、取り除いてください。	—
	スマートフォンを本機に近づけてください。	—
	BLUETOOTHによる自動接続に失敗した。 ●いったんスマートフォンの電源を切り、再度電源を入れてください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からスマートフォンの登録を削除し、スマートフォンの登録機器リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。	— 32,33
	スマートフォンがBLUETOOTH接続待機状態になっていない。 ●スマートフォンがBLUETOOTH接続待機状態でないと、本機とBLUETOOTH接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。	—
	スマートフォンが自動接続に対応していない。 ●本機から手動で接続してください。	32
スマートフォンがハンズフリー接続待機状態になっていない。 ●スマートフォンがハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。	—	

BLUETOOTH

症状	原因/対処	ページ
スマートフォン連携		
「NaviCon®」のデータを本機で取得できない	スマートフォンが本機に正常に接続されていない。 ●BLUETOOTH接続状態を確認してください。 ●スマートフォンをハンズフリー接続してください。 ●BLUETOOTH接続をいったん解除してから、再接続してください。	— 32,33 32,33
スマートフォンアプリを終了してもBLUETOOTH接続が解除されない	手動でBLUETOOTH接続を解除してください。	33
スマホ連携の接続が完了しない	接続をいったん中止し、再接続してください。	32,33
スマホ連携の切断が完了しない	スマートフォンを操作して切断してください。	—
ハンズフリー通話		
電話帳や発信履歴が表示されない	機器や電波の状況によっては、ハンズフリー接続後の電話帳と発信履歴の転送に時間がかかる場合があります。 ●本機のBLUETOOTH機能をOFFにして、再度ONにしてください。 ●それでも表示されない場合は、スマートフォンとハンズフリー接続したままの状態で車のエンジンを止め(ACC OFF)、ボタン照明が消えて約10秒経過してから再度エンジンをかけてください。	33 —
本機に機器登録されたスマートフォンでハンズフリー通話できない	通話がスマートフォンに切り替わっている。 ● ハンズフリー切替 を選択し、ハンズフリー通話に切り替えてください。	141
	スマートフォンのサービス圏外で使用している。 ●サービス圏内で使用してください。	—
	BLUETOOTHによる接続がされていない。 ●再接続してください。	32,33
	スマートフォンがマナーモードになっている。 ●機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音が出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。	—
ハンズフリー通話中、エコーやハウリングが起こる	ハンズフリー受話音を下げてください。	26
通話中、相手の音声聞き取りにくい	自分と相手が同時に発声した。 ●交互に話してください。	—
	ハンズフリー受話音を上げてください。	26
着信履歴から発信できない	番号非通知の相手にかけようとした。 ●番号非通知の相手には発信できません。	—
	国際電話の着信履歴から発信しようとした。 ●スマートフォンの契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。	—
	スマートフォンの機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。 ●スマートフォンの着信履歴から直接発信してください。	—
通話音量が大きすぎる・小さすぎる/通話しづらい	マイクと話者の距離が近いまたは離れている。 ●適切な距離でお話してください。	16,17
	エアコンの送風音をマイクが拾っている。 ●エアコンの送風を弱くするか、止めてください。	—

BLUETOOTH

症 状	原 因 / 対 処	ページ
スマートフォンの通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り替わる / 本機と接続中、スマートフォンで通話できない	機種によっては、BLUETOOTHにより接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。 ●スマートフォンで通話するときは、スマートフォンを操作して本機とのBLUETOOTH接続を解除してください。	—
走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された	スマートフォンの電波が弱い。 ●電波の状態が良い場所でご使用ください。	—
電話帳転送ができない	スマートフォンがPBAP(Phone Book Access Profile)に対応していないと、電話帳転送できません。	—
BLUETOOTH Audio		
BLUETOOTH Audio画面から操作できない(再生はできる)	スマートフォンがAVRCP(Audio/Visual Remote Control Profile)に対応していない。 ●AVRCPに対応していないと、本機から操作できません。スマートフォンで操作してください。(機種によっては、AVRCPに対応していても一部の操作ができない場合があります。)	—
再生できない	接続機器や音楽再生アプリによっては、本機での操作を受け付けられない場合があります。 ●本機画面の  を押しても再生できない場合は、接続機器側の再生ボタンを押すことで、再生できる場合があります。	—
音量が小さい	スマートフォンの音量を調整してください。	—
音質が悪い(音がひずむ、音が途切れる、ノイズが発生する)	スマートフォンを本機に近づけてください。 スマートフォンで不要なアプリが起動している場合は、終了してください。	—
その他		
P. 184~187の処置をしても問題が解決しない/ その他の問題がある	いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。	—
	いったんスマートフォンの電源を切り、再度電源を入れてください。	—
	機器登録を削除し、再登録してください。	32,33
	それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—

音声認識

CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W のみ

症 状	原 因 / 対 処	ページ
動 作		
音声認識を起動できない	スマートフォンを本機とWi-Fi接続してください。	34
サーバーへの接続が失敗する	スマートフォンの電波状況によりサーバーに接続できなくなることがあります。 ●場所を移動して、電波状況の良い場所でご使用ください。 ●しばらくしてから接続を行ってください。	— —
誤認識が多い	車の窓を閉め、同乗者に会話を控えてもらい、適正な音量ではっきり発声してください。 効果音が鳴ってから、続けて発声してください。	65 —
音声認識に失敗する	声小さすぎると認識されません。適正な音量ではっきり発声してください。	65
	マイクと話者の距離が近いまたは離れている。 ●適切な距離でお話してください。	16,17

故障かな!?と思ったら

音声認識

CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W のみ

症状	原因 / 対処	ページ
音声が出ない	本機の音量が小さい場合は、音量を調整してください。	26

Wi-Fi

症状	原因 / 対処	ページ
動作		
スマートフォンを本機に機器登録できない	本機のWi-Fi機能がOFFになっている(Wi-Fi設定のON/OFF)。 ●本機のWi-Fi機能をONに設定してください。	35
	スマートフォンのテザリングモードがOFFになっている。 ●スマートフォンを操作してWi-Fiテザリング(APモード)を設定してください。	—
	スマートフォンがテザリングに対応してない。 ●本機でWi-Fi機能はご使用になれません。	—
登録したスマートフォンが自動的に本機と再接続されない	本機およびスマートフォンのWi-Fi機能を有効にしてください。	35
	スマートフォンを操作してWi-Fiテザリング(APモード)を設定してください。	—
本機に接続できない	スマートフォンが本機に機器登録されていない。 ●機器登録してください。	34
	●ステータスバーのWi-Fiの接続状態を確認してください。	48

HDMI

CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W のみ

症状	原因 / 対処	ページ
映像 / 音声		
音声が出ない	本機と接続した機器が、本機以外の機器とBLUETOOTH接続している。 ●本機以外の機器とのBLUETOOTH接続を解除してください。	—
映像が出ない	正しく接続されていない。 ●接続を確認してください。特に、スマートフォンを本機とHDMIで接続している場合は、変換アダプタが正しく接続されていない場合があります。	168

ドライブレコーダー

症状	原因 / 対処	ページ
動作		
ドライブレコーダーで録画できない	ドライブレコーダー接続設定が「OFF」に設定されている。 ●「ON」に設定してください。	164
後方の映像を録画できない 3 CH 2 CH	ドライブレコーダーリヤカメラ録画が「しない」に設定されている。 ●本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行うと、ドライブレコーダーリヤカメラ録画の設定が「しない」になります。「する」に設定しなおしてください。	165
車内の映像を録画できない 3 CH	車内カメラ録画が「OFF」に設定されている。 ●本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行うと、車内カメラ録画の設定が「OFF」になります。「ON」に設定しなおしてください。	165

* 「設定を初期化する」(P. 164) および 「出荷状態に戻す」(P. 175)

ソフトウェア・地図更新

症状	原因/対処	ページ
動作		
地図を更新できない	<p>本機がGPSを受信していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● GPS信号を受信していることを確認してください。 ● 本機がGPS信号を受信している状態で更新作業をしてください。 	25 —
スマホアプリから更新データを送信できない	<p>CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W のみ</p> <p>更新用SDカード*1が本機に挿入された状態でスマートフォンからソフトウェア・地図データを更新しようとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 更新用SDカード*1を取り出し、再度スマートフォンから更新してください。 <p>* 1 SDカードでの更新については、P.176をご覧ください。</p>	154
	<p>CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W のみ</p> <p>完了していない更新データがある状態で、ソフトウェア・地図更新しようとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前回行った更新を完了させてから、再度ソフトウェア・地図更新をしてください。 	154

こんなメッセージが出たときは

文章中で画面に表示される、主な確認/エラーメッセージの例です。
エラーメッセージが表示された場合は、処置の説明に従ってください。

メッセージ	内容
か	
更新が中断されました。	<p>CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W のみ</p> <p>本機に送信した更新データと本機の情報が合っていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いったん本機とスマートフォンのWi-Fi接続を解除して、再度Wi-Fi接続してください。(P.35)スマートフォンアプリ「ナビアップS」を起動して「同期されました」と表示されたら、更新データのダウンロードからやりなおしてください。(P.154)
このファイルは再生できません。	<p>再生できない形式の音楽データを再生した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ファイルを確認してください。
このSDカードは書き込み禁止です。	<p>SDカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 書き込み禁止スイッチを解除してください。
さ	
再生可能なファイルがありません。	<p>異常のある動画を再生した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ファイルを確認してください。 <p>再生できるファイルが無い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 再生できるファイルのあるメディアを挿入してください。
車速信号が検出できません。 車速信号コードの接続をご確認ください。	<p>お買い上げの販売店に依頼し、車速信号コードまたは車速信号中継コードの接続を確認してください。</p>
車両信号設定、カメラ設定に誤りがある可能性があります。もしくは車両信号の受信ができません。	<p>お買い上げの販売店に依頼し、車両信号とカメラの設定を確認してください。</p>
受信できません (0020)	地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが低い。
受信できません (E202)	地上デジタル放送/ワンセグの電波を受信できていない。
受信できません (E203)	地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが非常に低い。 放送休止のチャンネルを見ている。

故障かな!?と思ったら 困ったとき

故障かな！？と思ったら

こんなメッセージが出たときは

メッセージ	内容
情報を受信していません。	VICS情報が無い。 ●FM VICSチューナーの周波数設定を確認してください。
走行中はスクロールできません。	市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。 パーキングブレーキをかけているにもかかわらず、メッセージが表示される場合は、サイドブレーキコードが正しく接続されていない。 ●お買い上げの販売店に依頼し、サイドブレーキコードの接続を確認してください。
挿入されたディスクの再生ができません。	ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ディスクが音楽用でない、録音されていない。 ディスクに傷が付いている。 再生できないディスクを使用している。(P.197) ●ディスクを確認してください。
た	
地図/ソフトウェアの更新ができませんでした。 再度更新処理を行ってください。	CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W のみ スマートフォンを利用したソフトウェア・地図の更新に失敗した。 ●スマートフォンのデザリングをOFFにし、再度ONにしてスマートフォンと本機をWi-Fi接続してください。(P.34) スマートフォンで地図更新アプリを起動して「同期されました」と表示されたら、更新データのダウンロードからやりなおしてください。(P.154) パソコンを利用したソフトウェア・地図の更新に失敗した。 ●再度、更新用SDカードの作成からやりなおしてください。
電源を入れ直してください。	アンブに異常が発生した。 ●いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。
電話帳データの件数が多すぎます。 最大2000件の電話帳データを読み込むことができます。	アドレス帳を、最大保存可能件数まで保存した。 ●これ以上保存できません。不要なアドレス帳を削除してください。
同期できませんでした。しばらくお待ちいただき、再度Wi-Fi接続してください。	CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W のみ ソフトウェア・地図の更新に失敗した。 ●スマートフォンのデザリングをOFFにし、再度ONにしてスマートフォンと本機をWi-Fi接続してください。(P.34)スマートフォンアプリ「ナビアップS」を起動して「同期されました」と表示されたら、更新データのダウンロードからやりなおしてください。(P.154)
は	
配線の不良または機器の故障の可能性があります。 お買い上げの販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください。	正しく配線されていない。または本機が故障している。 ●配線やスピーカーに異常が無いか、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●配線やスピーカーに異常が無い場合は、本機が故障している可能性があります。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
本機に接続しているiPod/USB接続用中継ケーブルに異常がありました。 ケーブルにキャップをした後、電源を入れ直してください。	ケーブルが金属物に触れている。 ●金属物から離してください。 接続している機器やiPod / USB接続用中継ケーブルに異常が無いことを確認してください。 ●それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

こんなメッセージが出たときは

メッセージ	内容
ら	
ルート探索ができません。	極端に長い道のりのルートを探そうとした。 ●目的地、経由地を近くに設定して、もう一度ルートを探してください。
録音可能な容量を超えました。 これ以上録音できません。	SDカードに十分な空き容量が無い。 ●不要な音楽データを削除してください。
録音できませんでした。 SDカードを確認し、再度録音してください。	SDカードが本機に挿入されていない。 ●SDカードを本機に挿入してください。
アルファベット	
SDカードの書き込みができませんでした。 SDカードを確認してください。	SDカードの書き込み禁止スイッチがロック側 (LOCK) になっている。 ●書き込み禁止スイッチを解除してください。
記号	
⊖	ディスクまたは本機で禁止されている操作です。

ドライブレコーダー ナビ連動用 (別売品)

メッセージ	内容
あ	
映像の一覧が読み込めませんでした。	ドライブレコーダーで使用している microSD カードのデータを読み込めなかった。 ●再度、同じ操作をしても問題が解消されない場合は、本機を操作して microSD カードを初期化してください。(P. 164)
映像を削除できませんでした。	ドライブレコーダーで使用している microSD カードのデータを削除できなかった。 ●再度、同じ操作をしても問題が解消されない場合は、本機を操作して microSD カードを初期化してください。(P. 164)
か	
このファイルはドライブレコーダーで録画されたファイルではないため再生できません。	本機では再生できないファイルを再生しようとした。 ●再生可能な次のファイルへスキップします。
さ	
車内カメラとの接続を確認してください。 3 CH	ドライブレコーダーと車内カメラの接続に異常がある。 ●ドライブレコーダーと車内カメラの接続を確認してください。
た	
調整できませんでした。 平らな場所に停車し、やり直してください。	ドライブレコーダーのセンサー調整が必要です。 ●ドライブレコーダー本体を正しく取り付けした後、水平で平らな振動の少ない場所に停車している状態でセンサー調整を実施してください。(P. 164)
ドライブレコーダーが高温のため動作できません。 温度が下がると動作を再開します。	ドライブレコーダーの内部温度が正常に戻るまでお待ちください。 ●問題が解消されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーが動作できません。	車のエンジンを切り、再度エンジンをかけると、改善される場合があります。 ●エンジンを再始動しても改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

故障かな！？と思ったら

こんなメッセージが出たときは

メッセージ	内容
ドライブレコーダーで記録可能な領域が少ないためこれ以上、手動での録画ができません。 ドライブレコーダーのSDカードの内容を確認し手動録画や保存フォルダ内の不要な映像を削除したり大切な映像はパソコンに移動してください。	microSDカードの空き容量が少ないため、録画できない。 ●手動録画した映像ファイルを削除してください。 削除したくない大切な映像は、パソコンなどに移動してください。
ドライブレコーダーとの接続を確認してください。	車のエンジンを切り、再度エンジンをかけると、改善される場合があります。 ●エンジンを再始動しても改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーにSDカードが挿入されていません。 SDカードを挿入してください。	ドライブレコーダー本体にmicroSDカードが正しく挿入されていない、または未挿入です。 ●microSDカードが正しく挿入されていることを確認してください。
ドライブレコーダーのSDカードの交換時期になりました。 新しいSDカードへの交換をお勧めします。	microSDカードには寿命があります。 ●新しいmicroSDカード(ドライブレコーダー用として別売設定されているmicroSDカード)に交換してください。
ドライブレコーダーのSDカードのパフォーマンスが低下しています。 大切な映像をパソコンに移動したあと、SDカードの初期化をしてください。	microSDカードのデータをパソコンなどに移動してから、本機でmicroSDカードを初期化してください。(P.164)
ドライブレコーダーのフロントカメラとの接続を確認してください。	ドライブレコーダーとフロントカメラの接続に異常がある。 ●ドライブレコーダーとフロントカメラの接続を確認してください。
ドライブレコーダーの録画ができません。 ドライブレコーダーのSDカードを確認してください。	microSDカードを確認してください。 付属または使用可能なmicroSDカード(ドライブレコーダー用として別売設定されているmicroSDカード)を使用してください。
は	
保存フォルダへ移動できません。 ドライブレコーダーのSDカードの内容を確認し保存フォルダ内の不要な映像を削除したり大切な映像はパソコンに移動してください。	記録できるファイル数の上限に達した。 ●保存フォルダ内の映像ファイルを削除してください。 削除したくない大切な映像は、パソコンなどに移動してください。
5	
リアカメラに切り替えることができません。 ドライブレコーダーの設定を確認してください。 3 CH 2 CH	ドライブレコーダーリアカメラ録画の設定が「しない」に設定されている。 ●本機を工場出荷状態に戻すと、ドライブレコーダーリアカメラ録画の設定が「しない」になります。「する」に設定しなおしてください。 (P.165)
アルファベット	
SDカードの初期化ができませんでした。 ドライブレコーダーのSDカードを確認してください。	再度、microSDカード初期化の実施が必要です。 ●本機を操作してmicroSDカードの初期化してください。(P.164)

本体リセット機能について

画面が正しく表示されない、操作しても反応しないなど正常に動作しないときは、いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。

それでも正常に戻らない場合は下記の操作で本体リセットを行い、再起動させてください。

AUDIO を約 15 秒以上押す

- バッテリー交換時と同様に一部の設定が初期化されます。(P.175)
- セキュリティコードを設定している場合、本体リセットを行うと再起動時にセキュリティコード入力画面が表示されます。(P.37)

結露について

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、本機内部のピックアップレンズやディスクに露(水滴)が生じることがあります。正常な動作をしない場合には、ディスクを取り出して、1時間ほど放置してください。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ピックアップレンズについて

長期間使用すると、空気中やディスクに積もった細かいほこりまたはゴミが付着し、汚れてしまいます。

- ディスクの読み込みがよくない場合には、まず、ディスクの汚れを確認してください。
- それでも改善されない場合は、レンズの交換修理が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。保証期間後の修理は、有償です。

汚れを防ぐために

ディスクを使用する前など、ときどきディスクの表面のほこりやゴミ、指紋などを取り除いてください。

- ディスクを使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。

お願い

- レンズクリーナーディスクはレンズに損傷を与え、故障の原因となりますので、使用しないでください。

文字入力のしかた

- 入力できる文字の種類は、機能によって異なります。

例：名称検索 (P.60) で入力できるのは「ひらがな」のみ、など

かな・漢字を入力する



- ① キー配列をスマホ風に切替
- ② 記号・顔文字入力に切替
- ③ 濁音・半濁音・促音・拗音に切替
- ④ 入力(かな・英数・10キー)を切替
- ⑤ カーソルを左右に移動
- ⑥ 1文字削除
- ⑦ スペースを入力
- ⑧ 長音記号を入力
(タッチし続けると、記号入力)
- ⑨ 入力した内容に決定

変換のしかた

1 文字(ひらがな)を入力する

2 候補から、文字を選ぶ

- ▼: すべての候補の一覧を表示



英数字を入力する



- ① キー配列を切替
(QWERTY/アルファベット順/スマホ風)
- ② 記号・顔文字入力に切替
- ③ 大文字/小文字を切替
- ④ 入力(かな・英数・10キー)を切替
- ⑤ カーソルを左右に移動
- ⑥ 1文字削除
- ⑦ スペースを入力
- ⑧ @ (タッチし続けると、記号入力)
- ⑨ 入力した内容に決定

10キーで数字を入力する



- ① 記号・顔文字入力に切替
- ② 入力(かな・英数・10キー)を切替
- ③ カーソルを左右に移動
- ④ 1文字削除
- ⑤ スペースを入力
- ⑥ 入力した内容に決定

文字入力のしかた
必要なとき

記号を入力する



① 記号のリストを切替

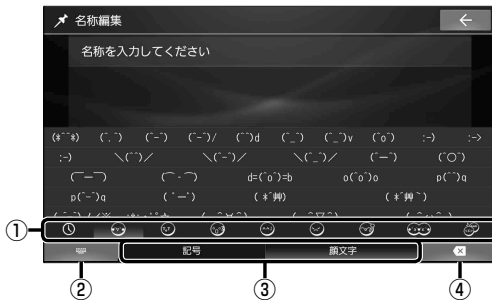
- ⌚: 入力履歴
- !?: 一般
- []: 括弧
- ↔: 矢印
- ◆: マーク
- ①: 数字
- 💵: 通貨

② 元のキーボードに戻る

③ 記号/顔文字に切替

④ 1文字削除

顔文字を入力する



① 顔文字のリストを切替

- ⌚: 入力履歴
- 😊: ハッピー
- 😞: 悲しい
- 😮: びっくり
- 😓: 困る
- 😡: 怒る
- 💕: あいさつ
- 💞: ラブ・友情
- 🐾: 動物・キャラクター

② 元のキーボードに戻る

③ 記号/顔文字に切替

④ 1文字削除

スマホ風のキー配列に切り替えてかな・漢字・英数字を入力する

■ かな入力画面(例)



① キー配列を切替

(切り替わりかたは文字の種類によって異なります。)

② 記号・顔文字入力に切替

③ 入力(かな・英数・10キー)を切替

④ カーソルを左右に移動

⑤ 1文字削除

⑥ スペースを入力

⑦ 入力した内容に決定

スマートフォンのタッチ入力・フリック入力と同じ感覚で入力できます。

- 同じタッチキーを繰り返しタッチすると、段(あ→い→う→え→お)が切り替わります。
- 「あ」の段の文字を続けて入力する場合(例:「ささやま」など)、1文字入力した後に を選びカーソルを移動させてから、2文字目を入力してください。

ディスクについて

本機で再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。

ディスク	フォーマット	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3* ³	WMA* ³
DVD		○	—	—	—	—
DVD-R/RW* ¹		○	○	—	—	—
CD		—	—	○	—	—
CD-R/RW* ²		—	—	○	○	○

* 1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

* 2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

* 3 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Lossless、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。
- 市販のディスクでも、品質状態によって正常に再生できない場合があります。

DVD-R/RW・CD-R/RW について

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- レコーダーで記録したディスクは、その特性・汚れ・指紋・傷などにより、再生できない場合があります。
- 通常のDVD、音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク（CD-Extra、CD-DAとMP3/WMAが混在したディスクなど）は、正常に再生できない場合があります。また、パケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワンスをおすすめします。
- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- DVD-RW、CD-RWは、挿入してから再生が始まるまで、通常のディスクと比べて時間がかかる場合があります。
- MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
- 片面2層のDVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。

CD について

- コピーコントロールCD（パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CD）は、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。

ディスクに記載されているマークについて

■ リージョン番号

- 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号。ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。
- 製作者の意図により特定の地域・国で再生不可と認定されているディスクは、再生できない場合があります。
 - 本機のDVDのリージョン番号は、「2」です。「2」（2を含むもの）または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



■ 字幕言語数



■ 音声言語数



■ アンゲル数



■ 画面サイズ(横:縦の比)*1

4:3:4:3の標準サイズ

LB:4:3のレターボックス

16:9 LB:16:9のワイドサイズ

- 画面サイズが標準(4:3)のときは、レターボックスで再生されます。

16:9 PS:16:9のワイドサイズ

- 画面サイズが標準(4:3)のときは、パン&スキャンで再生されます。

*1 映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

再生できないディスク

- 8 cmディスク*1
- NTSC以外の方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたDVD
- ファイナライズされていないDVD-R/RW
- クローズセッションされていないCD-R/RW
- Blu-ray Disc™
 - DVD+R
 - DVD+RW
 - DVDオーディオ
 - DVD-RAM
 - CD-ROM
 - フォトCD
 - CD-G
 - ビデオCD
- BD-R
- BD-RE
- Ultra HD Blu-ray™
- Blu-ray 3D™
- BDXL™
- BD-ROM
- DVD-ROM
- AVCHD形式、AVCREC形式のDVD-R/RW
- カートリッジ付きBD-RE(Ver. 1.0)
- CDV
- SVCD
- SACD
- CD-EXTRA*2
- VSD
- CVD
- DTS-CD
- DualDisc*3
- HD DVD-Video
- HD DVD-R
- HD DVD-RW
- HD DVD-ROM
- HD DVD-RAM
- MQA-CD

など

*1 シングルアダプターも使用できません。無理に挿入しないでください。故障の原因となります。

*2 ファーストセッションが音楽データ(CD-DA)の場合は、再生できます。

*3 ディスクに傷が付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなるおそれがあります。

ディスクについて

ディスクの取り扱い

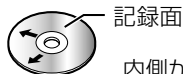
■ 持ちかた

記録面に触れないように持つ



■ ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭く



内側から外側へ拭く

- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

■ 長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミなどの汚れや傷・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

■ 次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光の当たるところ(車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

下記のようなディスクは使用しないでください

本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク



シールやテープ、のりが付着している



プロテクトフィルム、保護シート



プリンターで作成したラベル



ディスクアクセサリー
(スタビライザーなど)

破損・変形したディスク



そっている



ひびや傷がある・欠けている

透明なディスク



全体が透明



一部が透明

円形以外の特殊な形状のディスク



ハート形



三角形



カード型



バリがある

DVD 言語コード一覧表

下記の言語コードは、本機でのみ有効です。

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1027	アフアル語	1253	アイスランド語	1501	サンゴ語
1028	アフバシ語	1254	イタリア語	1502	セルビアクロアチア語
1032	アフリカーンス語	1257	ヘブライ語	1503	シンハラ語
1039	アムハラ語	1261	日本語	1505	スロバキア語
1044	アラビア語	1269	イディッシュ語	1506	スロベニア語
1045	アッサム語	1283	ジャワ語	1507	サモア語
1051	アイマラ語	1287	グルジア語	1508	ショナ語
1052	アゼルバイジャン語	1297	カザフ語	1509	ソマリ語
1053	バシキール語	1298	グリーンランド語	1511	アルバニア語
1057	ベラルーシ語	1299	カンボジア語	1512	セルビア語
1059	ブルガリア語	1300	カナダ語	1513	シスワティ語
1060	ビハーリー語	1301	韓国語	1514	セストゥ語
1061	ビスラマ語	1305	カシミール語	1515	スندا語
1066	ベンガル、バングラ語	1307	クルド語	1516	スウェーデン語
1067	チベット語	1311	キルギス語	1517	スワヒリ語
1070	ブルトン語	1313	ラテン語	1521	タミール語
1079	カタロニア語	1326	リンガラ語	1525	テルグ語
1093	コルシカ語	1327	ラオス語	1527	タジク語
1097	チェコ語	1332	リトアニア語	1528	タイ語
1103	ウェールズ語	1334	ラトビア、レット語	1529	ティグリニャ語
1105	デンマーク語	1345	マダガスカル語	1531	トゥルクメン語
1109	ドイツ語	1347	マオリ語	1532	タガログ語
1130	ブータン語	1349	マケドニア語	1534	セツワナ語
1142	ギリシャ語	1350	マラヤーラム語	1535	トンガ語
1144	英語	1352	モンゴル語	1538	トルコ語
1145	エスペラント語	1353	モルダビア語	1539	ツォンガ語
1149	スペイン語	1356	マラータ語	1540	タタール語
1150	エストニア語	1357	マレー語	1543	トウィ語
1151	バスク語	1358	マルタ語	1557	ウクライナ語
1157	ベルシャ語	1363	ミャンマ語	1564	ウルドゥー語
1165	フィンランド語	1365	ナウル語	1572	ウズベク語
1166	フィジー語	1369	ネパール語	1581	ベトナム語
1171	フェロー語	1376	オランダ語	1587	ボラビュク語
1174	フランス語	1379	ノルウェー語	1613	ウォロフ語
1181	フリジア語	1393	プロバンス語	1632	コーサ語
1183	アイルランド語	1403	(アフアン)オロモ語	1665	ヨルバ語
1186	スコットランドゲール語	1408	オリヤー語	1684	中国語
1194	ガルシア語	1417	パンジャブ語	1697	ズール語
1196	グアラニ語	1428	ポーランド語		
1203	グジャラート語	1435	パシュトー語		
1209	ハウサ語	1436	ポルトガル語		
1217	ヒンディー語	1463	ケチュア語		
1226	クロアチア語	1481	ラエティ=ロマン語		
1229	ハンガリー語	1482	キルンディ語		
1233	アルメニア語	1483	ルーマニア語		
1235	国際語	1489	ロシア語		
1239	国際語	1491	キニヤルワンダ語		
1245	Inupiak 語	1495	サンスクリット語		
1248	インドネシア語	1498	シンド語		

SDカード・USBメモリーについて

本機で使用できる SD カード

- SDXCカード(2 TB以下)*¹
- SDHCカード(32 GB以下)*¹
- SDカード(2 GB以下)
- microSDXCカード(2 TB以下)*^{1*2*3}
- microSDHCカード(32 GB以下)*^{1*2}
- microSDカード(2 GB以下)*²
- miniSDカード(2 GB以下)*²

* 1 SD規格準拠カードのみ使用できます。

* 2 カードをSDカード挿入口へ挿入するときは、必ず市販のSDカード変換アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

* 3 microSDカード挿入口では使用できません。

※ 本書では特にことわりの無い限り、SD規格に準拠したメモリーカードを「SDカード」と表記しています。ただし、microSDカードと記載している場合は、microSDXCカード/microSDHCカード/microSDカードを指します。miniSDカードと記載している場合は、miniSDカードを指します。

お願い

- SDカードは、使用する前に本機で初期化してください。(P.175)
またはパソコンでSDカードフォーマッターを使って初期化してから使用してください。SDフォーマッターについては、下記サイトをご覧ください。
<https://www.sdcard.org/ja/downloads-2/formatter-2/>

お知らせ

- 規格に準拠したSDカードでも、本機では使用できない場合があります。
- 無線LAN内蔵のSDカードは使用できません。

本機で使用できる USB メモリー

- USB マスストレージ規格準拠
- 容量: 32 GB以下
- ファイルシステム: FAT 16、32、exFAT
- USBコミュニケーションフォーマット: USB2.0

- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- 規格に準拠したUSBメモリーでも、本機では使用できない場合があります。

SDカード・USBメモリーの取り扱いについて

- 読み書きしているときに下記のことはしないでください。
SDカードを取り出す/USBメモリーを取り外す/電源を切る
- SDカード・USBメモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- 長時間使用すると、SDカード・USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDカード・USBメモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。
- SDカード・USBメモリーが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- メディアの破損やデータの変化・消失による損害に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- SDカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDカードに貼られているラベルをはがさないでください。
- SDカードにシールやラベルを重ねて貼り付けしないでください。
- SDカードは、本機から取り出したら、必ずケースに収納してください。

データ作成時の留意点

本機で再生できる音楽データについて

本機は、CD-R/RW、SDカードまたはUSBメモリーに保存した音楽データを再生できます。以下の規格から外れたファイルは、再生できなかったり、再生できても音飛びしたり、映像が表示されない可能性があります。

■ MP3

項目	内容
規格	MEPG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3
拡張子	mp3、MP3
ビットレート	●MEPG-1 Audio Layer3 32 kbps / 40 kbps / 48 kbps / 56 kbps / 64 kbps / 80 kbps / 96 kbps / 112 kbps / 128 kbps / 160 kbps / 192 kbps / 224 kbps / 256 kbps / 320 kbps / VBR ●MPEG-2 Audio Layer3 8 kbps / 16 kbps / 24 kbps / 32 kbps / 40 kbps / 48 kbps / 56 kbps / 64 kbps / 80 kbps / 96 kbps / 112 kbps / 128 kbps / 144 kbps / 160 kbps / VBR ※ free format bitstream / forbiddenは非対応
サンプリング周波数	●MEPG-1 Audio Layer3 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz ●MPEG-2 Audio Layer3 8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz
チャンネル数	2 CH、1 CH (Stereo / Joint Stereo / Dual Channel / Single Channel)
タグ情報	ID3タグVer.1 (Ver.1.0 / Ver.1.1)、ID3タグVer.2 (Ver.2.2 / Ver.2.3 / Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名

● プレイリストフォーマット (SD、USBのみ)

項目	内容
フォーマット	M3U
拡張子	m3u、m3u8
記述方式	絶対パス、相対パス

■ WMA

項目	内容
規格	Microsoft Windows Media® Audio Decoder Ver.8 / Ver.9 std / Ver.9 Lossless / Ver.10 pro 2 CH準拠
拡張子	wma、WMA
ビットレート	CBR: 5 kbps ~ 320 kbps VBR: Peak 384 kbps
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
チャンネル数	2 CH、1 CH (Stereo / Mono)
タグ情報	WMAタグ: タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ AAC (SD、USBのみ)

項目	内容
規格	MPEG-4 / AAC LC (Low Complexity)、MPEG-2 / AAC LC (Low Complexity)、HE-AAC Ver.1、HE-AAC Ver.2、Enhanced Low Delay AAC
拡張子	aac、AAC、m4a、M4A ※ iTunes 以外で作成されたファイルは動作保証外 ※ DRM 認証つきファイルは対象外
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps / VBR
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
チャンネル数	2 CH、1 CH (Stereo / Mono)
タグ情報	AACタグ、ID3タグVer.1 (Ver.1.0 / Ver.1.1)、ID3タグVer.2 (Ver.2.2 / Ver.2.3 / Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名

本機で再生できる音楽データについて（続き）

■ FLAC (SD、USBのみ)

項目	内容
規格	FLAC (Free Lossless Audio Codec)
拡張子	flac
量子化ビット	16 bit / 24 bit
ビットレート	最大 9 216 kbps
サンプリング周波数	16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz
チャンネル数	2 CH、1 CH (Stereo / Mono)
タグ情報	タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ WAV (SD、USBのみ)

項目	内容
規格	RIFF waveform Audio Format
拡張子	wav
量子化ビット	16 bit / 24 bit
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz

- MP3iフォーマット/MP3PROフォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- ID3タグ Ver. 1、Ver. 2が混在するMP3ファイルの場合、Ver. 2のタグを優先します。
- WMA Voiceには対応していません。
- FLACファイルは 1 024 から 4 608 のブロックサイズに対応しています。
- WAVファイルはLPCM (整数型)に対応しています。AIFFフォーマット/WAVE64フォーマット/RF64フォーマット/ADPCMフォーマット等には対応していません。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 2 CHを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- クローズセッションしていないディスクは再生できません。
- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACファイルを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで作成されたMP3/WMA/AACファイルを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- ファイル作成の詳細はエンコーダーソフトや使用するオーディオ機器の説明書をご覧ください。
- ファイル作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるデータが作成される場合があります、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。
- エンコーダーの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- 不正なファイル(例えばMP3以外のファイルに“MP3”の拡張子を付けたファイル)は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けしないでください。MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイル以外のファイルや必要の無いフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけられているものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。
- DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
- 著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。

項目	CD-R/RW	SDカード、USBメモリー
最大ファイル数	512	65 535 (プレイリスト、楽曲、映像すべての合計)
最大フォルダ数	255	700 (楽曲、映像すべての合計)
1フォルダ内の最大ファイル数	255 (フォルダ+ファイル合計)	65 535
階層	8	8
使用可能文字	A~Z (全角/半角) 0~9 (全角/半角) _ (アンダースコア) 漢字 (JIS第一水準) ひらがな カタカナ (全角/半角)	

データ作成時の留意点

本機で再生できる動画データについて

本機は、SDカードまたはUSBメモリーに保存した動画データを再生できます。以下の規格から外れたファイルは、再生できなかつたり、再生できても音飛びしたり、映像が表示されない可能性があります。

■ コンテナフォーマット

● MP4

項目	内容
拡張子	mp4、m4v
映像コーデック	MPEG-4 (ISO / IEC 14496 Part.2)、H.264 / MPEG-4 AVC
音声コーデック	MP3、AAC (規格の詳細は音楽データと同じ→P.201)

● AVI

項目	内容
拡張子	avi
映像コーデック	MPEG-4 (ISO / IEC 14496 Part.2)、H.264 / MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC、WMA (規格の詳細は音楽データと同じ→P.201)

● MKV

項目	内容
拡張子	mkv
映像コーデック	MPEG-4 (ISO / IEC 14496 Part.2)、H.264 / MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC (規格の詳細は音楽データと同じ→P.201)

● ASF・WMV

項目	内容
拡張子	asf、wmv
映像コーデック	H.264 / MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	WMA (規格の詳細は音楽データと同じ→P.201)

■ 映像コーデック詳細

● H.264/MPEG-4 AVC

項目	内容	
プロファイル/レベル	BaselineProfile / 3、MainProfile / 3.1	
最大解像度	720 × 480	1 280 × 720
最大ビットレート	10 Mbps	14 Mbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps

● MPEG-4 (ISO/IEC 14496 Part.2)

項目	内容	
プロファイル/レベル	SimpleProfile / 5	
最大解像度	720 × 480	720 × 576
最大ビットレート	8 Mbps	8 Mbps
最大フレームレート	30 fps	25 fps

● VC-1

項目	内容		
プロファイル/レベル	AdvancedProfile / 2	MainProfile / Medium	SimpleProfile / Medium
最大解像度	1 280 × 720	720 × 480	352 × 288
最大ビットレート	20 Mbps	10 Mbps	384 kbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps	15 fps

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート (VBR) で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなる場合があります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコーダーソフトなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- 映像が含まれない動画ファイルは再生できません。
- 著作権保護された動画ファイル (SD-Video 規格など) は再生できません。

項目	SDカード、USBメモリー
最大ファイル数	65 535 (プレイリスト、楽曲、映像すべての合計)
最大フォルダ数	700 (楽曲、映像すべての合計)
1フォルダ内の最大ファイル数	65 535
階層	8
使用可能文字	A~Z (全角/半角) 0~9 (全角/半角) _ (アンダースコア) 漢字 (JIS 第一水準) ひらがな カタカナ (全角/半角)

無線通信について

BLUETOOTH について

- 本機の無線機能の使用周波数帯は2.4 GHz 帯です。変調方式としてFH-SS 変調方式を採用しています。想定干渉距離は10 m 以下です。本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
 - 同じ周波数を使用している他の無線機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。
- 本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)が運用されています。

 - 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
 - 何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。
以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・本機の分解や改造をする
 - ・本機に貼り付けてある製品銘板をはがす
 - 本機はすべてのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
 - 接続する機器はBluetooth SIG, Inc.の定める規格に適合し、認証を取得している必要があります。規格に適合していても、接続する機器の特性や仕様によっては接続できない、表示や動作が異なる、などの場合があります。
 - 使用する環境(車内および車両周辺)によっては、通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
 - 本機との間に障害物があると、通信の状態が不安定になったり接続できない場合があります。
 - ・本機から隠れる場所にある(シートの後ろや下、グローブボックスやコンソールボックスの中など)
 - ・金属製のものに接触している/覆われている、身体に触れている(ポケットの中に入っている)
 - スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
 - 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
 - Wi-Fiと同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。

■ BLUETOOTHの規格とプロフィールについて

対応規格	
Bluetooth Ver. 5.2 +EDR 準拠	
対応プロフィール	本機の機能
HFP (Hands-Free Profile) Ver. 1.7	ハンズフリー通話
PBAP (Phone Book Access Profile) Ver. 1.2	電話帳・発着信履歴の転送および自動転送
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)*1 Ver. 1.3	BLUETOOTH Audio
AVRCP (Audio / Video Remote Control Profile) Ver. 1.6	
SPP (Serial Port Profile) Ver. 1.2	レコーダーリンク*2、NaviCon*、CarAV remote S

* 1 SBC、AACのオーディオコーデックに対応しています。

* 2 **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786 W** のみ

Wi-Fi について

- 本機の無線機能の使用周波数帯は2.4 GHz帯です。変調方式としてDS-SS 変調方式、OFDM変調方式を採用しています。想定干渉距離は40 m以下です。本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 同じ周波数を使用している他の無線機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
 - 何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 本機の分解や改造をする
 - ・ 本機に貼り付けてある製品銘板をはがす
 - 本機は、電気通信事業者(移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ず電気通信事業法の認定を受けた端末設備(ルーター、回線端末装置など)を経由して接続してください。

- 本機はすべてのWi-Fiテザリング対応スマートフォンとのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続する機器はWi-Fi Alliance®の定める規格に適合し、認証を取得している必要があります。規格に適合していても、接続する機器の特性や仕様によっては接続できない、表示や動作が異なる、などの場合があります。
- 使用する環境(車内および車両周辺)によっては、通信速度が低下するなど通信の状態が不安定になることがあります。
- 障害物(壁や床など)があると、通信の状態が不安定になったり接続できない場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
- BLUETOOTH機能と同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- スマートフォンの電池残量低下により、Wi-Fi通信の状態が不安定になることがあります。
- Wi-Fiエリア内から出た場合は、通信が切断されます。
- 使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますので、ご注意ください。
- 通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fiの規格とセキュリティ方式について

対応規格
IEEE 802.11 b/g/n (2.4 GHzのみ)
対応セキュリティ方式
OPEN
WPA 2™ - Personal
WPA 3™ - Personal

テレビ・ラジオの受信について

車で移動して受信するため、家庭用のチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、受信環境や電波状況（電波の強さの変化、障害物、他の電波などの影響）により、最適な受信状態を維持できない場合があります。

- 放送方式（フルセグ/ワンセグなど）や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- 下記のような場所または状況では受信状態が悪くなる場合があります。
 - ・放送局から遠い
 - ・電波が遮られやすい場所（トンネルの中、山の陰やビルの谷間など）
 - ・電車の架線、高圧線、テレビやラジオ放送の送信所、ネオンなどが近くにある
 - ・無線用の送信アンテナが近くにある
 - ・車の電装品（パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなど）が作動している場合
 - ・本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機やアンテナおよびアンテナのコードに近づけた場合
- 受信状態が悪くなったときは次のような現象が起こることがありますが、故障ではありません。
 - ・映像や音声が乱れる（ノイズが発生したり、途切れる）
 - ・静止画面や黒い画面となり音声が出なくなる

お知らせ

- 本機は ARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本製品は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できるコンテンツ権利保護専用方式*¹を採用しているため、B-CASカードを付属していません。

* 1 コンテンツ権利保護専用方式は、地上デジタル放送のコンテンツ保護専用の方式です。
詳しくは、下記サイトをご覧ください。
一般社団法人地上放送RMP管理センター <http://www.trmp.or.jp/>

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートを登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。本書では「ナビゲーション」または「カーナビゲーション」と表記しています。

自転車位置測位の仕組み

本機では、GPS衛星に加え「みちびき」の電波を受信して、自転車の位置を測位します。

※ 本書では特にことわりの無い限り、下記の衛星を「GPS」と表記し、衛星を利用する機能や受信する電波を「GPS情報」「GPS信号」などと総称して表記しています。

■ GPS(Global Positioning System)

アメリカ国防総省によって運用されている衛星測位システムです。

■ 準天頂衛星システム「みちびき」

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、安定した測位を行います。

■ GPS信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

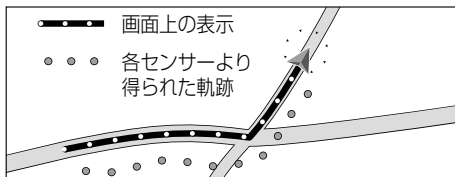
- トンネルの中
- 高層ビルなどの間
- 高架道路の下
- 樹木の間

■ 現在地を測位するまでの時間

通常は、本機を起動してから数分でGPS電波を受信します。ただし、初めてお使いのときや車のバッテリーなど交換後、また長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15分～20分程度かかることがあります(GPS衛星から送られる衛星の軌道データの受信周期により、データの取り込みに時間がかかるため)。走行すると受信や現在地測位に時間がかかるため、受信できるまで走行せずにお待ちください。

■ マップマッチング

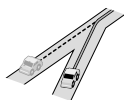
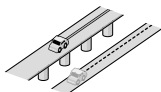
GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路に自転車マークを表示させる機能です。



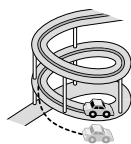
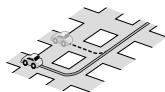
自転車位置精度について

■ 走行環境やGPS衛星の状態により、自転車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- 高速道路と一般道路が近くにある
- 角度の小さなY字路を走行している



- 碁盤目状の道路を走行している
- らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自転車マーク位置は自動的に補正されます。

■ 下記の場合も、自転車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- 車のエンジンスイッチON(電源ON)後、GPS信号を受信できるまで
- 本機を取り付けて初めて走行するとき
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと
- 勾配の急な山岳などを走行しているとき
- 直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
- 道幅の広い道路で蛇行運転したとき
- 駐車するときや渋滞区間を走行中など、低速(数km/h)での走行状態が続くとき(車種によっては車速信号を検出できないことがあるため)
- 雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
- 車のエンジンスイッチOFF(電源OFF)状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき

ナビゲーションシステムとは

自車位置精度について（続き）

■ 衛星側の技術的トラブルや運営機関の事情により、精度が落ちたり電波を利用できなくなることがあります。このようなときは、自車マークがずれる場合があります。

■ 3Dセンサーによる高架判定について

自車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自車位置を測位します。（高架判定）

- 3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で「3D」の学習レベルの状態を確認してください。
- 高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50 km程度の走行を要する場合があります。

- 道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。（道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど）
- 下記の場合には、必ず車両信号情報画面でセンサー学習値初期化を選んでください。（P.29）
 - ・ 別の車に載せかえた
 - ・ 取付位置を変更した
- 3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。（一部地域のみ）

逆走検知警告について

■ 下記のような場合などでは、逆走していても逆走検知警告が案内されないことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるSA・PA、その他特定のSA・PA内を走行しているとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- GPS信号を妨げる障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき

- トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が異なるとき
- 直前に自車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 対面通行など、順走/逆走の判別が困難な道路
- 以前、逆走検知警告が案内された地点で

ここでは案内しないをタッチしていた場合

■ 下記のような場合などでは、逆走してなくても逆走検知警告が案内されることがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が異なるとき

- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- 駐車スペースがある料金所、または手前でUターン可能な料金所でUターンをしたとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

ルート探索・ルート案内について

探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものとは異なる場合があります。

■ 次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作る場合があります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。

- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。
- フェリー航路はルートに考慮されない場合があります。フェリー航路は補助手段であり、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。

名称・ジャンル・周辺施設検索・ 電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報(ピンポイント情報)が無いため、正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションでかんたんに目的地を設定できるように開発した、日本全国のあらゆる場所を最大12桁の数字と*(アスタリスク)を用いてあらわしたものです。各種情報機器や各種情報メディアでかんたんに位置情報を伝達したり、住所や電話番号であらわせない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。

<https://www.denso-solution.com/mapcode/>

FM 多重放送について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高層ビルなどの間
- 高架道路の下
- サービス圏外

お知らせ

- 一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。(約3分)
- 車のエンジンをかけた(またはACCをONにした)あと、しばらくは情報が表示されません。

電波ビーコン 5.8 GHz について

受信するには、ETC2.0車載器が必要です。

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ
- 高速高架道路の下(高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコン 5.8 GHzを受信してしまう場合があります。)

VICSについて

- VICS車載機の動作、その他に関するもの
- VICSサービスの提供エリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。
(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

VICSセンター

受付時間 9:30～17:45

(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

電話番号 0570-00-8831

● 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

● PHS、IP電話等からはご利用いただけません。

FAX番号 03-3562-1719(24時間受付)

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1)VICSサービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2)VICSサービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3)加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4)VICSデスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

(1)文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2)簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3)地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

- 但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 330円(税込み)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

令和2年12月1日改訂

地図ソフトについて

重要!!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「(株)ゼンリン」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使用規定

1. (株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器1台に限り使用する権利を許諾します。
2. (株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらが無いものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、(株)ゼンリンは故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)
 - (3) 本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他これらに準ずる行為をすること。
 - (4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
 - (5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意(交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)



警告



操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。

安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。

本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があります、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

取り付ける車両に「標識認識機能」がある場合、本機の案内と車両側に表示される情報が異なる場合がありますが、常に実際の標識に表示された情報に従って運転してください。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。

一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。



運転者は、走行中に操作をしたり、画面を注視したりしないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

地図ソフトについて

【地図データについて】

- この地図の作成に当たっては、測量法に基づく国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 R 2JHs 293-B258号)
- この地図の作成にあたっては、測量法に基づく国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- 3次元地図の作成に当たっては、測量法に基づく国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50 mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 R 3JHs 824-001号)
- この地図の作成に当たっては、(一財)日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。
(測量法第44条に基づく成果使用承認12-0060)
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリンの住宅地図データに基づき作成しています。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なる場合や、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 自然災害等の影響により、表示される地図が現地と一部異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2022年4月、国道、都道府県道についてはおおむね2022年2月までに収集された情報に基づき製作されていますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
 - ◆3D 交差点……………ルート案内時、主要都市の主要交差点をリアルデザインで案内します。
 - ◆ジャンクションビュー……………ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
 - ◆方面看板……………国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。(全国の主要交差点を表示)

※3D交差点、ジャンクションビュー、方面看板は、全ての交差点において収録されているわけではありません。

- 細街路規制データは、おおむね2021年11月までに収集された情報に基づき製作されています。そのため、表示される規制データが現況と異なる場合があります。
- 本ソフトに使用している盗難多発地点情報は、47の各都道府県警察の以下の著作物を改変して作成しています。「区市町村の町丁別、罪種別及び手口別認知件数」(以下「出典情報」)
- (株)ゼンリンは、盗難多発地点情報を、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 4.0国際(<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>)及び2.1日本(<http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/>)に定める以下①及び②へ準拠した上で作成し、本製品の製造者へ提供しています。
 - ①クレジット表記が必要であること
 - ②出典情報の保証を一切行わないこと

【経路探索について】

- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- この地図データには、自動経路探索、交差点拡大図表示および音声ガイドに対応するデータを収録しておりますが、表示および表現方法や件数が現場の状況と異なる場合や、ご使用になれない場合があります。
- 交差点や道路の形状によっては、不要な音声案内をしたり、経路探索結果が不自然になったりする場合があります。

【交通規制データについて】

- 本ソフトに使用している交通規制データは、(公財)日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を使用しています。
- 交通規制データは、普通自動車に適用される交通規制情報が収録されています。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。

【電話番号検索情報について】

- 本ソフトに使用している電話番号検索情報は、NTTのタウンページ電話帳2022年3月の情報を収録しています。なお、タウンページ電話帳に記載されている店舗情報の中でも、一部店舗の場所が特定できない情報については収録していません。
- お客様が電話番号、店舗名称等を用いて対象となる店舗または物件の位置を検索した場合、該当する店舗または物件の周辺を到着地点として表示する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 「タウンページデータベース」は、NTT東日本・NTT西日本の電話サービス契約約款に基づき提供する電話帳ベースです。NTT東日本・NTT西日本からの委託を受けたNTTタウンページ株式会社が提供しています。

【VICSリンクについて】

- VICSリンクデータベースの著作権は、(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会に帰属しています。(一財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)による道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

【ゾーン30について】

- ゾーン30は警察庁より提供される交通規制情報に基づき作成しています。ゾーン30エリア内でも制限速度が30km/hではない道路が含まれる場合もありますので、常に実際の道路状況や交通規制標識・表示などを優先して走行してください。

【登録商標について】

- “ゼンリン”および“ZENRIN”は(株)ゼンリンの登録商標です。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は(一財)道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “タウンページ”は、日本電信電話(株)の商標です。

一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター) お客様相談窓口

【電話番号】0570-00-8831 (PHS、IP電話等からはご利用いただけません)

【受付時間】平日 9:30~17:45 (土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

【FAX番号】03-3562-1719 (24時間受付)

【URL】<https://www.vics.or.jp/>

地図ソフトについて

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

- 道路：2022年4月（高速・有料道路）／2022年2月（国道・都道府県道）
- 交通規制：2022年3月
- 住所検索：2022年3月
- 電話番号検索：2022年3月
- ジャンル検索：2022年2月
- 高速・有料道路料金*¹：2022年4月
- 市街地図：2021年11月

* 1 料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。また新規開通道路のパーキングエリア（PA）、サービスエリア（SA）の施設情報は表示されない場合があります。

2022年12月発行 製作／株式会社ゼンリン

© 2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2022 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2022 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© ジオ技術研究所

© 2022 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

ジャンル一覧

太字の項目は、小分類を選択できます。

ジャンル	中分類	ジャンル	中分類	ジャンル	中分類	
コンビニエンスストア	—	観る (続き)	映画館	買う (続き)	メガネ・コンタクトレンズ	
ガソリンスタンド	—		城・城跡		釣具店	
駐車場	—		史跡		アウトドア用品店	
交通機関	駅		名所・観光地等		CDレコード店	
			高速・都市高速・有料道路施設		イベント	中古CDレコード店
			道の駅		ビューポイント	レンタルビデオ・CD
			フェリーターミナル		住宅展示場	化粧品・装飾品・民芸品
			港		ホテル	オーディオ・パソコン・OA
			泊まる		ビジネスホテル	金物店・刃物店
					旅館	ガラス・陶磁器
			ペンション	その他小売店		
			公共の宿	食べる	ファミリーレストラン	
遊ぶ	遊ぶ		ファッションホテル		ファストフード	
		レジャー公園・牧場	カプセルホテル		ラーメン	
		その他レジャー施設	家族旅行村		うどん・そば	
		海洋・海浜公園	国民休暇村		日本料理	
		サファリパーク	民宿		中華	
		海水浴場	その他宿泊施設		イタリア料理	
		川くだり	カー用品		寿司屋	
		果物狩り	ホームセンター		回転寿司	
		遊覧船	ディスカウント		フランス料理	
		遊覧飛行機	スーパー	カレーハウス		
		リフト・ロープウェイ	デパート	焼肉・ホルモン		
		釣り	複合大型商業施設	韓国料理		
		キャンプ場	アウトレットモール	お好み焼き		
		公営ギャンブル	家電	とんかつ		
		パチンコ	本	持ち帰り弁当		
		麻雀	ファッション	喫茶		
		ゲームセンター	衣服・呉服・小物	酒場		
		ビリヤード	シューズ	うなぎ料理店		
		ボウリング場	バッグ・コート・毛皮	おでん屋		
		カラオケボックス	その他繊維製品	海鮮料理店		
		マンガ喫茶	スポーツ	懐石料理		
		インターネットカフェ	雑貨	割烹・料亭		
		アニメ・ゲームグッズ	ドラッグストア	スパゲティ専門店		
		プラネタリウム	100円ショップ	ステーキハウス		
		クラブ・ライブハウス	その他日用品・雑貨・文具	てんぷら料理店		
		マリーナ	チケット売買・プレイガイド	鳥料理店		
		待ち合わせ場所	携帯電話ショップ	ピザハウス		
		趣味・娯楽・教養	リサイクルショップ	アイスクリーム		
観る	観る	動物園	おもちゃ屋	その他和風飲食店		
		植物園	子供用品・服	その他洋風・中華飲食店		
		水族館	酒屋			
		美術館	食材			
		博物館	パン・お菓子			
		資料館	花屋			
		文化施設	園芸店			
		ホール会館	家具店			
		劇場	インテリア用品店			

ジャンル一覧

ジャンル	中分類	ジャンル	中分類	ジャンル	中分類	
生活施設	郵便	スポーツ施設	ゴルフ	カーディーラー(続き)	ヤナセ	
	理容・美容		スキー・スケート		ランドローバー	
	クリーニング		マリンスポーツ		ランボルギーニ	
	温泉		野球場		ルノー	
	銭湯		競技場		ロータス	
	サウナ・健康センター		プール		ロールスロイス	
	クアハウス・スパ		モータースポーツ		いすゞ	
	教養施設・福祉施設		自転車		日野	
	写真・写真館		テニスコート		三菱ふそう	
	組合		体育館		UDトラック	
	人材紹介・代行サービス		武道館		その他カーディーラー	
	録音スタジオ		スポーツクラブ		自動車関連	自動車整備工場
	クレジット・質屋・買取		バッティングセンター			中古車販売
	宅配便・運輸		公営スポーツ施設			レッカーサービス
リース・レンタル・修理	その他スポーツ施設	ロードサービス				
トイレ	—	レンタカー				
銀行	都市銀行	神社・仏閣 教会・巡礼	神社	オートバイ販売・部品・用品		
	地方銀行		仏閣・寺	レンタルバイク		
	その他銀行		教会	その他自動車・自転車		
役所	全国著名巡礼名所		エコステーション	—		
公共施設	警察署・交番	カーディーラー	スズキ	水素ステーション		水素ステーション(移動式)
	消防署		スバル		水素ステーション(固定式)	
	図書館		ダイハツ	その他ジャンル	大使館・領事館	
	裁判所		トヨタ		マスメディア	
	税務署		トヨタモビリティパーツ		旅行・観光業	
	年金事務所		日産		ペット	
	保健所		日産部品		製造・卸売業	
	法務局		Honda Cars店		農園・果樹園	
	運転免許試験場		マツダ			
	ハローワーク		三菱			
学校・教育施設	大学	レクサス				
	高校	アウディ				
	中学校	アバルト				
	小学校	アルファロメオ				
	短大	クライスラー				
	高専	シトロエン				
	中等教育学校	ジャガー				
	幼稚園	GM				
	保育園	DSオートモビル				
	特別支援学校	BMW				
	自動車学校	フィアット				
	各種専門学校	フェラーリ				
	予備校	フォルクスワーゲン				
	その他学校・教育施設	プジョー				
病院	—	ベントレー				
		ボルシェ				
冠婚葬祭	冠婚葬祭場	ボルボ				
	結婚式場	マクラーレン				
	霊園・墓地	マセラティ				
	造花・装飾・花環	MINI				
	火葬場	メルセデス・ベンツ				

地図上に表示される主なマーク

* 1 SA・PA接続型のスマートICは、表示されません。

お知らせ

- 地図データの整備上、すべての施設等を表示していません。
- 改善のため予告なく変更することがあります。

さくいん

あ行

頭出し	101, 104, 106, 109, 115, 116, 118, 122, 127
アラーム	78
アングル	102
安心運転サポート情報	49
案内音声設定	174
案内音量の車速連動	174
案内拡大図の表示	172
案内時のAudio音量消音	174
案内出力スピーカー	174
案内図切替タッチキー	44
案内スタート	59, 66
案内設定	172
案内ポイントマーク	47
案内ルート	47
イコライザー設定	134
イコライザープリセット	134
位置	78
一時停止	101, 104, 106, 109, 115, 116, 118, 122, 127
一時停止案内	49, 56
一般情報	82
一般道速度超過警告	56
イベント情報表示	164
イルミネーション信号	29
映像再生画質	127
映像再生バッファサイズ	127
エフェクトモード	130
エリア選局	173
エリアプリセット	94
エリアモード	98
エンター	102
オーディオ	88
オーディオ情報・設定メニュー	21
オーディオソース一覧	88
オーディオチューン	130
オート放送局サーチ	93
音の匠	131
オプションスイッチ	174
音楽CD	104
音楽データ	201
音質・音場モード	130
音声	101, 127
音声案内	72
音声認識	64

音声録音	164
オンライン検索	105, 112
音量	26
音量設定	26, 174

か行

カーソル	45, 102
カーソルパネル	95
カード入れ忘れ案内	173
カード抜き忘れ案内	173
カーブ案内	49, 56
ガイドンス	56
回転ドラッグ	19
拡張ユニット情報	30, 174
画質	164
画質調整	137
傾き	52
画面OFF	27, 174
監視録画	160, 165
監視録画の時間	165
キーパッド	141
キーボード学習結果の初期化	175
機器選択	143
季節規制考慮	56
起動音	164
逆走注意アラーム	75, 172, 210
急加速・急減速の感知音	164
急加速・急減速の感度	164
休憩案内	174
曲管理	111
緊急警報放送	91
緊急情報	84
警告音量	165
携帯電話切替	141
携帯電話データの自動同期	143
経由地	66, 68
経由地マーク	47
言語コード	199
言語設定	103
現在地画面	44
現在地方向直線	45
広域地図	40
高音質モード	130
交差点拡大図	42
高速入口拡大図	43
高速分岐拡大図	43

高速レーン減少案内	49
交通情報	99
後方検知	165
後方検知距離	165
後方検知速度	165
後方検知のお知らせ	165
後方検知録画	161
合流案内	49, 56
ここに行く	59, 66
コンテンツリスト	126

さ行

サーチ	102
細街路探索	70
再生一覧表示	164
再生時間	102
再探索	74
市街地図	40
事故多発地点案内	49, 56
自車位置修正	28, 171
自車マーク	44, 57
システム情報・設定メニュー	21
自宅	31, 61
視聴制限レベル	103
視聴設定	127
指定方向外禁止案内	49, 56
自動再探索	73
字幕	101, 127
車速パルス	29
車速連動音量	133
車内カメラ録画	165
車両信号情報	174
車両装備情報	29
ジャンクション案内	43
ジャンル	62, 219
住所	62
渋滞回避	56
渋滞情報	81
渋滞設定	173
周波数再編	91
周波数の選局方法	173
周辺検索	63
周辺施設	63
縮尺	51
縮尺表示	44
受信モード	93

出荷状態に戻す	175
手動選局	173
手動録画	161
準天頂衛星システム	209
常時録画	159
情報・設定メニュー	21
ショートカット	20, 23
初期化	174, 175
初期パスワード	36
新旧ルート自動選択	171
新旧ルート比較	74
新旧ルート比較画面を表示	171
信号切替	97
数字パネル	95
スクロール	50
ステータスバー表示	48
スピーカー出力レベル	136
スピーカー設定	135
スピーカーディレイ	136
スマートインター考慮	56
スマートフォン	32
スマートフォン接続設定メニュー	21
スロー再生	101
制限速度案内	49, 56
静止画撮影	161
セキュリティ	36
セキュリティコード	36
セキュリティ設定	174
接続設定	129
設定を初期化する	164
セレクトビューバックアイカメラ	158
全機能一覧	58
選局パネル	92
選曲モード	123
センサー学習値初期化	29
センサー学習レベル	29
センサー調整する	164
全地図更新	151
全方位モニター	158
専用レーン案内	49, 56
全ルート図	59, 67
騒音適応モード	130
走行軌跡	47
走行軌跡の記録	171
走行軌跡を表示	171
操作音	174
ゾーン30	44

さくいん

ゾーン30案内.....	49, 56
ゾーン30速度超過警告.....	49, 56
側道拡大図.....	42
速度超過警告.....	49
ソフトウェア・地図更新.....	152, 153, 154, 174
ソフト情報表示.....	97

た行

タイトル表示.....	105
タイトルメニュー.....	101
タイトルリスト.....	101
ダイナミックレンジ圧縮.....	103
ダイヤル.....	142
ダイレクトボタン設定.....	174
ダウンロード更新.....	150
立寄る.....	66
タッチ.....	18
タッチキー表示.....	48
ダブルタップ.....	19
探索条件.....	69, 70
端末情報.....	149, 174
地上D選局対象.....	93
地上D/ワンセグ切替設定.....	93
地図更新アプリ2.....	150
地図モード画面.....	45
地点登録.....	76
地点編集.....	77
地点名称.....	45
地点メニュー.....	46
チャプター.....	101
チャンネル設定画面.....	94
駐車場マーク.....	81
駐車録画.....	160, 164
駐車録画のお知らせ.....	164
駐車録画の感度.....	165
駐車録画の時間.....	165
駐車録画の無効時間.....	165
昼夜切替.....	57
通過ポイントマーク.....	47
停止.....	101
ディスク.....	100, 196
データベース再検索.....	112
データ放送.....	91
デジタルテレビ初期設定.....	90
デバイスID表示.....	97
デモ走行.....	67

テレビ.....	90
テレビメニュー.....	92
電波ビーコン5.8 GHz.....	211
電話帳.....	142
電話に出る.....	140
電話番号.....	60, 78
電話を切る.....	141
動画.....	116
動画データ.....	204
到着時刻/残距離表示.....	44
盗難多発地点案内.....	37
道路切替.....	74
登録地.....	76
トーン信号.....	141
特別警報.....	84
トップメニュー.....	20
トップメニューカスタマイズ.....	23, 174
トップメニュー(ディスク).....	101
トップメニュー(ナビ).....	58
ドライブレコーダー接続設定.....	164
ドライブレコーダー設定.....	164, 174
ドライブレコーダーリヤカメラ録画.....	165
ドラッグ.....	18
取付店ダイアグ.....	174

な行

ナビアップS.....	150
ナビ情報・設定メニュー.....	21
ナビ設定.....	76
ナビチューン.....	56
ナビ連動ドライブレコーダー.....	159
ノイズ連動音量.....	133
ノースアップ.....	52

は

パーキングブレーキ信号.....	29
バージョン情報.....	149, 174
ハイウェイモード.....	41
ハイウェイモードの表示.....	172
パスワード変更.....	103
バックアイカメラ.....	158
発着履歴.....	143
早送り.....	101, 104, 106, 109, 115, 116, 118, 122

早戻し.....	101, 104, 106, 109, 115, 116, 118, 122
番組内容.....	96
番組表.....	96
番組表表示形式.....	93
ハンズフリー.....	140
ハンズフリー切替.....	141
ビット・周波数拡張.....	132
標高地図.....	40
標識拡大表示.....	56
表示設定.....	171
昼の地図色.....	57
ピンチ.....	19
フェーダー/バランス.....	135
部分地図更新.....	151
踏切案内.....	49, 56
プリセットメモリー.....	98
フリック.....	18
プレイリスト.....	101
分岐案内.....	43
分岐案内頻度.....	56
分岐交差点情報表示.....	44
ヘッダー.....	48
ヘッドアップディスプレイ.....	170
ヘディングアップ.....	52
方位マーク.....	44
方面看板.....	44, 172
本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先.....	174
本体リセット機能.....	193

ま行

マーク.....	78, 221
マップ.....	57
マップコード.....	45, 62, 211
右画面表示.....	53, 138
道幅優先.....	56
みちびき.....	209
ミュート.....	27, 141
無料地図更新.....	150
名称.....	60, 78
メンテナンス通知設定.....	148, 174
目的地.....	66, 68
目的地方向直線.....	47
目的地方向を表示.....	171
目的地マーク.....	47
文字サイズ.....	57

文字入力.....	194
戻る.....	45
モニター設定.....	103

や行

ユーザー情報設定.....	97
ユーザープリセット.....	94
ユーザープリセット設定.....	93
ユーザーモード.....	98
優先情報.....	82
有料道速度超過警告.....	56
有料道路優先.....	56
曜日時間規制探索.....	71, 73
夜の地図色.....	57

ら行

ラジオ.....	98
ランダム.....	104, 106, 109, 115, 116, 118, 122
ランチャー.....	46
ランドマーク.....	54
ランドマーク設定.....	171
リアル3D拡大図.....	42
リジューム.....	102
リバース時のオーディオ音量ダウン.....	27
リバース信号.....	29
リパック.....	91
リピート.....	104, 106, 109, 115, 116, 118, 122
料金履歴.....	157
履歴.....	61
ルート.....	56, 59, 67
ルート学習.....	56, 70
ルート学習結果の初期化.....	171
ルート編集.....	68
レーン案内.....	56
レコーダーリスト.....	126
レコーダーリンク.....	124
レコーダーリンク再生操作画面.....	127
レコーダーリンクで使用したデータ通信量の目安.....	128
レコーダーを変更.....	129
録音.....	107
録音音質.....	107
録音モード.....	107

記号・数字・アルファベット

+B 電圧	29	SDカードを初期化する	164
2点タッチ	18	TVの初期化	175
2点ドラッグ	19	USBメモリー	114, 200
10キー	102	VICS	57, 79, 212
All Apps(全機能一覧)	22	VICS案内	172
AM	98	VICS一般道情報表示	57
BLUETOOTH	32, 206	VICS規制マーク表示	57
BLUETOOTH Audio	118	VICS考慮	56, 71
CarAV remote S	145	VICS自動再探索	73
CD	104	VICS渋滞・混雑情報表示	57
DiXiM Play for レコーダーリンク	124	VICS渋滞なし情報表示	57
DSP	132	VICS情報提供サービス	156
DVD	101	VICS情報マーク	81, 83
ETC	156	VICS情報(レベル1)	79
ETC2.0	156	VICS情報(レベル2)	79
ETC2.0アップリンク	156, 173	VICS情報(レベル3)	80
ETC2.0サービス	82	VICSタイムスタンプ	44, 80
ETC2.0自動音声再生	173	VICS駐車場情報表示	57
ETC2.0車載器	156	VICS統計情報表示	57
ETC2.0受信音	173	VICS範囲表示	57, 80
ETC2.0割込み	173	VICS有料道情報表示	57
ETC2.0割込み設定	173	Wi-Fi	34, 207
ETC音声案内	173	WMA	106
ETC管理情報	157		
ETCの音声案内設定	173		
ETCレーン案内	41		
ETCレーンの表示	172		
EWS	91		
FM	98		
FM VICS周波数	173		
FM多重放送	211		
GPS	209		
GPS情報	25		
Gracenote データベース更新	155, 174		
HDMI	168		
iPod	120		
MEMORY MUSIC	109		
MP3	106		
NaviCon [®]	144		
SA・PA	53		
SA・PA入口案内	43		
SA/PAマーク	81		
SDカード	107, 114, 200		
SDカード情報	113		
SDカードの初期化	175		

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社（「パナソニック」）により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2（「GPL」）に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1（「LGPL」）に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL、LGPL以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■ 上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPLおよびLGPL所定の条件をご参照ください。

GPL : <https://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

LGPL: <https://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>

また、上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、多数の人が著作権を保有しています。

これらの著作権者の著作権表示については、以下をご参照ください。

<http://car.panasonic.jp/oss/107nfv10>

GPL/LGPLに基づきライセンスされるソフトウェア（「GPL/LGPLソフト」）は、有用であることを願って頒布されますが、全くの無保証です。

商業可能性があることや特定の目的に適合していることについては、黙示的保証も含め、一切保証されません。パナソニックは、製品発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた全ての方に対してソースコードの提供に必要な物理的コストを上回らない程度の料金と引き換えに、GPL/LGPLソフトに対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供します。

ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

またインターネット接続環境はおお客様ご自身でご用意していただく必要があります。

Webサイトの閲覧中およびダウンロード中のインターネット接続、回線使用料等はお客様ご負担となります。

【問い合わせ窓口】

〒224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町4261 番地

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社

インフォテインメントシステムズ事業部 技術管理部門 責任者 宛

また、上記のGPL/LGPLソフトに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。

<http://car.panasonic.jp/oss/107nfv10>

■ 上記(5)に分類されるソフトウェアには、以下のウェブサイトに掲載のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム（OSS）が含まれています。

<http://car.panasonic.jp/oss/107nfv10>

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

なお、上記(1)から(5)を含めた本製品に搭載されるすべてのソフトウェアは、本製品に搭載され、本製品上で動作させることのみを想定しております。以下の①から④に定められる各行為について、その態様が直接的であるか間接的であるかを問わず、別途の書面による合意に基づく特別の許可がない限り、または各オープンソースソフトウェアのライセンス条件に基づき許可される範囲を越えて、行うことを固く禁じます。

- ①ソフトウェアの一部または全部を複製すること（ただし、許可された範囲内でのバックアップの取得を除く）
- ②法律上認められる範囲を超えて、ソフトウェアの一部または全部を、本製品から抽出し、もしくは分離させ、またはデコンパイルもしくはディスアセンブル等のリバースエンジニアリングをすること
- ③法律上認められる範囲を超えて、ソフトウェアの一部または全部を、改変、翻案、翻訳等し、またはこれらを売買、貸与、輸出入、頒布等すること
- ④ソフトウェアに付される著作権表示、権利表示、商標、レーベル等を除去または削除すること

商標・ライセンスなど

- Microsoft, Windows and Windows Media are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- 「VICS」および「VICS WIDE」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ETC」および「ETC2.0」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ITSスポットは、国土交通省道路局の登録商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- “タウンページ” は、日本電信電話株式会社の商標です。
- 音楽認識技術と関連情報は Gracenote 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote 社の Web サイト www.gracenote.com をご覧ください。Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ: copyright © 2000 to present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000 to present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote、Gracenote ロゴとロゴタイプ、"Powered by Gracenote" ロゴは、米国およびその他の国における Gracenote, Inc. の登録商標または商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- “DVD Logo” は、DVD フォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License, AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・ 画像情報を MPEG-4 Visual, AVC, VC-1 規格に準拠して (以下、MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオ) を記録すること。
 - ・ 個人的活動に従事する消費者によって記録された MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手した MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオを再生すること。詳細については MPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。WPA2™、WPA3™ は Wi-Fi Alliance® の商標です。
- BLUETOOTH® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- MHL is a trademark or registered trademark of the MHL, LLC.
- NaviCon、マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

- Android、Google Playは Google LLC の商標です。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- App Store is a service marks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- iOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.
- 「docomo」は、日本電信電話株式会社の商標または登録商標です。
- 「au」は、KDDI株式会社の商標または登録商標です。
- 「SoftBank」は、ソフトバンクグループ株式会社の商標または登録商標です。
- 「DiXiM」は株式会社デジオンの登録商標です。
- 「DiXiM Play」は、株式会社デジオンの商標です。
- 「DiXiM」は、株式会社デジオンが開発したマルチメディア・ホームネットワーク・ソリューションです。「DiXiM Play」はDiXiMを搭載した Google Play / AppStore / Windows ストア 向けDTCP-IP対応ホームネットワークプレーヤーアプリケーションです。
詳しくは、デジオンWebサイト (<https://www.digion.com/>) をご覧ください。
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記の無い場合でも、これを十分尊重いたします。



CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W のみ



仕様

	CN-FZ1087	CN-FZ886	CN-HZ885	CN-FZ786W	CN-HZ785W
共通部					
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	250 mm × 158 mm × 189 mm (取付奥行寸法 162 mm)	201 mm × 124 mm × 186 mm (取付奥行寸法 166 mm)	205 mm × 104 mm × 177 mm (取付奥行寸法 162 mm)		
質量	約 3.0 kg	約 2.7 kg	約 2.6 kg	約 2.5 kg	
定格出力	18 W × 4				
最大出力	50 W × 4				
適合スピーカーインピーダンス	4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω 使用可能)				
電源電圧	DC 12 V (試験電圧 14.4 V) マイナスアース				
消費電流	3.5 A以下 (AUDIO OFF時)				
動作温度	- 10 °C ~ + 60 °C				
液晶ディスプレイ					
画面サイズ	10V型ワイド		8V型ワイド		7V型ワイド
画面寸法 (幅×高さ×対角)	221 mm × 125 mm × 254 mm		177 mm × 99 mm × 203 mm		156 mm × 80 mm × 176 mm
映像入力	RGB (ナビゲーション画面)				
画素数	2 764 800画素 (縦720 × 横1 280 × 3)				
有効画素率	99.99 %				
表示方式	透過型カラーフィルター方式				
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリックス方式				
使用光源	内部光 (LED)				
タッチパネル	静電容量方式		抵抗感圧式アナログタイプ (フィルム+ガラス)		
ナビゲーション (GPSアンテナ)					
受信周波数	1 575.42 MHz (C/Aコード)				
受信感度	- 155 dBm				
地上デジタルTVチューナー					
受信放送方式	地上デジタルテレビ放送方式 (日本) ワンセグ対応				
受信周波数	470 MHz ~ 710 MHz (13 CH ~ 52 CH)				
入力信号レベル	- 75 dBm ~ - 20 dBm				
入力インピーダンス	50 Ω				
FMチューナー					
受信周波数	76.0 MHz ~ 95.0 MHz				
実用感度 (SN比、30 dB)	15 dBμV以下				
SN比 (入力 54 dBμV)	50 dB以上				
ステレオ分離度 (入力 60 dBμV)	35 dB				
AMチューナー					
受信周波数	522 kHz ~ 1 629 kHz				
実用感度 (SN比、20 dB)	37 dBμV以下				
DVDプレーヤー					
信号方式	CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W Y: 1.0 Vp-p Cb/Cr: 0.7 Vp-p(内部)、HDMI方式(出力) CN-HZ885 CN-HZ785W Y: 1.0 Vp-p Cb/Cr: 0.7 Vp-p(内部)、NTSC方式 1.0 Vp-p(出力)				
周波数特性	5 Hz ~ 22 kHz (サンプリング周波数 48 kHz)				
信号対雑音比 (SN比)	90 dB (IHF、A)				
ワウ・フラッター	測定限界以下				

	CN-FZ1087	CN-FZ886	CN-HZ885	CN-FZ786W	CN-HZ785W
iPod / USB 接続用中継ケーブル接続端子					
通信方式	USB				
出力電圧	5 V 2 400 mA				
接続端子					
カメラ入力レベル	映像: NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCAピンジャック)				
BLUETOOTH					
対応規格	Bluetooth Ver.5.2 +EDR準拠				
パワークラス	Class2				
対応プロファイル	HFP / A2DP / AVRCP / PBAP / SPP				
対応コーデック	SBC, AAC				
Wi-Fi					
対応規格	IEEE 802.11 b/g/n (2.4 GHzのみ)				
対応チャンネル	1 CH ~ 13 CH				
出力	最大 +14 dBm				
対応セキュリティ方式	OPEN / WPA2-Personal / WPA3-Personal				

● **CN-FZ1087 CN-FZ886 CN-FZ786W** のみ

接続端子	
HDMI 入力	端子: 1 系統 (19ピン typeE 端子) 映像: 480p、720p、1080i フィールド周波数 59.94 Hz / 60 Hz 音声: リニアPCM (最大 2 CH) サンプリング周波数 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
HDMI 出力	端子: 1 系統 (19ピン typeE 端子) 映像: 480p、720p 音声: リニアPCM
マイク*1	
コードの長さ	2 m
外形寸法 (直径×奥行き)	φ 11.6 mm × 35.9 mm
質量	約 32 g (コード含む)

* 1 **CN-HZ885 CN-HZ785W** は本体に内蔵されています。(P.17)

● **CN-HZ885 CN-HZ785W** のみ

接続端子	
ビデオ出力レベル	映像: NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCAピンジャック)

- 画面サイズのV型(10V型等)は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 寸法・質量はおおよその数値です。

保証とアフターサービス よくお読みください

修理のご依頼や、お取り扱い・お手入れ、その他ご不明の点などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときは

まず、「困ったとき」(P.176~193)をご覧ください。処置をしてもなおらないときは、ご使用を中止して、右の内容と故障の状況をできるだけ具体的にお買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容
● 製品名: AV一体型ナビゲーション
● 品番: 「純正品番」をご確認ください。 「パナソニック品番」はナビゲーションユニット (本体の正面左上)でご確認ください。
● お取り付け車両名

■ 保証期間中は、保証書の記載内容に従って修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。製品を車両に取り付けた状態でお持ちいただき、保証書をご提示のうえ、修理をお申し付けください。

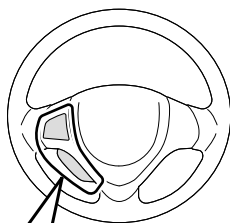
■ 保証期間終了後は、診断して修理できる場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

● 補修用性能部品の保有期間 **6年**

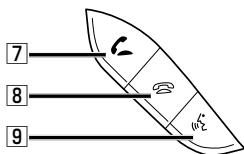
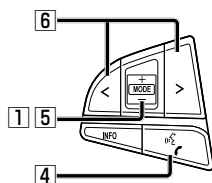
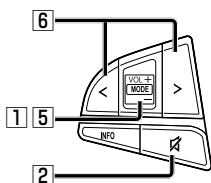
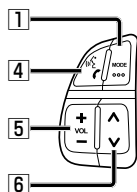
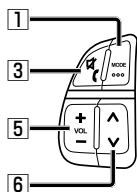
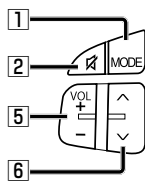
当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

ステアリングオーディオスイッチの操作について

車にステアリングオーディオスイッチが装備されている場合には、P.235の操作ができます。



●イラストは機能説明用です。
スイッチの配置や形状は、
車種により異なります。



①	モード MODE	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオを切り替える (オーディオの切り替えについて→P.88) <ul style="list-style-type: none"> ・ オーディオ OFF時はMEMORY MUSICに切り替わります。 ・ 交通情報時は、TVに切り替わります。 ・ ステアリングオーディオスイッチで交通情報に切り替えることはできません。 ● 音声認識*1を起動する (約0.5秒以上押す) 	
②		● オーディオの音声を一時的に消音する*2	
③		<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオの音声を一時的に消音する*2 ● 電話に出る (着信中) ● 電話を切る (通話中) (約0.5秒以上押す) 	
④		<ul style="list-style-type: none"> ● 電話に出る (着信中) ● 電話を切る (通話中) (約0.5秒以上押す) ● 音声認識*1を起動する 	
⑤	+ -	● オーディオ/ハンズフリーの音量調整	
⑥	又は または <>	<input type="checkbox"/> DVD <input type="checkbox"/> CD <input type="checkbox"/> MEMORY MUSIC <input type="checkbox"/> USB <input type="checkbox"/> SD <input type="checkbox"/> BLUETOOTH Audio <input type="checkbox"/> iPod <input type="checkbox"/> レコーダーリンク*1	● チャプター・曲・ファイル・コンテンツの頭出し
		<input type="checkbox"/> DVD <input type="checkbox"/> CD <input type="checkbox"/> BLUETOOTH Audio <input type="checkbox"/> iPod	● 早送り・早戻し (押し続ける)
		<input type="checkbox"/> MEMORY MUSIC <input type="checkbox"/> USB <input type="checkbox"/> SD	● アルバム・フォルダの切り替え (約0.5秒以上押す)
		<input type="checkbox"/> FM <input type="checkbox"/> AM	<ul style="list-style-type: none"> ● 選局する ● シーク選局 (約0.5秒以上押す)
		<input type="checkbox"/> TV	● 選局する
⑦		● 電話に出る (着信中)	
⑧		● 電話を切る (通話中)	
⑨		● 音声認識*1を起動する	

*1 **CN-FZ1087** **CN-FZ886** **CN-FZ786W** のみ

*2 ナビゲーションの音声案内、ハンズフリーの音声は、ミュートされません。

使いかた・お手入れなどのご相談窓口

お客様ご相談センター

電話  フリーダイヤル ゴー パナソニック
0120-50-8729

■上記番号がご利用いただけない場合
045-929-0511 (有料)

受付時間 9:00～17:00
年中無休 (当社指定休日を除く)

FAX (有料) **045-938-1573**

受付時間 9:00～17:00
(土・日・祝日・当社指定休日を除く)

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の お取り扱いについて

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社
およびグループ関係会社は、お客様の個人情報を
ご相談対応や修理対応などに利用させていただき、
ご相談内容は録音させていただきます。また、折り
返し電話をさせていただくためのために発信番号
を通知いただいております。なお、個人情報を適切
に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由
がある場合を除き第三者に開示・提供いたしま
せん。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談い
ただきました窓口にご連絡ください。
個人情報保護方針の詳細についてはWebサイトを
ご覧ください。

<https://automotive.panasonic.com/privacy-policy>

- 回線が混雑しているときは、呼び出し中に切れる場合があります。
- 本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。

おぼえのため、記入されると便利です。

製造番号 (Serial No.)	万一の故障や盗難時に必要です。「バージョン情報」(P.149)、もしくはナビゲーションユニットの製品銘板(本体の天面)で、9桁の番号をご確認ください。 ()
固有番号 (車載器ID)	製造番号が不明な場合(盗難時など)の確認用として、必要な場合があります。 「バージョン情報」(P.149)で、番号をご確認ください。 ()

製造元

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地